

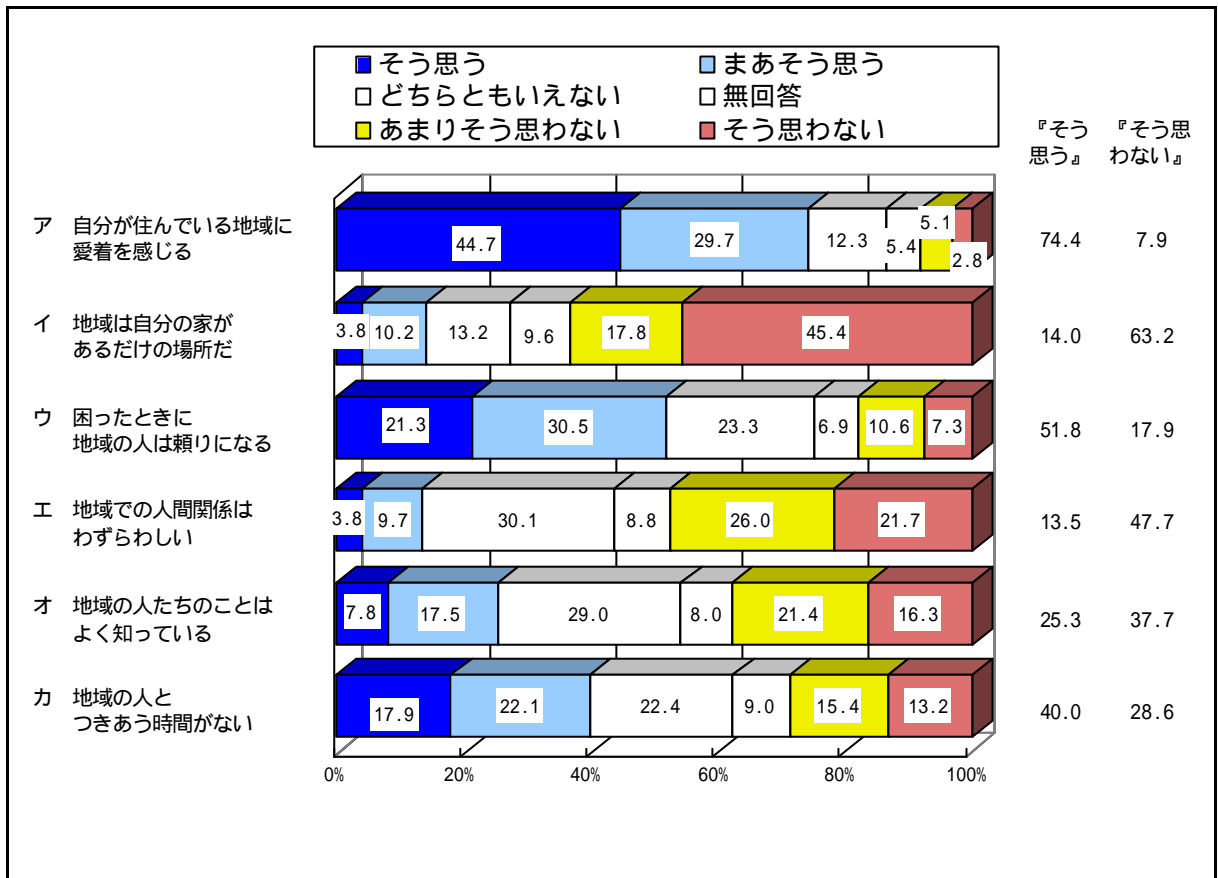
調査の結果

1 「県民主体の地域づくり」についての意識

(1) 地域や地域活動に関する意識

地域に対する意識 - 地域に愛着を感じる、地域の人は頼りになるが、つきあう時間がない。
 地域活動に取り組む動機 半数近くが「自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから」。

<1> 地域や地域の人たちとの関係



「地域に愛着を感じる」は7割半ば、「地域の人は頼りになる」は5割強、「地域の人とつきあう時間がない」は4割

地域や地域の人たちとの関係を聞くと、「自分が住んでいる地域に愛着を感じる」について、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた『そう思う』(74.4%)は7割半ばに及び、「地域は自分の家があるだけの場所だ」についても、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた『そう思わない』(63.2%)は6割半ばに及ぶ。

「困ったときに地域の人は頼りになる」の『そう思う』(51.8%)、「地域での人間関係はわずらわしい」の『そう思わない』(47.7%)も、約5割に及ぶ。

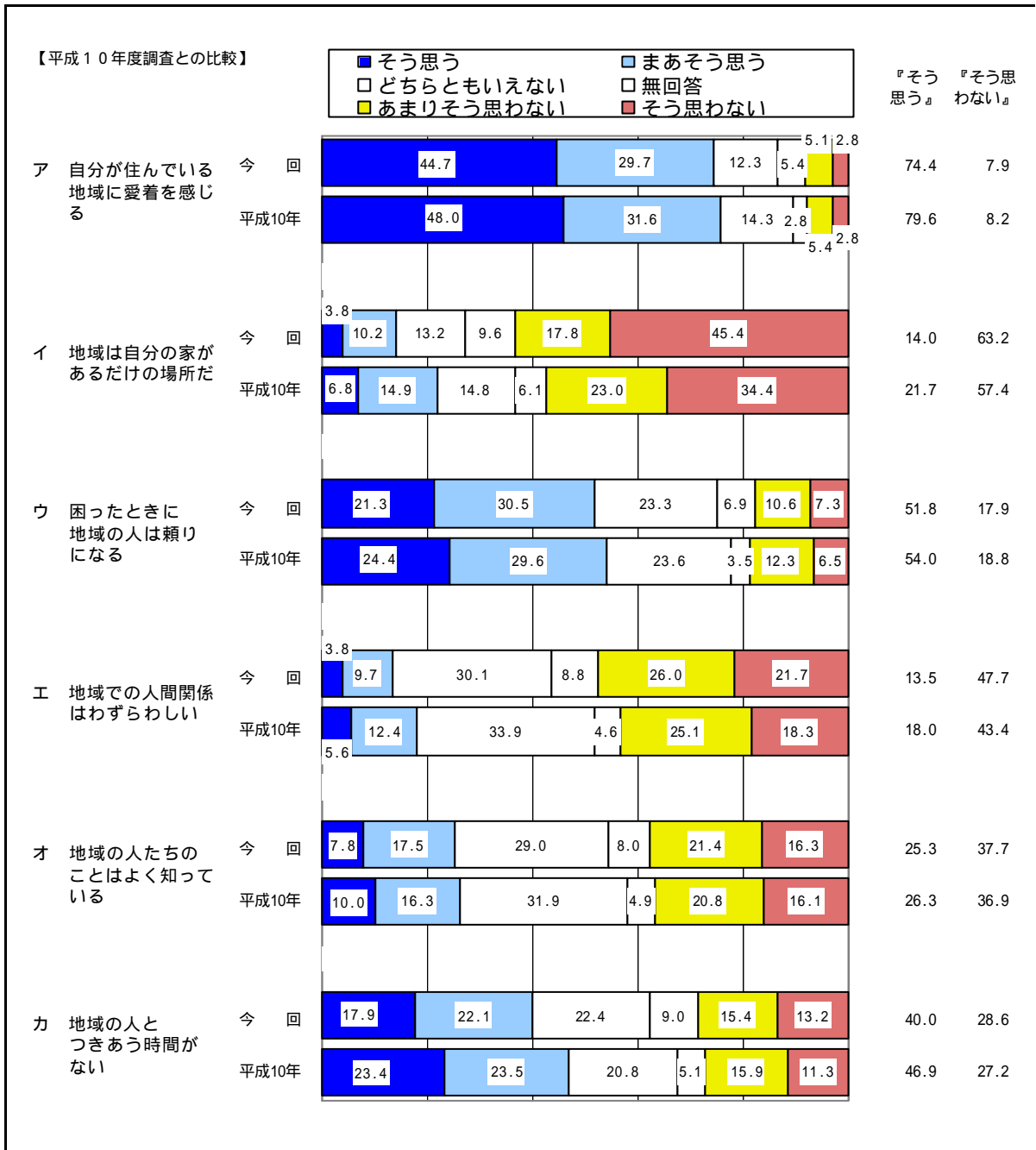
一方、「地域の人たちのことはよく知っている」の『そう思わない』(37.7%)、「地域の人

とつきあう時間がない」の『そう思う』(40.0%)は、約4割となっている。

このことから、地域や地域の人たちへの親しみや信頼は高いものの、近所づきあいの時間がとれていないといった状況が伺える。

また、平成10年度調査との比較では、「自分が住んでいる地域に愛着を感じる」の『そう思う』(74.4%)は、平成10年度調査(79.6%)から約5ポイント減少している。

一方、「地域は自分の家があるだけの場所だ」の『そう思わない』(63.2%)は、平成10年度調査(57.4%)から約6ポイント増加、「地域の人とつきあう時間がない」の『そう思う』(40.0%)も、平成10年度調査(46.9%)から約7ポイント減少している。



地域別

「困ったときに地域の人は頼りになる」は、丹波、但馬に多く、「地域の人とつきあう時間がない」は阪神南に多い

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』、または「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』を地域別にみると、次のとおりである。

ア 自分が住んでいる地域に愛着を感じる

大きな差はないが、『そう思う』が、神戸(79.3%)に最も多く約8割、続いて、但馬(76.5%)、阪神北(75.9%)、丹波(75.1%)などの7割半ばとなっている。

イ 地域は自分の家があるだけの場所だ

大きな差はないが、『そう思わない』が、神戸(67.6%)、東播磨(67.6%)に最も多く約7割となっている。

ウ 困ったときに地域の人は頼りになる

『そう思う』が、丹波(65.1%)、但馬(63.8%)に最も多く6割半ば、続いて、淡路(62.0%)、西播磨(58.1%)、北播磨(57.9%)の約6割、東播磨(57.2%)の5割半ばとなっている。

エ 地域での人間関係はわずらわしい

大きな差はないが、『そう思わない』が、阪神北(52.5%)に最も多く5割半ば、続いて、東播磨(50.0%)、神戸(48.0%)、丹波(47.9%)の約5割となっている。

オ 地域の人たちのことはよく知っている

『そう思う』が、丹波(46.0%)に最も多く4割半ば、続いて、淡路(40.9%)、丹波(40.0%)、西播磨(38.4%)の約4割、北播磨(36.8%)の3割半ばとなっている。

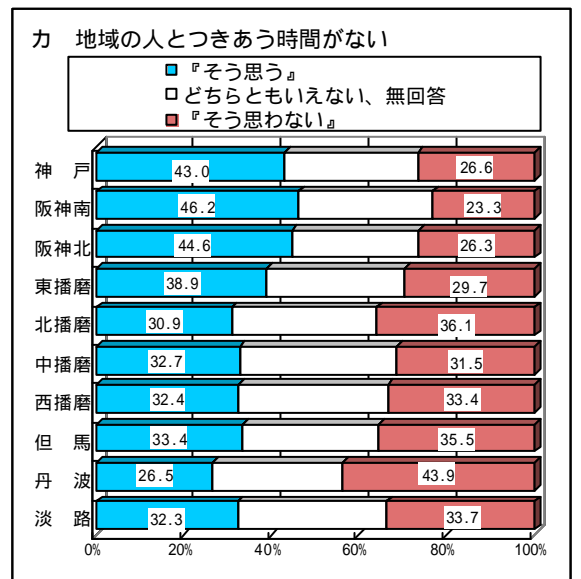
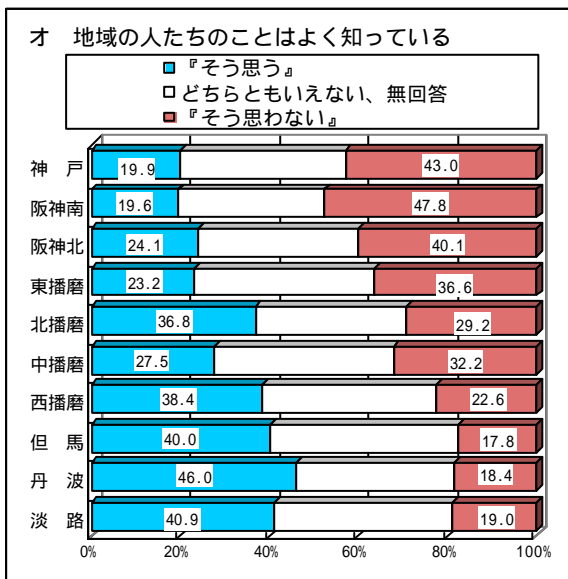
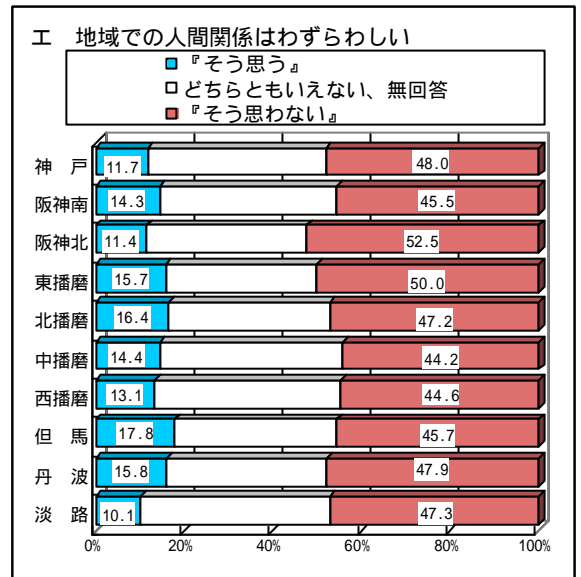
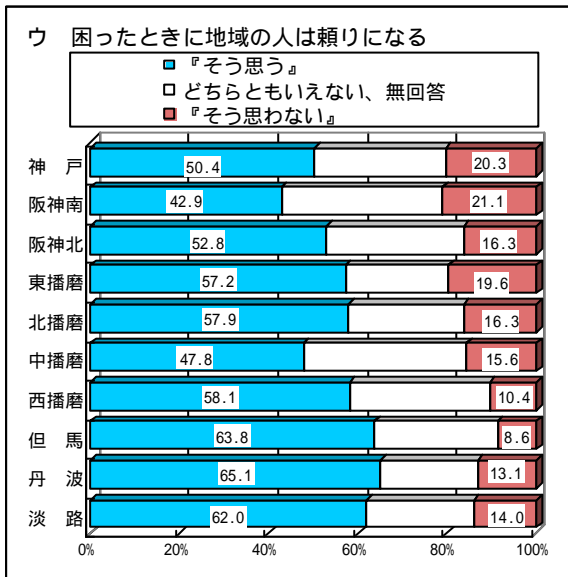
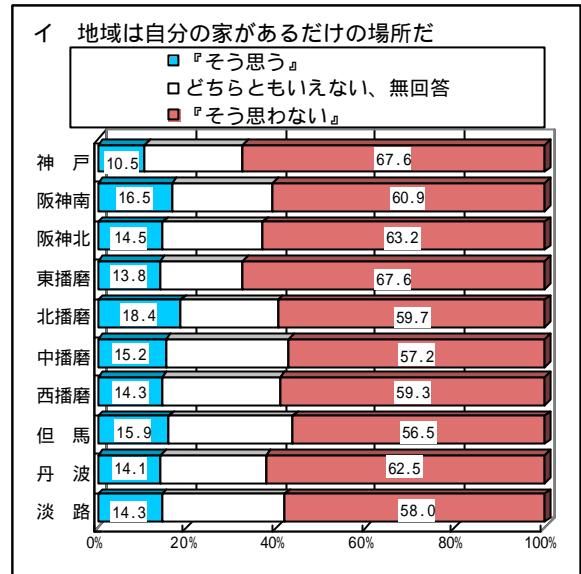
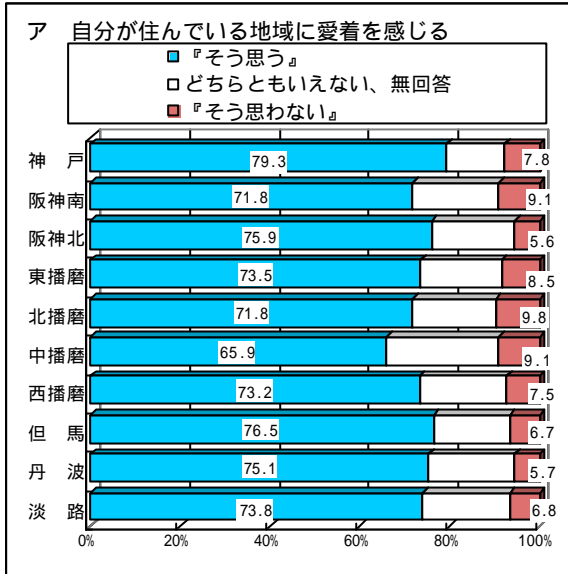
一方、『そう思わない』は、阪神南(47.8%)に最も多く約5割、続いて、神戸(43.0%)の4割半ばとなっている。

カ 地域の人とつきあう時間がない

『そう思わない』が、丹波(43.9%)で最も多く4割半ば、続いて、北播磨(36.1%)、但馬(35.5%)、淡路(33.7%)の3割半ばとなっている。

一方、『そう思う』は、阪神南(46.2%)に最も多く4割半ばとなっている。

地域や地域の人たちとの関係（地域別）



性別、性・年代別

「困ったときに地域の人を頼りになる」は、女性の70歳代以上、40歳代、男性の60歳代に多く、「地域の人とつきあう時間がない」は男性の20歳代に多い

ア 自分が住んでいる地域に愛着を感じる

『そう思わない』が、男性の20歳代(14.3%)、女性の30歳代(13.5%)、男性の30歳代(13.2%)に最も多く1割半ばとなっている。

イ 地域は自分の家があるだけの場所だ

『そう思わない』が、男性の30歳代(75.1%)に最も多く7割半ば、続いて、女性の30歳代(71.2%)、40歳代(69.5%)、男性の40歳代(68.5%)の約7割となっている。

ウ 困ったときに地域の人を頼りになる

『そう思う』は、女性の70歳代以上(60.0%)、40歳代(58.9%)、男性の60歳代(57.7%)に最も多く約6割となっている。

一方、『そう思わない』は、女性の20歳代(31.5%)、男性の20歳代(28.3%)に最も多く約3割、続いて、男性の50歳代(26.4%)の2割半ばとなっている。

エ 地域での人間関係はわずらわしい

『そう思う』が、女性の20歳代(27.9%)に最も多く約3割となっている。

オ 地域の人たちのことはよく知っている

『そう思う』は、女性の70歳代以上(40.5%)に最も多く約4割、続いて、男性の70歳代以上(34.2%)、60歳代(32.8%)の3割半ば、男性の50歳代(30.4%)の約3割となっている。

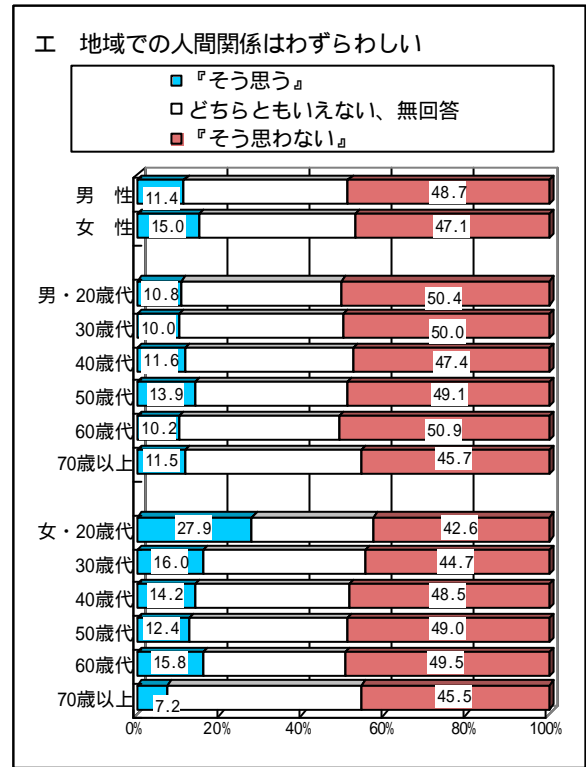
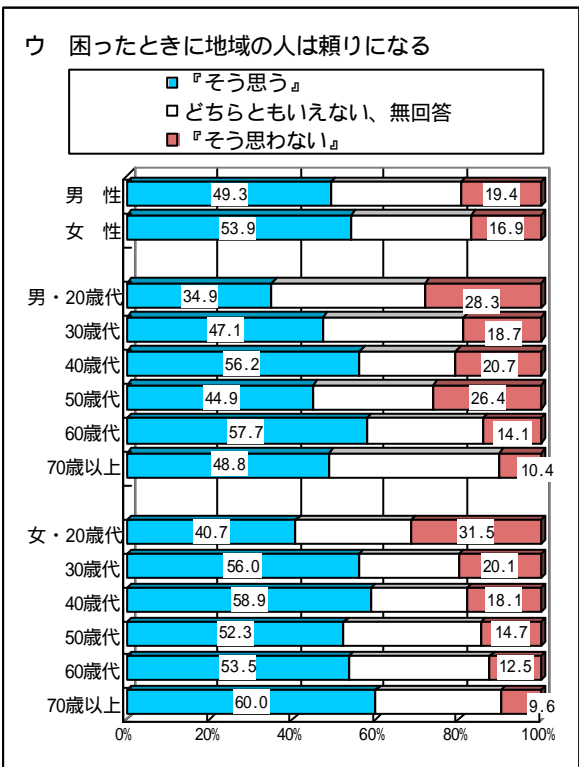
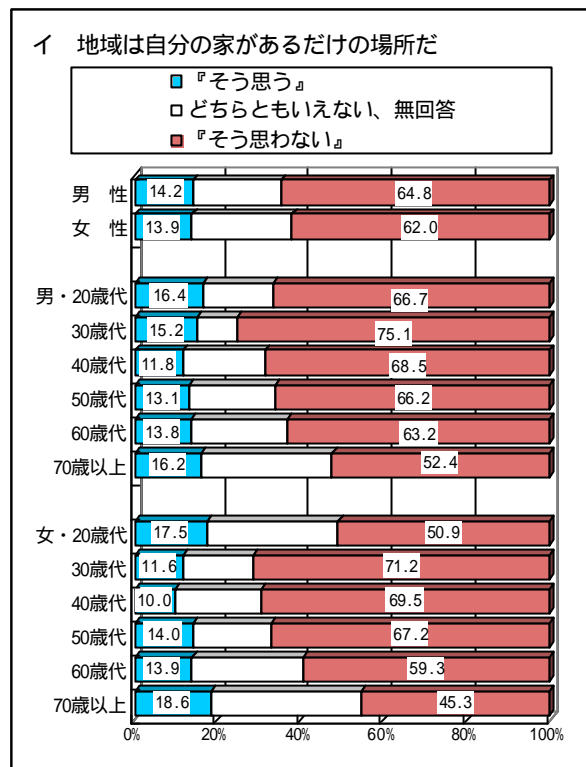
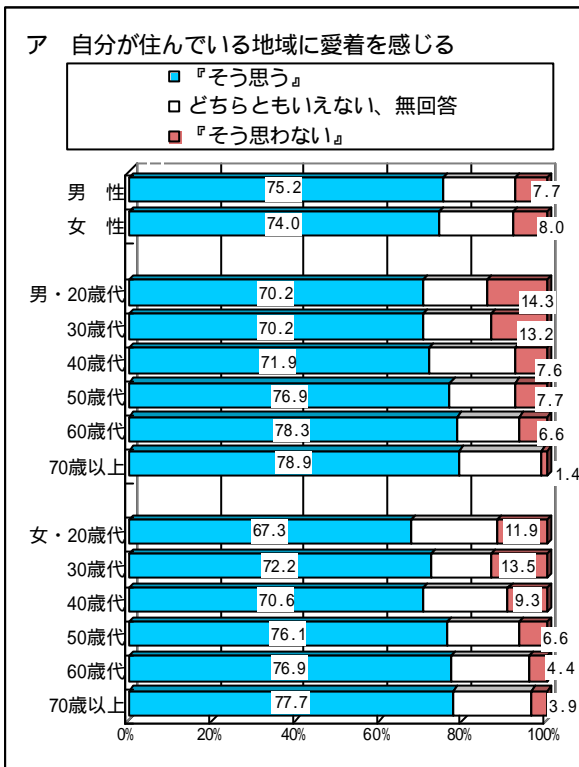
一方、『そう思わない』は、男性の20歳代(59.2%)に最も多く約6割、続いて、女性の20歳代(55.8%)の5割半ば、女性の30歳代(46.1%)、40歳代(46.0%)、男性の30歳代(45.9%)の4割半ばとなっている。

カ 地域の人とつきあう時間がない

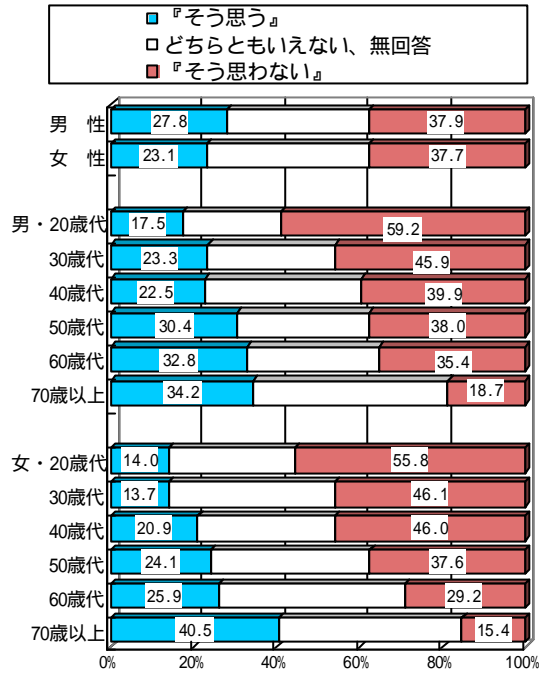
『そう思わない』は、年代別で、男性の70歳代以上(43.0%)に最も多く4割半ば、続いて、女性の60歳代(36.4%)、70歳代以上(36.2%)、男性の60歳代(35.1%)の3割半ばとなっている。

一方、『そう思う』は、男性の20歳代(67.2%)に最も多く6割半ば、続いて、女性の20歳代(62.0%)、男性の40歳代(57.7%)の約6割、男性の30歳代(54.4%)の5割半ば、女性の30歳代(51.8%)で約5割となっている。

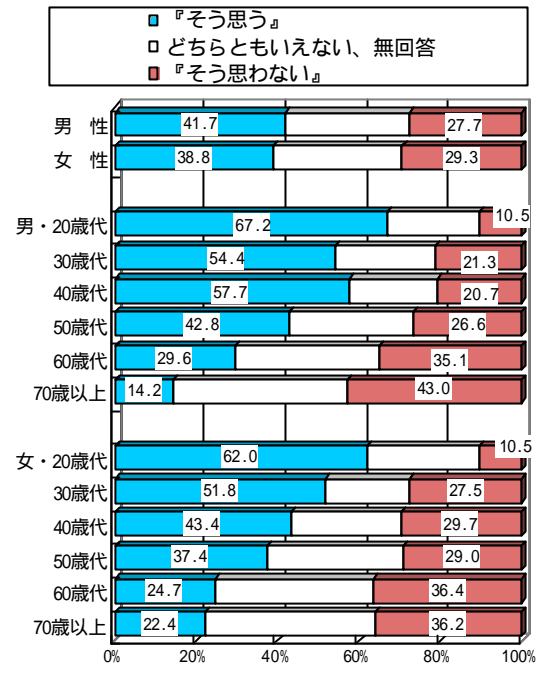
地域や地域の人たちとの関係 (性別、性・年代別)



オ 地域の人たちのことはよく知っている



カ 地域の人とつきあう時間がない



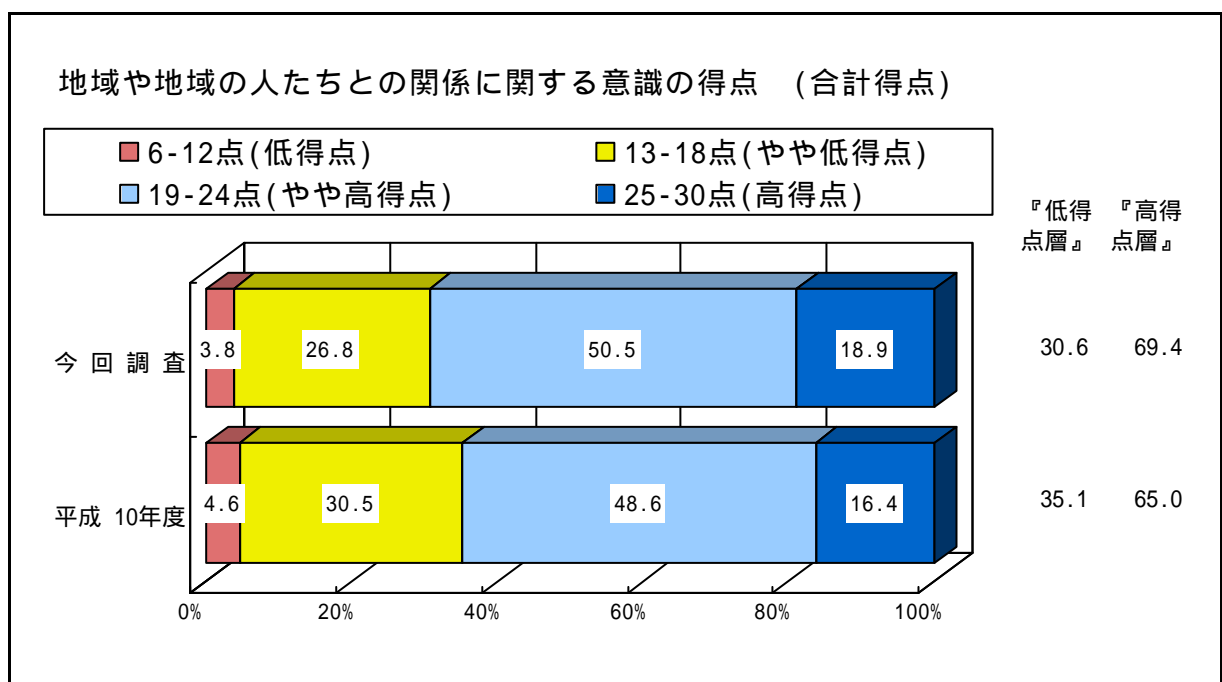
地域や地域の人たちとの関係に関する意識の得点別

地域や地域の人たちとの関係に関する意識の高得点層は、地域別では淡路、但馬、西播磨に多く、性・年代別では男性・女性の70歳代以上に多い

地域や地域の人たちとの関係に関する6項目の意識を、下表のように便宜的に得点化し、(6~12点)の「低得点層」、(13~18点)の「やや低得点層」、(19~24点)の「やや高得点層」、(25~30点)の「高得点層」と、その合計得点がほぼ4等分になるように区分した。これにより、高得点層ほど地域や地域の人たちとの関係に関する意識が高いことを示している。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない、無回答	あまりそう思わない	そう思わない
(+) ア 自分が住んでいる地域に愛着を感じる	5点	4点	3点	2点	1点
(-) イ 地域は自分の家があるだけの場所だ	1点	2点	3点	4点	5点
(+) ウ 困ったときに地域の人には頼りになる	5点	4点	3点	2点	1点
(-) エ 地域での人間関係はわずらわしい	1点	2点	3点	4点	5点
(+) オ 地域の人たちのことはよく知っている	5点	4点	3点	2点	1点
(-) カ 地域の人とつきあう時間がない	1点	2点	3点	4点	5点

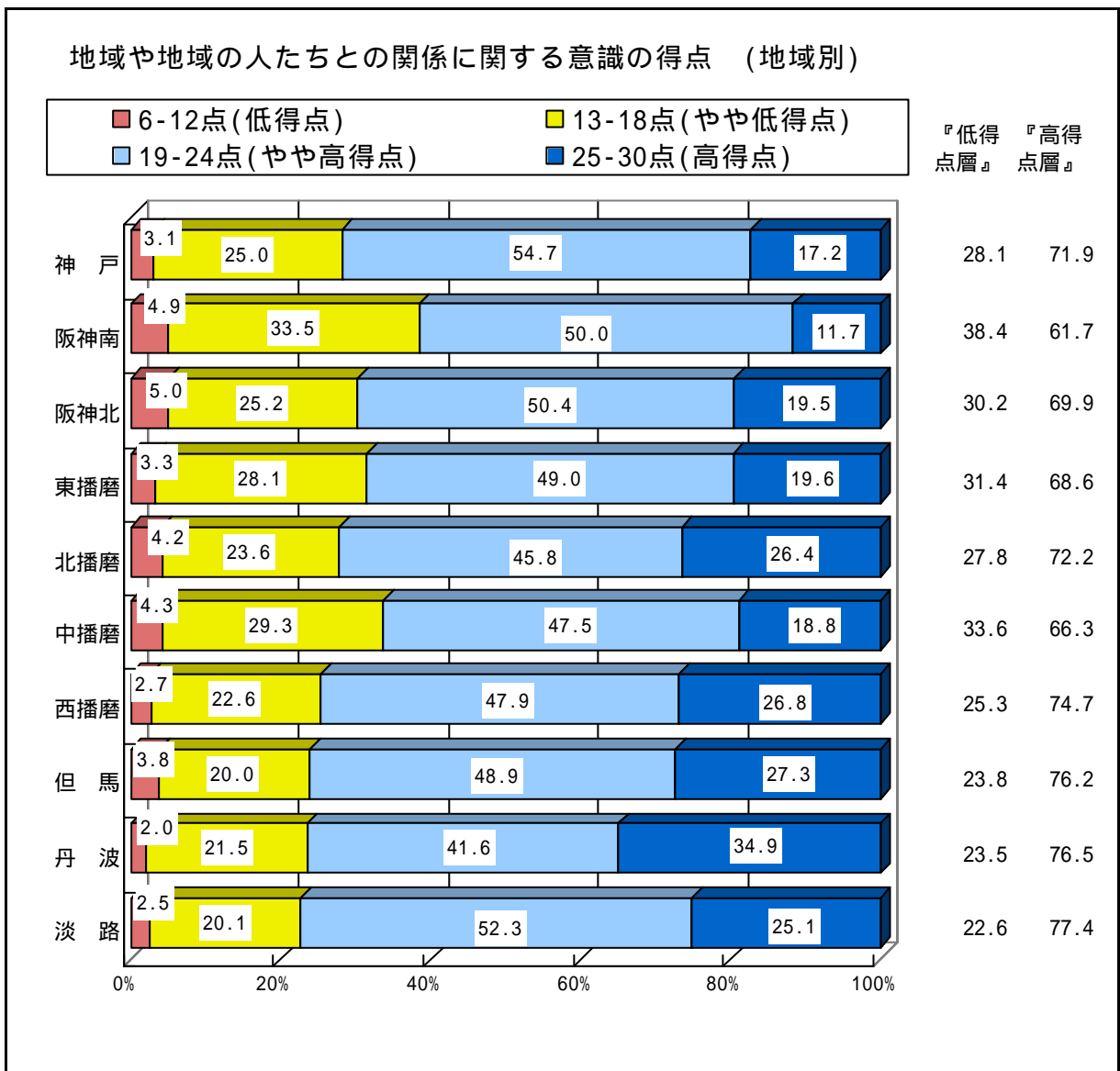
「無回答」は、回答者数(基数)を統一するために集計に含めるとともに、中立的回答とみなし、「どちらともいえない」と同じ3点とした。



「低得点層」(3.8%)と「やや低得点層」(26.8%)を合わせた『低得点層』(30.6%)は約3割、「高得点層」(18.9%)と「やや高得点層」(50.5%)を合わせた『高得点層』(69.4%)は約7割となっている。

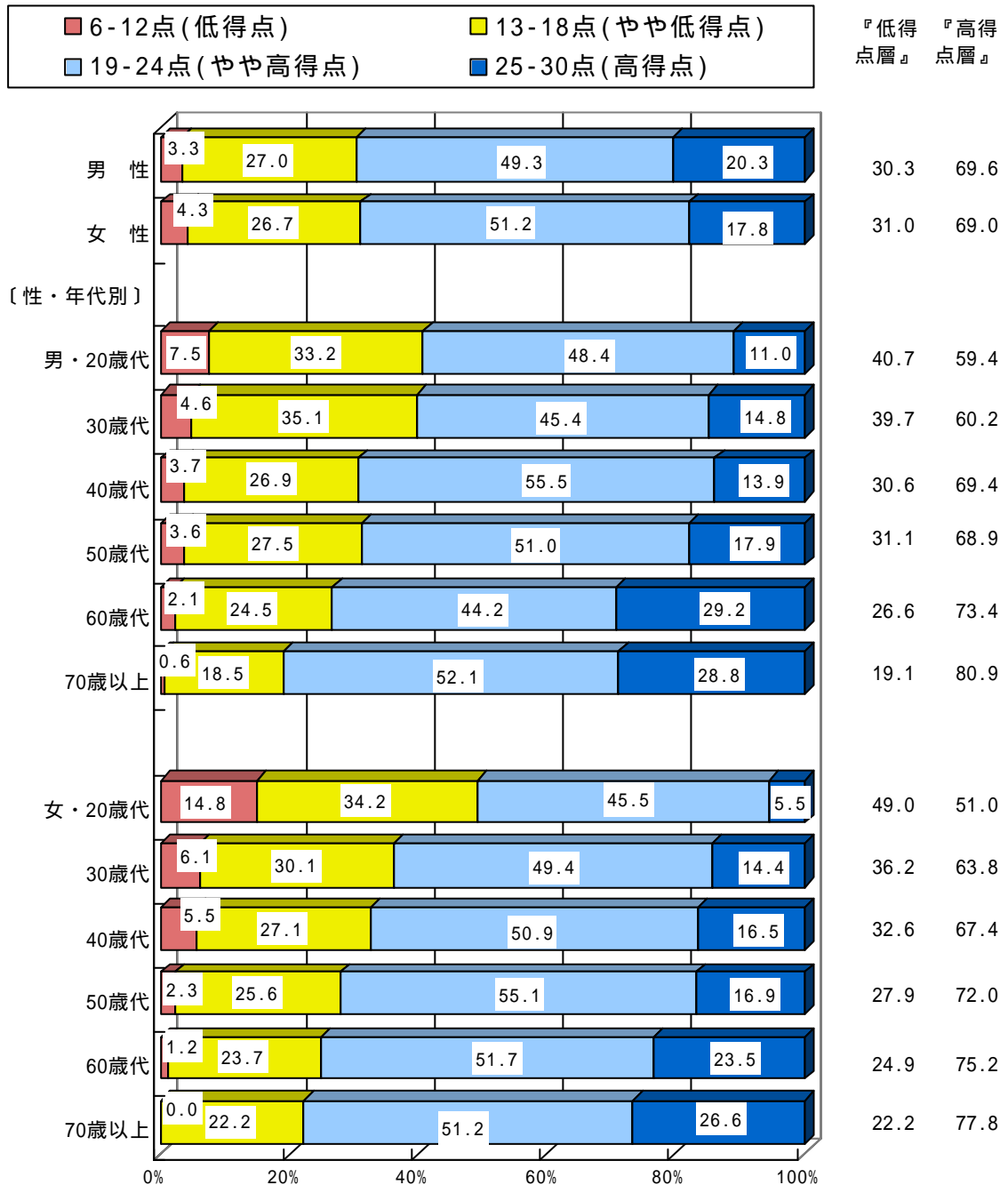
また、平成10年度調査との比較では、『低得点層』(30.6%)は平成10年度調査(35.1%)から約5ポイント減少し、『高得点層』(69.4%)は平成10年度調査(65.0%)から約4ポイント増加している。

このことから、県民意識において、少しずつではあるが、地域や地域の人たちとの関係づくりに向けた素地ができつつあることが伺える。



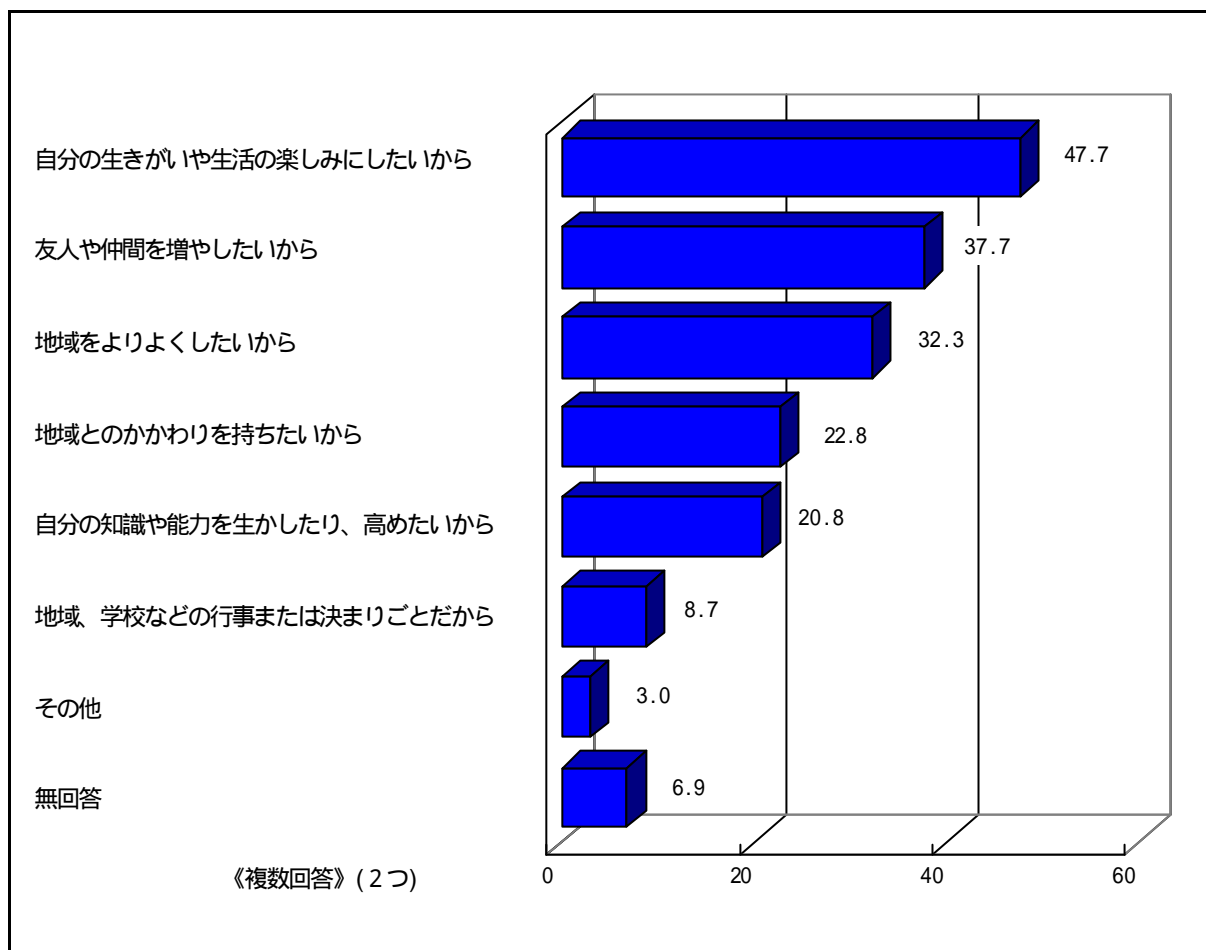
地域別にみると、「高得点層」「やや高得点層」を合わせた『高得点層』は、淡路(77.4%)、丹波(76.5%)、但馬(76.2%)、西播磨(74.7%)に多く7割半ばとなっており、「低得点層」「やや低得点層」を合わせた『低得点層』は、阪神南(38.4%)に多く約4割となっている。

地域や地域の人たちとの関係に関する意識の得点
(性別、性・年代別)



性・年代別にみると、「高得点層」「やや高得点層」を合わせた『高得点層』は、男性の70歳代以上(80.9%)、女性の70歳代以上(77.8%)に最も多く約8割、続いて、女性の60歳代(75.2%)の7割半ばとなっており、「低得点層」「やや低得点層」を合わせた『低得点層』は、女性の20歳代(49.0%)に最も多く約5割、続いて、男性の20歳代(40.7%)、30歳代(39.7%)の約4割、女性の30歳代(36.2%)の3割半ばとなっている。

<2> 地域活動に取り組む動機



半数近くが「自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから」

地域活動に取り組んでいる、または取り組もうとする動機を聞くと、「自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから」(47.7%)が最も多く約5割、続いて、「友人や仲間を増やしたいから」(37.7%)が約4割、「地域をよりよくしたいから」(32.3%)が約3割となっている。

地域別 「自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから」「友人や仲間を増やしたいから」は、中播磨に多い

地域別にみると、「自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから」「友人や仲間を増やしたいから」は中播磨に多い。「地域をよりよくしたいから」は神戸、「地域とのかかわりを持ちたいから」は阪神北、「地域、学校などの行事または決まりごとだから」は北播磨に多い。

地域活動に取り組む動機〔地域別〕

	自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから	友人や仲間を増やしたいから	地域をよりよくしたいから	地域とのかかわりを持ちたいから	自分の知識や能力を生かしたり、高めたいから	地域、学校などの行事または決まりごとだから	その他	無回答
全 県	47.7	37.7	32.3	22.8	20.8	8.7	3.0	6.9
〔地域別〕								
神 戸	44.9	39.1	37.1	21.9	21.5	6.3	4.3	6.3
阪神南	41.7	33.1	31.2	24.1	23.7	8.3	5.6	6.8
阪神北	50.7	37.9	28.7	27.3	20.9	9.2	1.1	6.7
東播磨	50.7	39.5	33.0	19.6	21.6	9.8	0.3	6.9
北播磨	45.5	36.8	30.6	22.9	20.1	14.9	1.0	6.6
中播磨	56.2	42.4	28.3	19.9	15.2	10.9	3.3	6.2
西播磨	51.2	35.1	33.6	23.2	20.8	8.9	0.9	7.7
但 馬	50.8	37.1	25.4	25.1	17.5	10.5	2.5	10.2
丹 波	49.0	31.2	34.9	25.2	18.5	8.4	3.4	8.1
淡 路	48.7	39.4	28.0	21.5	17.9	5.7	2.5	10.4

性別、性・年代別 「生きがいや生活の楽しみにしたいから」は、女性の50歳代以上に多く、「友人や仲間を増やしたいから」は、女性の20歳代、30歳代に多い

性・年代別にみると、「自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから」は女性の50歳代以上に多い。「友人や仲間を増やしたいから」は女性の20歳代、30歳代、「地域をよりよくしたいから」は男性の20歳代や50歳代、60歳代に多い。「地域とのかかわりを持ちたいから」は男性の40歳代、「自分の知識や能力を生かしたり、高めたいから」は女性の20歳代、男性では20歳代や30歳代、「地域、学校などの行事または決まりごとだから」は男性の40歳代、女性の40歳代、30歳代に多い。

地域活動に取り組む動機〔性別〕〔性・年代別〕

	自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから	友人や仲間を増やしたいから	地域をよりよくしたいから	地域とのかかわりを持ちたいから	自分の知識や能力を生かしたり、高めたいから	地域、学校などの行事または決まりごとだから	その他	無回答
全 県	47.7	37.7	32.3	22.8	20.8	8.7	3.0	6.9
〔性別〕								
男 性	42.5	33.3	39.7	25.5	20.5	8.1	3.5	6.4
女 性	51.8	41.2	26.1	20.7	21.2	9.2	2.7	7.3
〔性・年代別〕								
男・20歳代	32.9	36.6	45.1	26.6	29.7	10.2	1.6	1.0
30歳代	29.0	34.9	37.0	24.9	28.7	10.9	5.5	5.2
40歳代	45.6	33.4	30.3	32.9	20.8	18.1	2.8	2.3
50歳代	47.3	33.3	44.8	25.6	15.9	7.4	3.6	4.9
60歳代	50.3	33.1	45.8	20.6	17.6	4.4	3.1	6.8
70歳以上	39.1	30.1	32.3	25.0	17.6	0.6	4.2	16.5
女・20歳代	42.8	49.4	19.1	14.7	35.7	12.6	3.6	2.5
30歳代	43.6	42.2	32.0	26.4	21.3	15.6	2.0	2.5
40歳代	51.7	41.2	26.7	22.5	19.5	15.9	2.2	3.5
50歳代	55.4	41.4	25.5	25.5	21.7	5.0	3.2	5.0
60歳代	57.3	39.2	25.2	18.8	16.0	6.6	2.2	11.4
70歳以上	55.3	35.5	25.7	10.0	18.6	1.2	3.7	19.9

地域や地域の人たちとの関係に関する意識の得点別

「生きがいや生活の楽しみにしたいから」は、地域や地域の人たちとの関係に関する意識の高得点層に多い

「地域や地域の人たちとの関係」に関する意識の得点別にみると、「高得点層」「やや高得点層」を合わせた『高得点層』には、「自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから」「地域とのかかわりを持ちたいから」とする人が多く、「低得点層」「やや低得点層」を合わせた『低得点層』には、「自分の知識や能力を生かしたり、高めたいから」「地域、学校などの行事または決まりごとだから」とする人が多い。

地域活動に取り組む動機〔地域や地域の人たちとの関係に関する意識の得点別〕

	自分の生きがいや生活の楽しみにしたいから	友人や仲間を増やしたいから	地域をよりよくしたいから	地域とのかかわりを持ちたいから	自分の知識や能力を生かしたり、高めたいから	地域、学校などの行事または決まりごとだから	その他	無回答
全 県	47.7	37.7	32.3	22.8	20.8	8.7	3.0	6.9
〔地域意識得点別〕								
低得点	43.1	32.2	16.5	9.7	32.0	18.2	11.0	6.9
やや低得点	43.5	35.0	26.7	17.1	21.5	11.3	3.9	11.5
やや高得点	48.0	39.0	34.9	24.9	20.2	7.8	2.7	5.4
高得点	53.8	39.1	36.5	27.7	19.1	5.4	1.1	4.2

(2)地域の安全についての意識

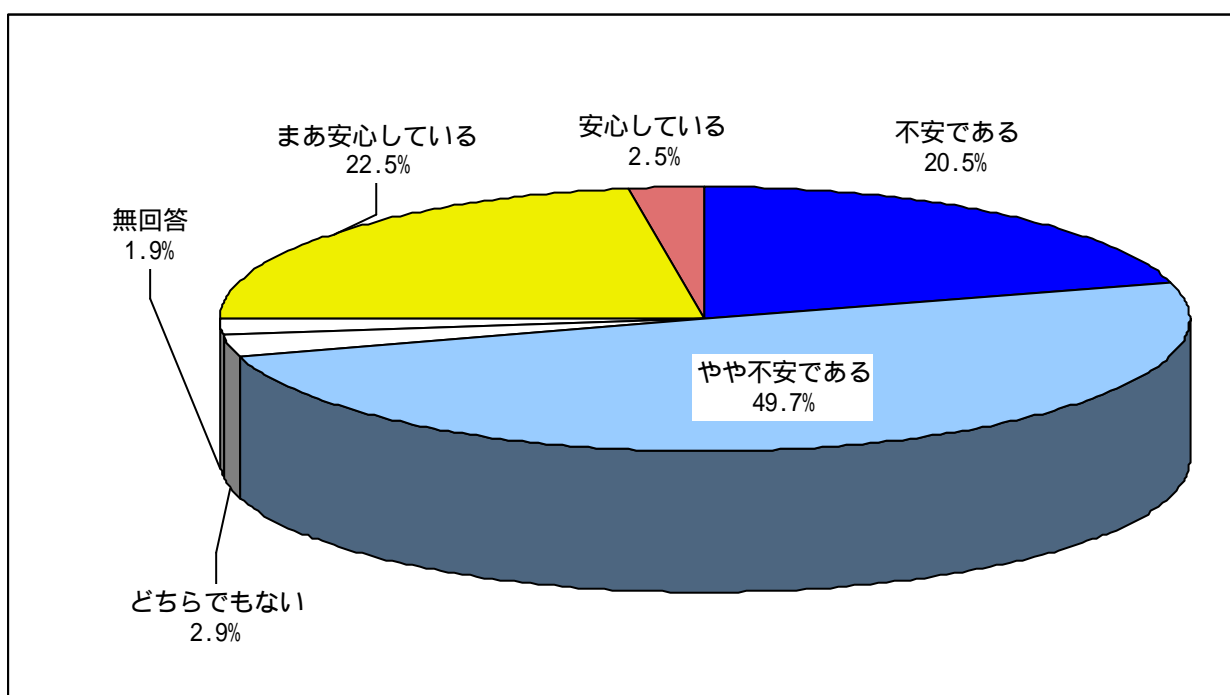
犯罪被害への『不安』は70.2%と7割に及ぶ。

「自分が被害にあった」「家族が被害にあった」ともに乗り物盗が最も多い。「近所の人
が被害にあった」は空き巣が最も多い。

地域の安全・安心確保に不十分なものとして、「防犯灯・防犯カメラの設置」(54.5%)に続き、
「地域の見回りの強化」「地域の犯罪・防犯情報の提供」があげられている。

地域の安全・安心確保のため、以前からしているのは「声かけ(あいさつ)運動」、今後して
みたいのは「地域の犯罪・防犯情報の提供」。

<1> 犯罪被害に対する不安



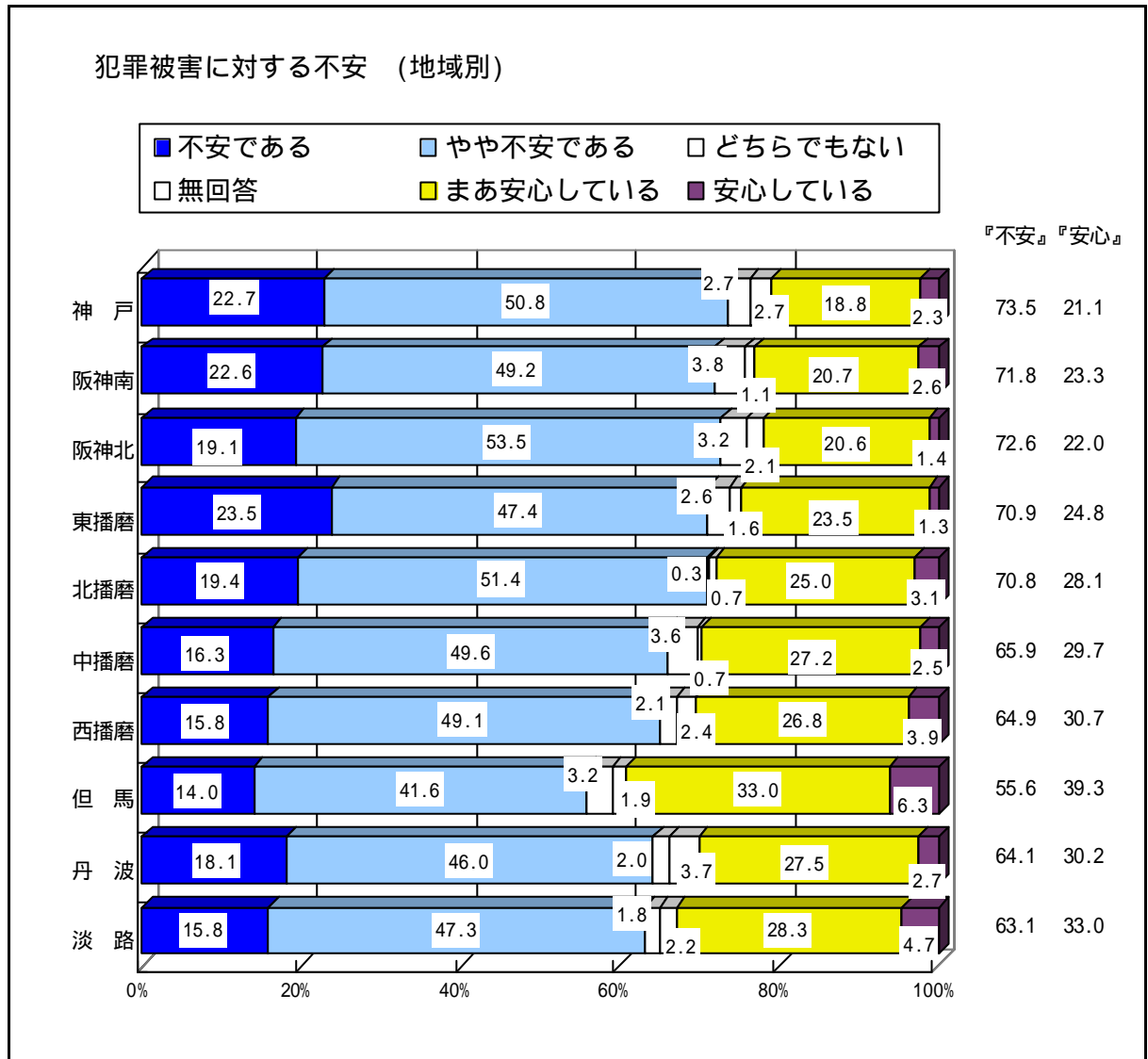
犯罪被害への『不安』は70.2%

居住地域において、犯罪被害にあうのではないかと不安をどの程度感じているかを聞くと、「不安である」は20.5%と5人に1人に相当し、「やや不安である」は49.7%と半数に及び、両者を合わせた『不安』は70.2%と7割を占める。一方、「まあ安心している」は22.5%、「安心している」は2.5%で、両者を合わせた『安心』は25.0%と4人に1人の割合となっている。

地域別

いずれの地域も『不安』が半数を超える

地域別にみると、いずれの地域も『不安』が半数を超える。神戸、阪神南、阪神北、東播磨、北播磨で7割を超え、神戸、阪神北、阪神南の順で多い。一方、但馬は5割半ばと最も少なく、4割近くの人が『安心』としている。

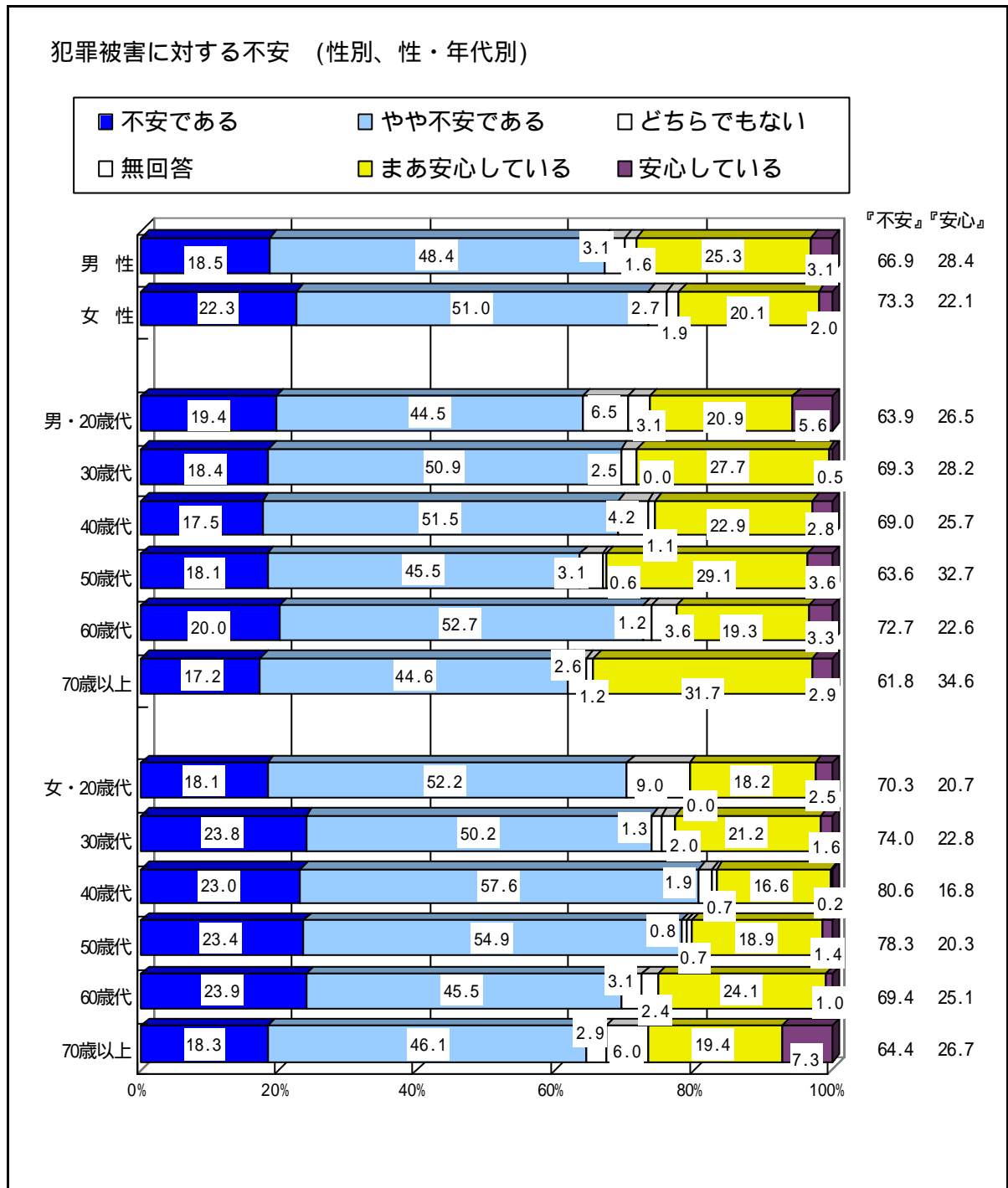


性別、性・年代別

女性の40歳代と50歳代で『不安』が多い

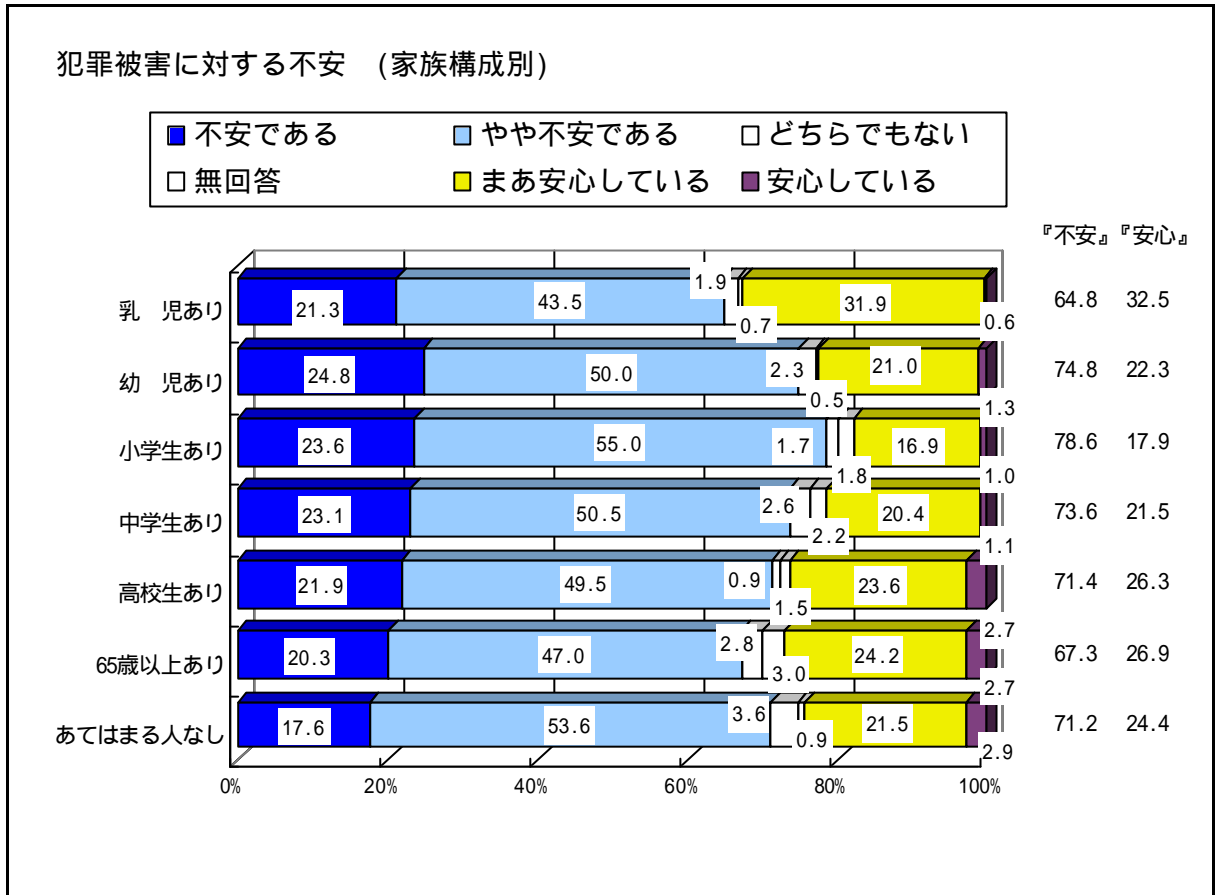
性別では、『不安』は男性66.9%、女性73.3%と女性が多くなっている。

性・年代別にみると、『不安』は女性の40歳代と50歳代で多く8割前後に及び、30歳代がそれに次ぐ。



家族構成別 小学生のいる世帯で『不安』は8割近くに

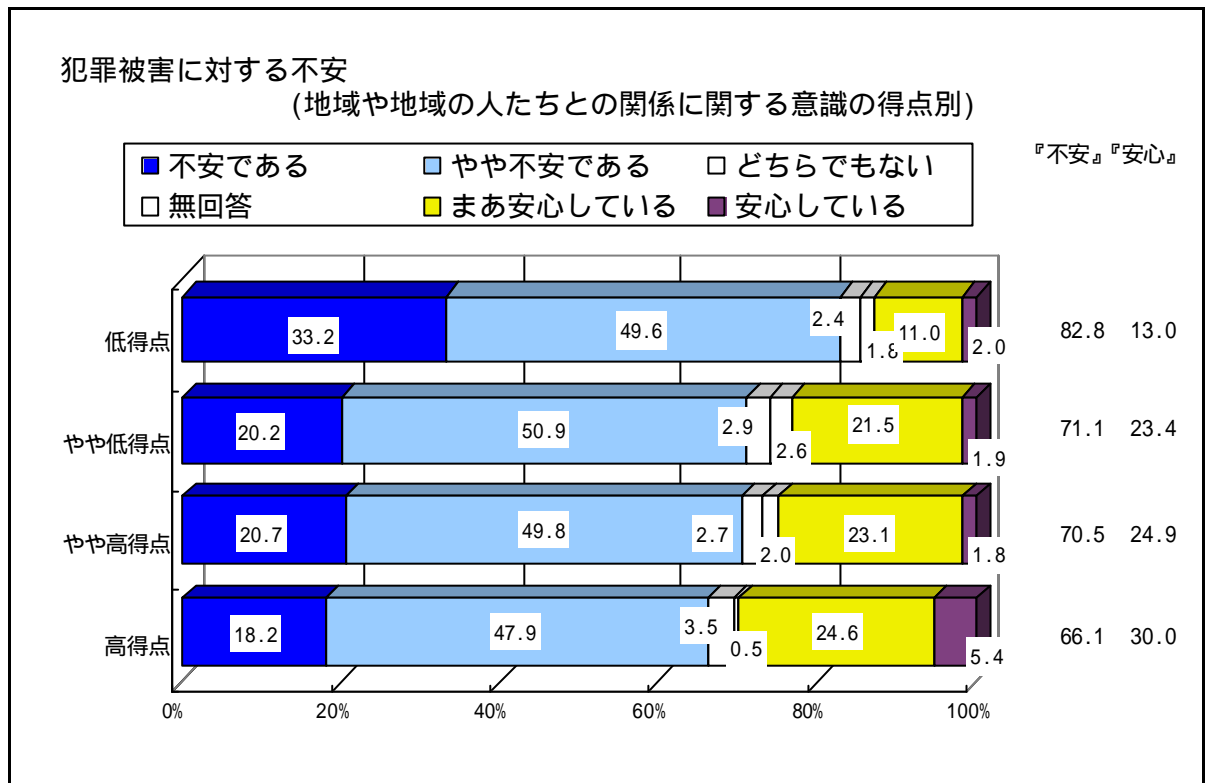
家族構成別にみると、『不安』は小学生のいる世帯で最も多く、8割近くに及んでいる。



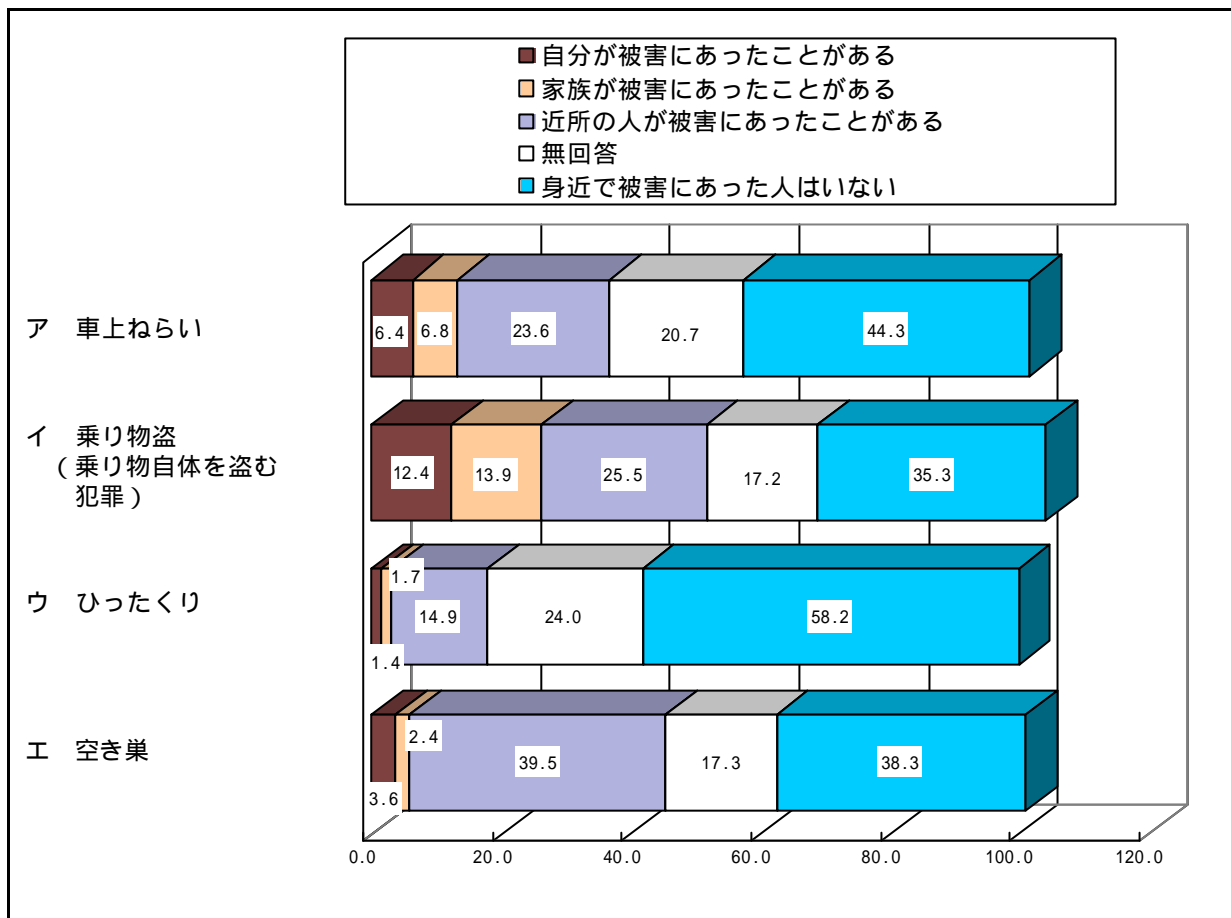
地域や地域の人たちとの関係に関する意識の得点別

『不安』は地域意識の低得点層では8割を超えている

「地域や地域の人たちとの関係」に関する意識の得点別にみると、4つの層とも『不安』が半数を超え、特に、地域に対する意識の得点の低い「低得点層」では8割を超えている。一方、地域に対する意識の得点の高い「高得点層」では6割半ばと少なく、この層では3割が『安心』としている。



<2> 自分の身近で犯罪被害にあった経験



「自分が被害にあったことがある」は、乗り物盗が12.4%と最も多い

回答者本人や家族、近所の方が、この5年間に居住地域で、車上ねらいや乗り物盗、ひったくり、空き巣などの犯罪の被害にあったことがあるかを聞くと、「自分が被害にあったことがある」ものとして乗り物盗（乗り物自体を盗む犯罪）が12.4%と最も多い。また、「家族が被害にあったことがある」ものも乗り物盗（乗り物自体を盗む犯罪）が13.9%と最も多い。一方、「近所の方が被害にあったことがある」のは空き巣が最も多く、39.5%となっている。

地域別 車上ねらいなど、東播磨で多い

車上ねらいや乗り物盗、ひったくり、空き巣などの犯罪にあったかどうかを地域別にみると、以下のようになっている。

ア 車上ねらい

「自分が被害にあった」は地域間では大きな差はないが10地域の中では東播磨(8.2%)が最も多く、神戸(7.0%)が続いている。「家族が被害にあった」も東播磨(8.8%)で多く、阪神南(8.6%)が続いている。「近所の人」が被害にあった」は東播磨(33.0%)と北播磨(33.0%)が多く、「自分」「家族」「近所の人」を合わせると、東播磨と北播磨は4割を超えている。10地域の中では淡路が最も少ない。

イ 乗り物盗(乗り物自体を盗む犯罪)

乗り物盗は地域差が顕著で、「自分が被害にあった」は阪神南(18.4%)が最も多く、次いで神戸(13.7%)と東播磨(13.7%)、阪神北(12.8%)、中播磨(10.1%)が10%台が続いている。一方、西播磨、丹波、北播磨、但馬、淡路は5%前後と少ない。「家族が被害にあった」は阪神南(16.5%)で多く、東播磨(15.7%)、神戸(14.8%)、西播磨(13.4%)が続いている。「近所の人」が被害にあった」は東播磨(33.3%)で多く、神戸(29.3%)が続いている。「自分」「家族」「近所の人」を合わせると、東播磨は6割を超え、神戸は6割近く、阪神南は5割半ばとなっている。10地域の中では淡路が最も少ない。

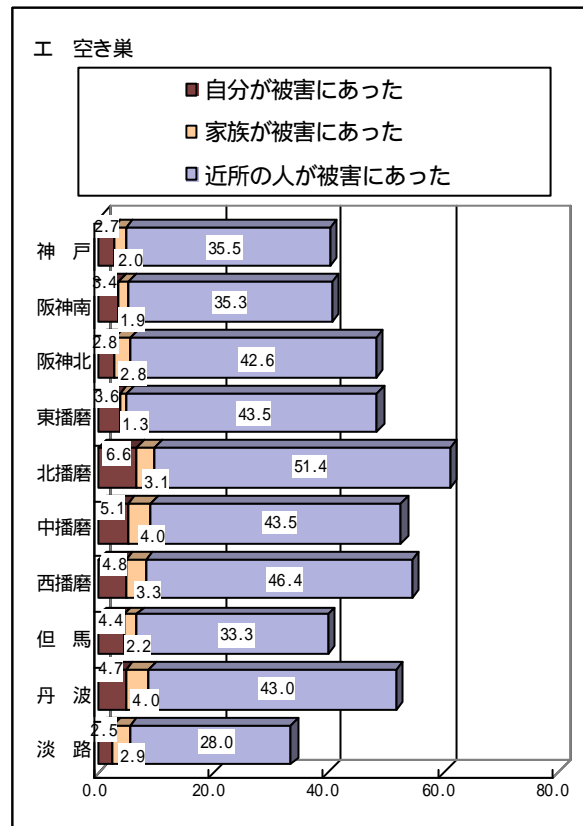
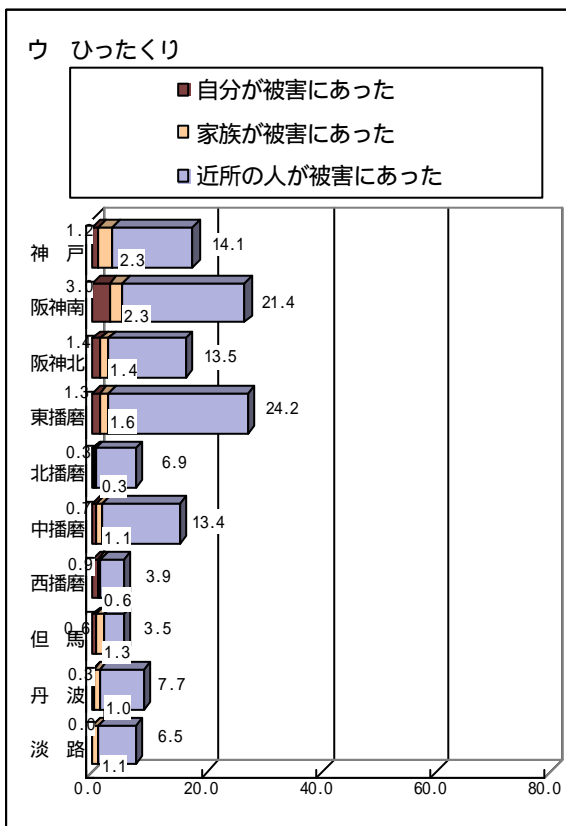
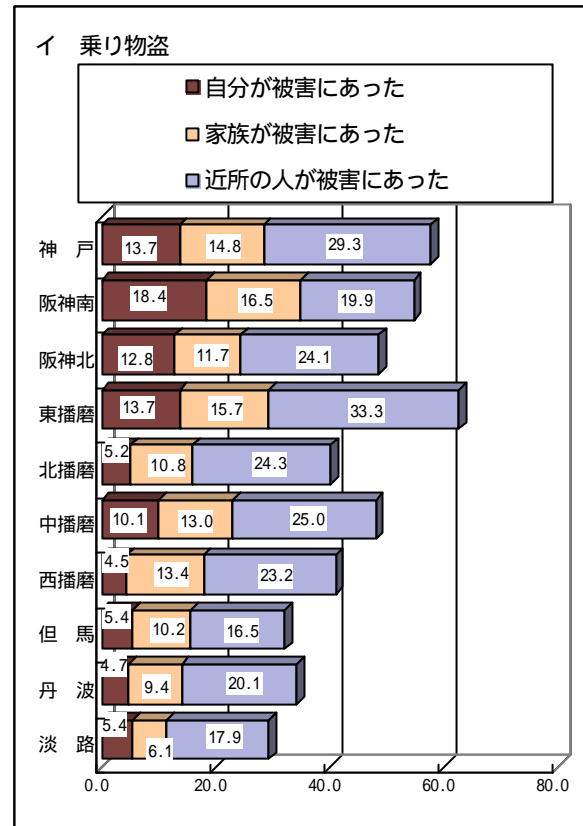
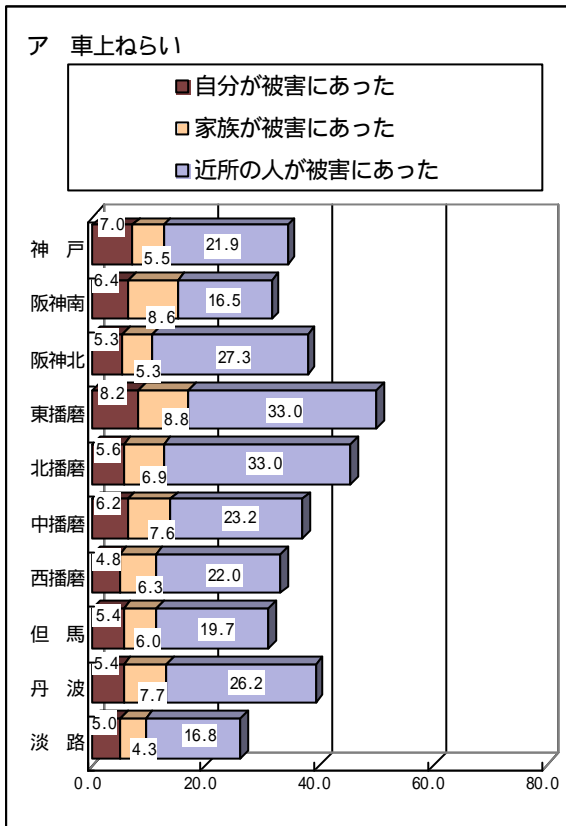
ウ ひったくり

「自分」「家族」とも被害は少なく、地域差もほとんどみられない。しかし、「近所の人」が被害にあった」は東播磨(24.2%)、阪神南(21.4%)が2割台で続き、次いで神戸(14.1%)、阪神北(13.5%)、中播磨(13.4%)の順で多い。

エ 空き巣

「自分が被害にあった」は北播磨(6.6%)、中播磨(5.1%)、西播磨(4.8%)、丹波(4.7%)の順で多い。「近所の人」が被害にあった」は北播磨(51.4%)で多く、5割を超えている。10地域の中では淡路が最も少ない。

自分の身近で犯罪被害にあった経験（地域別）



性別、性・年代別

「自分が乗り物盗にあった」は男性20歳代では4人に1人

車上ねらいや乗り物盗、ひったくり、空き巣などの犯罪にあったかどうかを性別、性・年代別にみると、以下のようになっている。

ア 車上ねらい

「自分が被害にあった」は女性(4.4%)より男性(8.9%)に多い。性・年代別では男性の30歳代(14.5%)と40歳代(13.9%)で多く、女性の中では30歳代(7.3%)と50歳代(7.8%)が多い。

イ 乗り物盗(乗り物自体を盗む犯罪)

乗り物盗の被害は男女とも年代の若い層で多くなる傾向があり、「自分が被害にあった」は男性の30歳代(19.5%)や女性の20歳代(17.8%)では2割近くにのぼり、特に男性の20歳代では4人に1人(26.4%)に達する。

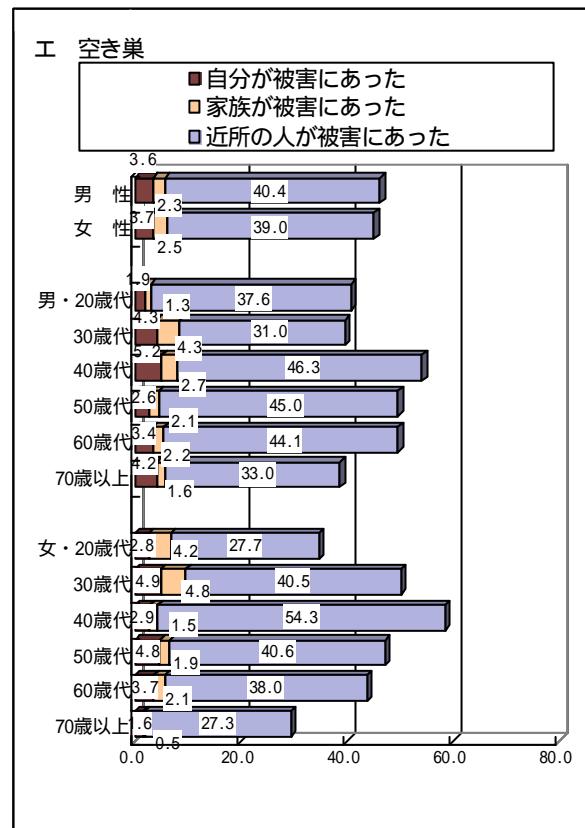
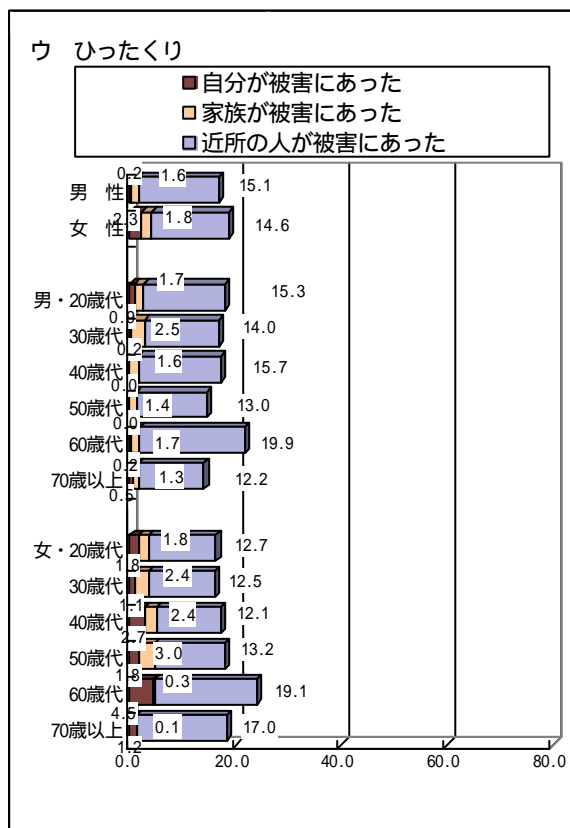
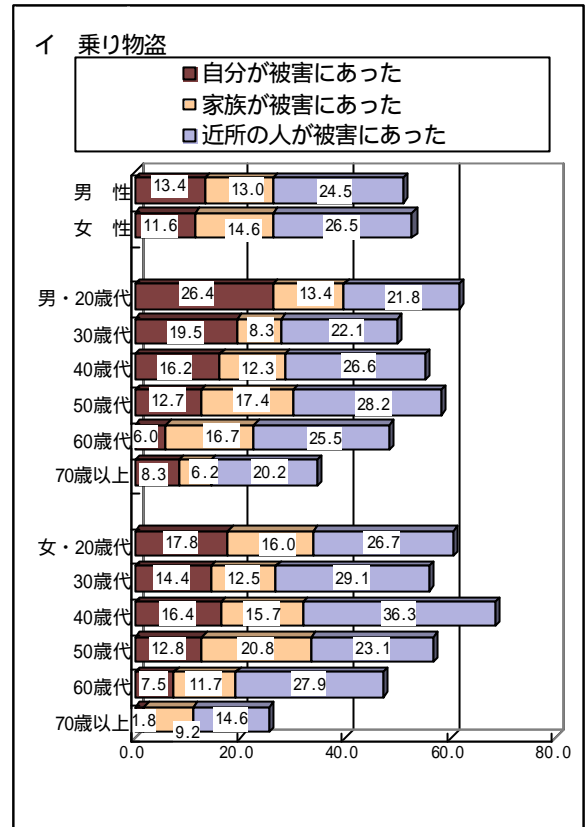
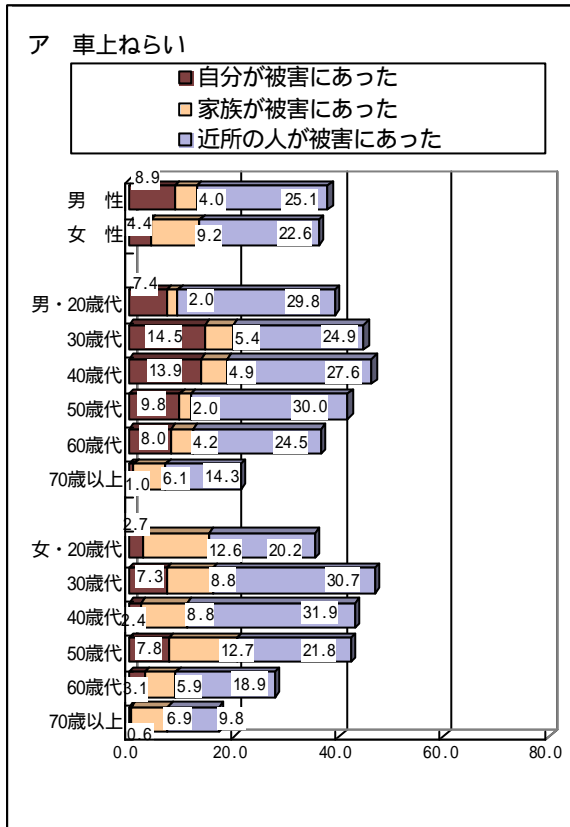
ウ ひったくり

「自分が被害にあった」は男性(0.2%)より女性(2.3%)に多く、性・年代別では、女性の60歳代(4.5%)が多い。

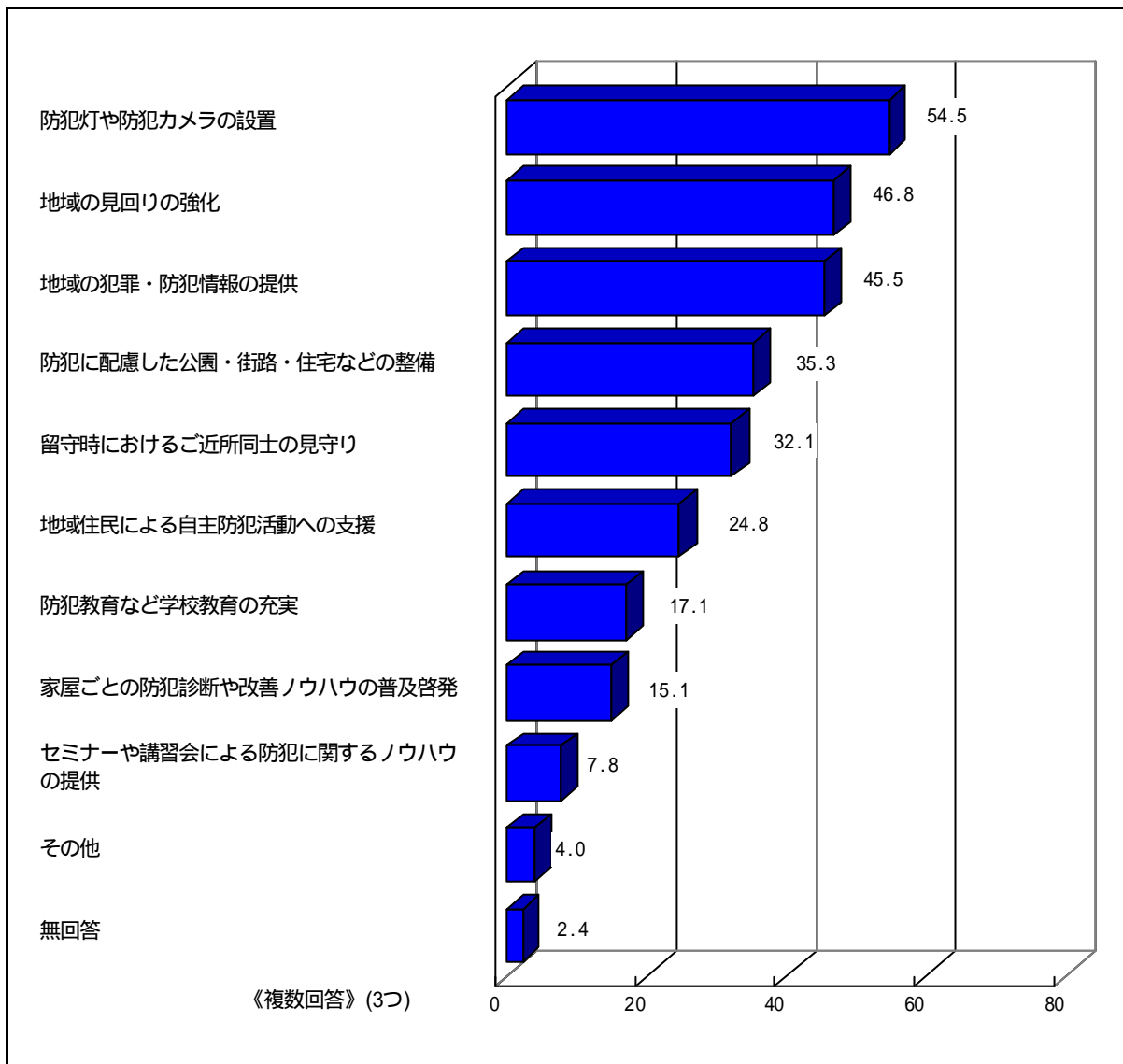
エ 空き巣

「自分が被害にあった」は男性(3.6%)、女性(3.7%)とも5%弱、「近所の人」が被害にあった」は男性(40.4%)、女性(39.0%)とも4割程度となっている。また、「近所の人」が被害にあった」は男女とも40歳代(男性46.3%、女性54.3%)が多い。

自分の身近で犯罪被害にあった経験（性別、性・年代別）



<3> 地域の安全・安心確保に向けて不十分な点



トップは「防犯灯や防犯カメラの設置」で54.5%

地域の安全・安心の確保に向けて、現状ではどのような点が特に不十分か、3つあげてもらくと、「防犯灯や防犯カメラの設置」が54.5%と最も多く、次いで、「地域の見回りの強化」(46.8%)、「地域の犯罪・防犯情報の提供」(45.5%)が続き、以下、「防犯に配慮した公園・街路・住宅などの整備」(35.3%)、「留守時におけるご近所同士の見守り」(32.1%)、「地域住民による自主防犯活動への支援」(24.8%)と続いている。

地域別

「防犯灯や防犯カメラの設置」はいずれの地域でもトップに

地域別にみると、「防犯灯や防犯カメラの設置」は、いずれの地域でも1位にあげており、特に東播磨、北播磨で多い。「地域の見回りの強化」は阪神南と東播磨で5割超と多く、「防犯に配慮した公園・街路・住宅などの整備」は阪神北、中播磨で多い。「留守時におけるご近所同士の見守り」は、北播磨、西播磨、但馬、丹波で多く、「地域住民による自主防犯活動への支援」は、淡路、丹波、但馬の順で多い。

地域の安全・安心確保に向けて不十分な点〔地域別〕

	防犯灯や防犯カメラの設置	地域の見回りの強化	地域の犯罪・防犯情報の提供	防犯に配慮した公園・街路・住宅などの整備	留守時におけるご近所同士の見守り	地域住民による自主防犯活動への支援	防犯教育など学校教育の充実	家屋ごとの防犯診断や改善ノウハウの普及啓発	セミナーや講習会による防犯に関するノウハウの提供	その他	無回答
全 県	54.5	46.8	45.5	35.3	32.1	24.8	17.1	15.1	7.8	4.0	2.4
〔地域別〕											
神 戸	55.5	46.9	44.9	35.5	28.5	21.9	16.4	19.1	9.0	4.7	2.7
阪神南	54.1	53.8	45.1	36.8	32.3	23.3	13.5	12.8	5.6	4.5	1.9
阪神北	52.8	47.5	49.3	41.1	30.1	23.8	19.5	16.0	7.8	4.6	1.4
東播磨	57.5	53.3	42.5	36.6	31.7	22.9	19.3	10.5	7.5	4.9	2.0
北播磨	56.9	41.7	47.6	29.5	40.3	29.2	17.4	16.0	6.9	3.1	1.4
中播磨	55.8	40.6	47.1	40.2	30.8	25.4	17.4	13.0	6.5	1.8	2.9
西播磨	52.7	38.4	48.5	27.4	40.2	28.3	15.8	15.5	9.5	3.0	3.3
但 馬	46.3	36.8	40.3	22.9	39.7	34.0	22.2	14.9	9.5	2.5	5.1
丹 波	44.3	33.9	43.3	23.8	38.9	36.6	17.8	19.1	11.7	3.4	3.4
淡 路	54.1	38.0	44.1	24.4	35.1	38.0	20.8	11.8	9.3	2.2	2.5

性別、性・年代別

「防犯灯や防犯カメラの設置」は女性20歳代で6割を超える

「防犯灯や防犯カメラの設置」は、男女とも年代の若い層に多く、特に女性の20歳代では6割を超えている。また、「防犯に配慮した公園・街路・住宅などの整備」も男女とも年代の若い層に多くあげられている。一方、「地域の犯罪・防犯情報の提供」は、女性の40歳代を中心に多くなっている。

地域の安全・安心確保に向けて不十分な点〔性別〕〔性・年代別〕

	防犯灯や防犯カメラの設置	地域の見回りの強化	地域の犯罪・防犯情報の提供	防犯に配慮した公園・街路・住宅などの整備	留守時におけるご近所同士の見守り	地域住民による自主防犯活動への支援	防犯教育など学校教育の充実	家屋ごとの防犯診断や改善ノウハウの普及啓発	セミナーや講習会による防犯に関するノウハウの提供	その他	無回答
全 県	54.5	46.8	45.5	35.3	32.1	24.8	17.1	15.1	7.8	4.0	2.4
〔性別〕											
男 性	52.2	45.7	44.6	33.1	34.5	27.4	19.4	14.5	8.4	4.7	1.3
女 性	56.7	47.8	46.4	37.4	30.4	22.7	15.0	15.4	7.4	3.3	3.1
〔性・年代別〕											
男・20歳代	59.7	52.7	43.6	48.7	27.1	26.1	20.7	11.6	3.8	0.0	0.5
30歳代	54.9	48.2	45.3	52.0	27.4	19.7	14.3	12.9	11.4	4.3	0.0
40歳代	54.2	49.0	43.3	32.4	28.8	26.0	21.5	18.9	11.4	6.4	0.5
50歳代	55.5	43.9	43.8	29.6	33.5	31.8	16.8	14.7	7.9	5.1	0.9
60歳代	49.5	45.8	47.7	27.3	40.7	30.4	18.0	14.2	7.3	5.8	2.1
70歳以上	41.4	38.7	44.0	21.6	43.6	25.2	25.4	13.7	8.4	4.5	3.2
女・20歳代	63.2	47.7	43.7	49.4	18.7	24.6	15.8	19.0	5.0	2.0	0.9
30歳代	58.4	47.8	49.6	49.2	25.3	19.7	17.9	16.7	6.1	2.6	1.6
40歳代	59.4	44.4	56.3	41.5	29.0	26.0	19.0	13.7	8.0	2.3	0.2
50歳代	57.8	51.7	50.0	30.6	30.3	24.6	11.8	12.2	9.7	5.4	2.1
60歳代	51.6	49.1	44.9	32.0	36.9	22.7	10.5	13.9	6.6	3.5	5.8
70歳以上	52.9	42.5	28.8	27.7	37.8	18.3	19.4	21.0	7.8	2.6	7.0

家族構成別

乳児のいる世帯で多い「防犯灯や防犯カメラの設置」「地域の見回り強化」

家族構成別にみると、「防犯灯や防犯カメラの設置」「地域の見回りの強化」は、乳児のいる世帯に多くあげられている。

地域の安全・安心確保に向けて不十分な点 【家族構成別】

	防犯灯や防犯カメラの設置	地域の見回りの強化	地域の犯罪・防犯情報の提供	防犯に配慮した公園・街路・住宅などの整備	留守時におけるご近所同士の見守り	地域住民による自主防犯活動への支援	防犯教育など学校教育の充実	家屋ごとの防犯診断や改善ノウハウの普及啓発	セミナーや講習会による防犯に関するノウハウの提供	その他	無回答
全 県	54.5	46.8	45.5	35.3	32.1	24.8	17.1	15.1	7.8	4.0	2.4
〔家族構成別〕											
乳 児あり	67.7	58.7	42.2	38.7	21.4	20.5	14.2	16.4	2.1	0.7	4.3
幼 児あり	53.1	45.6	48.3	44.9	31.0	21.6	20.0	11.7	9.1	3.8	2.5
小学生あり	50.5	45.5	43.7	42.3	27.2	21.2	28.2	12.9	9.7	4.5	2.0
中学生あり	50.1	43.6	46.7	38.0	28.4	27.7	21.5	18.7	9.1	3.1	1.2
高校生あり	57.6	42.4	49.0	33.1	32.7	24.2	19.5	15.1	8.1	3.4	2.1
65歳以上あり	51.0	46.1	44.3	27.1	36.9	26.6	18.5	16.8	7.2	4.1	3.4
あてはまる人なし	59.4	49.1	46.1	38.8	28.8	24.8	13.4	14.7	7.8	4.1	0.9

犯罪被害に対する不安の有無別

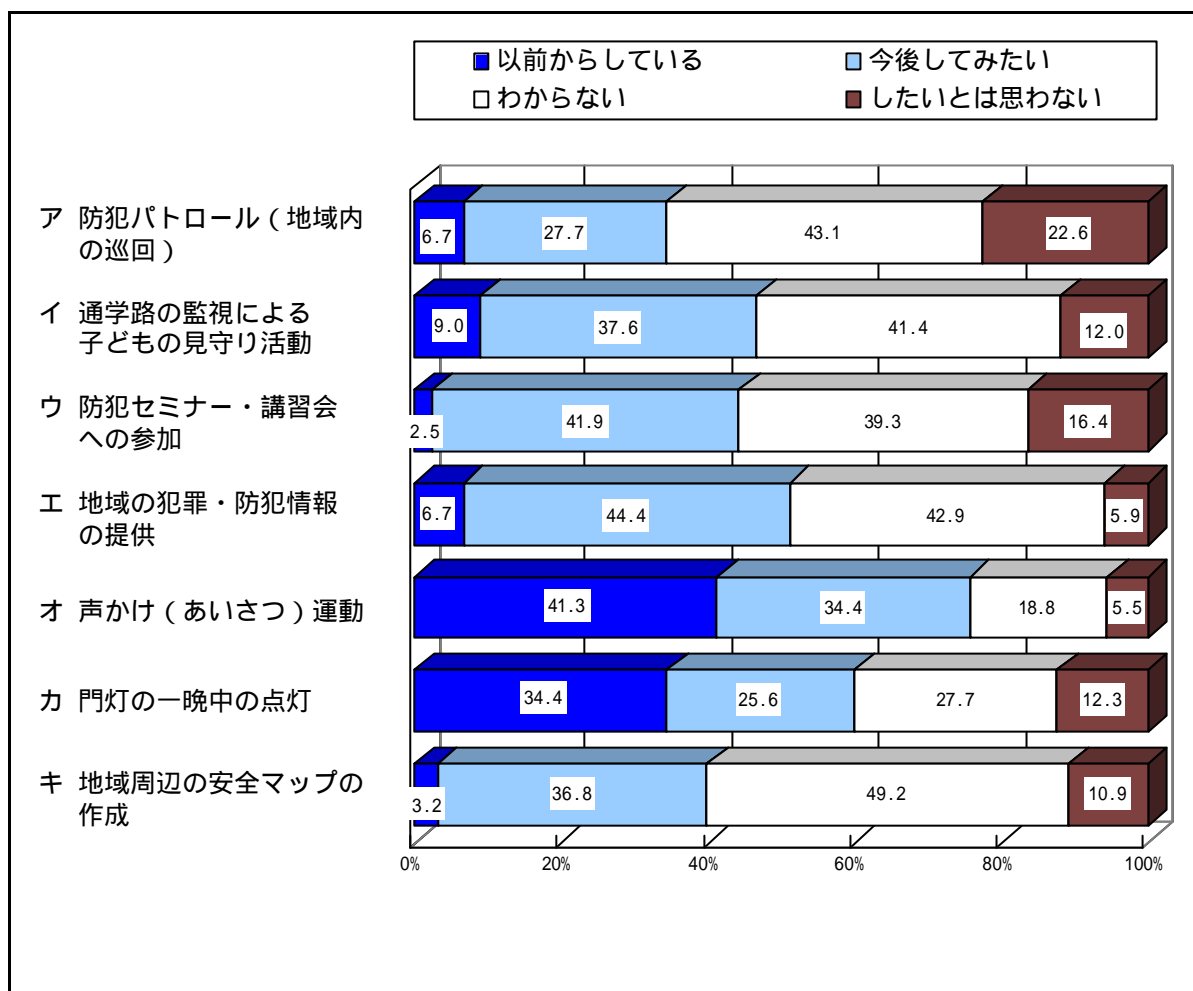
「地域の見回りの強化」は、『不安層』が『安心層』を大きく上回る

犯罪被害に対する不安の有無別(Q1)にみると、「防犯灯や防犯カメラの設置」「地域の見回りの強化」は、犯罪被害への『不安』層に特に多くあげられ、両者とも半数を超えるとともに、「地域の見回りの強化」は『安心』層を約18ポイント上回っている。一方、「地域の犯罪・防犯情報の提供」「留守時におけるご近所同士の見守り」「地域住民による自主防犯活動への支援」などは犯罪被害への『安心』層に多くあげられ、この層では「地域の犯罪・防犯情報の提供」を半数の人があげ、1位となっている。

地域の安全・安心確保に向けて不十分な点 【Q1. 犯罪被害に対する不安の有無別】

	防犯灯や防犯カメラの設置	地域の見回りの強化	地域の犯罪・防犯情報の提供	防犯に配慮した公園・街路・住宅などの整備	留守時におけるご近所同士の見守り	地域住民による自主防犯活動への支援	防犯教育など学校教育の充実	家屋ごとの防犯診断や改善ノウハウの普及啓発	セミナーや講習会による防犯に関するノウハウの提供	その他	無回答
全 県	54.5	46.8	45.5	35.3	32.1	24.8	17.1	15.1	7.8	4.0	2.4
〔Q1. 犯罪被害に対する不安の有無別〕											
『不安』	57.8	52.0	44.9	36.3	31.0	23.7	16.8	15.1	7.2	3.9	1.0
『安心』	47.0	34.5	50.0	34.6	36.0	29.2	18.8	14.2	10.3	4.4	2.7

<4> 地域の安全・安心確保のための取り組み



声かけ（あいさつ）運動で「以前からしている」は41.3%

地域の安全・安心を確保するために、していることや今後してみたいことを防犯パトロール、通学路の監視による子どもの見守り活動など7項目について聞くと、「以前からしている」こととしては、声かけ（あいさつ）運動が41.3%と最も多く、次いで門灯の一晩中の点灯が34.4%となっており、防犯セミナー・講習会への参加や地域周辺の安全マップの作成は5%以下にとどまっている。一方、「今後してみたい」こととしては、地域の犯罪・防犯情報の提供が44.4%と最も多く、次いで防犯セミナー・講習会への参加が41.9%と続いている。

地域別

声かけ運動の参加意向は丹波、東播磨、北播磨で多い

「以前からしている」と「今後してみたい」を合わせた参加意向を地域別にみると、以下のようになっている。

ア 防犯パトロール（地域内の巡回）

「以前からしている」と「今後してみたい」を合わせた参加意向は、東播磨(44.4%)が最も多く、阪神北(40.1%)、中播磨(39.5%)が続いている。一方、神戸(29.3%)、阪神南(29.4%)などは3割弱となっており、「したいとは思わない」は阪神南(26.3%)や神戸(24.2%)、北播磨(23.6%)で多くなっている。

イ 通学路の監視による子どもの見守り活動

参加意向は、北播磨(55.2%)が最も多く、中播磨(52.9%)、東播磨(52.6%)が続いている。一方、阪神南(39.9%)、神戸(41.1%)などは4割程度となっており、「したいとは思わない」は阪神南(16.5%)や阪神北(13.5%)などで多くなっている。

ウ 防犯セミナー・講習会への参加

参加意向は、阪神北(50.0%)が最も多く、西播磨(47.3%)、東播磨(47.1%)が続いている。一方、阪神南(39.1%)、淡路(40.1%)、但馬(40.6%)などは4割前後となっており、「したいとは思わない」は北播磨(20.1%)や阪神南(19.9%)、東播磨(18.6%)で多くなっている。

エ 地域の犯罪・防犯情報の提供

参加意向は、北播磨(56.6%)、東播磨(54.9%)、阪神北(52.5%)、神戸(52.3%)が5割を超えている。「したいとは思わない」は阪神南(10.5%)で多くなっている。

オ 声かけ（あいさつ）運動

参加意向は、丹波(85.9%)が最も多く、東播磨(82.3%)、北播磨(80.9%)が続き、8割を超えている、一方、阪神南(69.5%)は7割に及ばず、「したいとは思わない」(10.9%)が10地域の中では最も多くなっている。

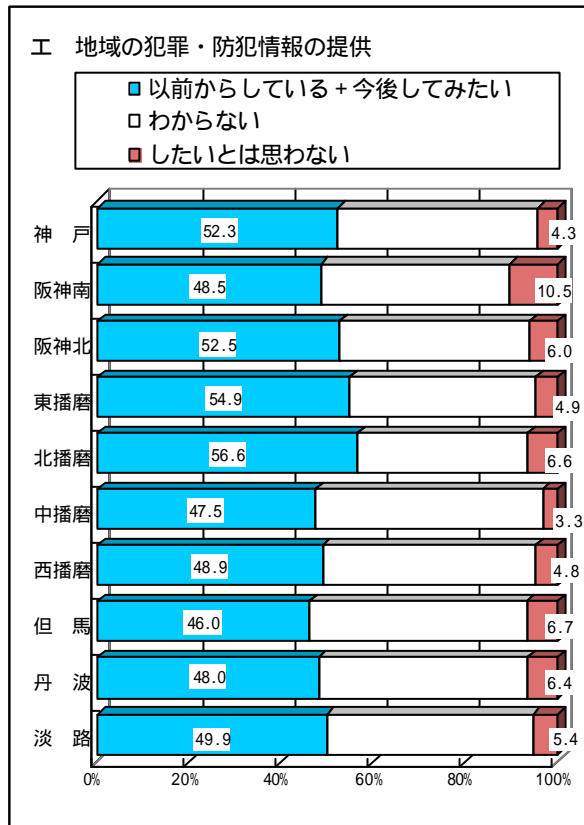
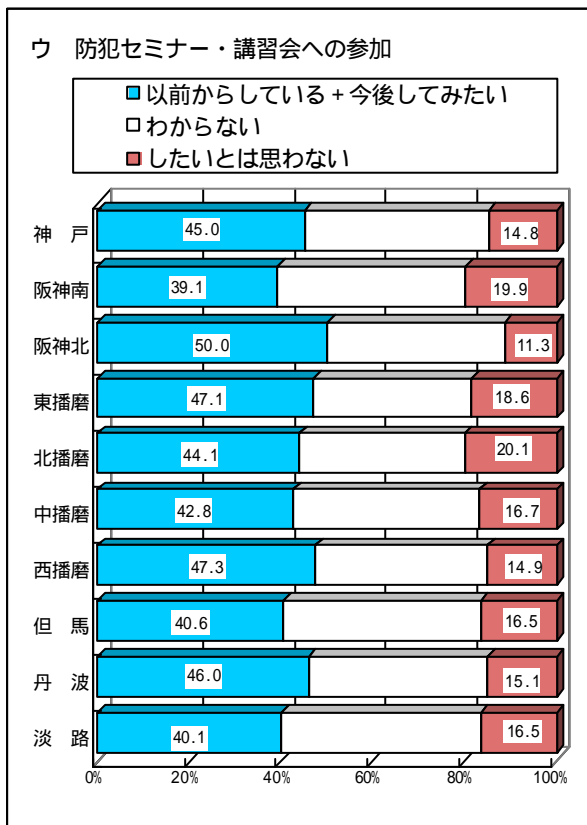
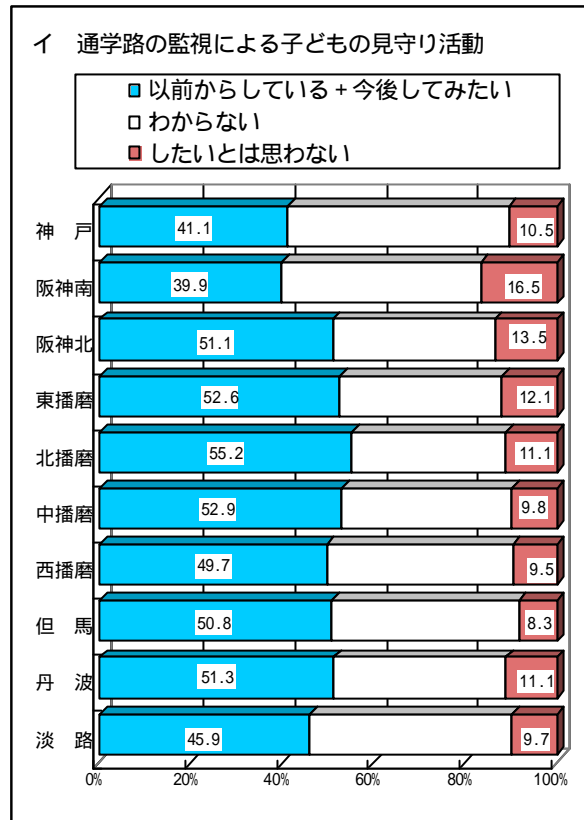
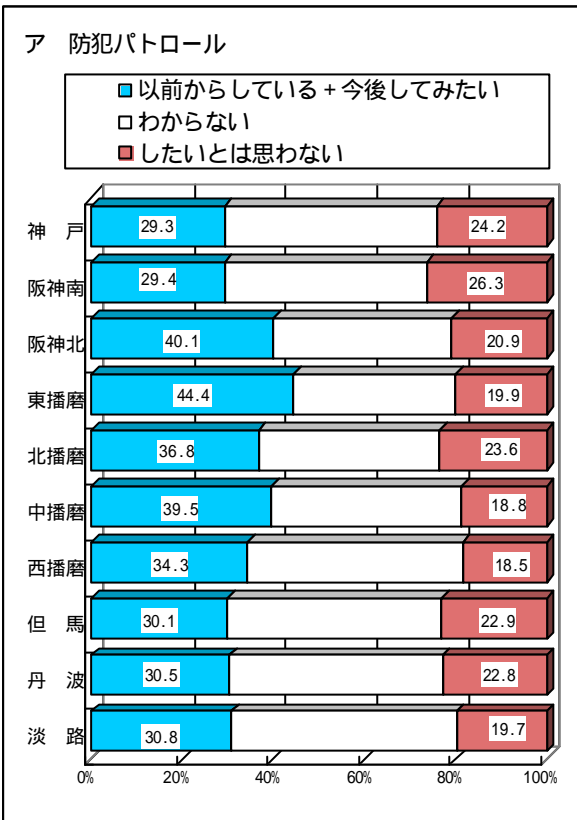
カ 門灯の一晩中の点灯

門灯の一晩中の点灯の参加意向は地域によって多少異なり、阪神北(62.7%)や神戸(62.5%)、淡路(61.3%)で多くなっている。一方、但馬(45.1%)は5割を下回り、「したいとは思わない」は但馬(20.6%)では2割を超えている。

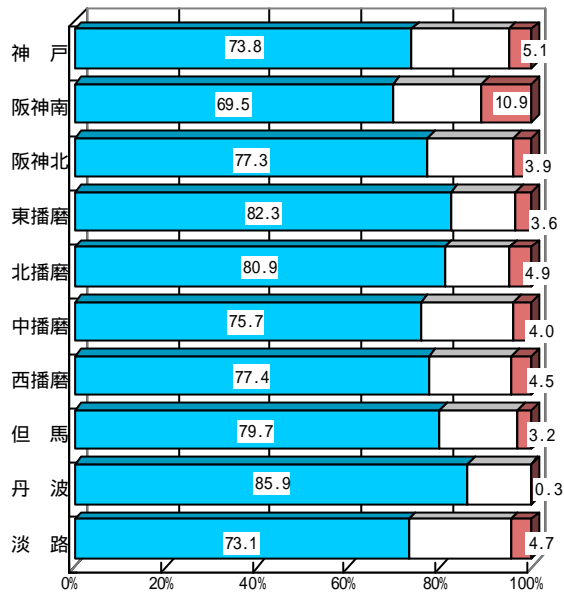
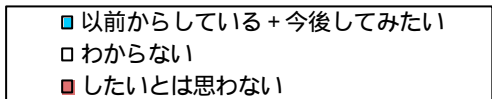
キ 地域周辺の安全マップの作成

参加意向は、東播磨(46.7%)、北播磨(44.5%)は4割半ばとなっているが、但馬(33.6%)、淡路(33.7%)は3割強にとどまっている。

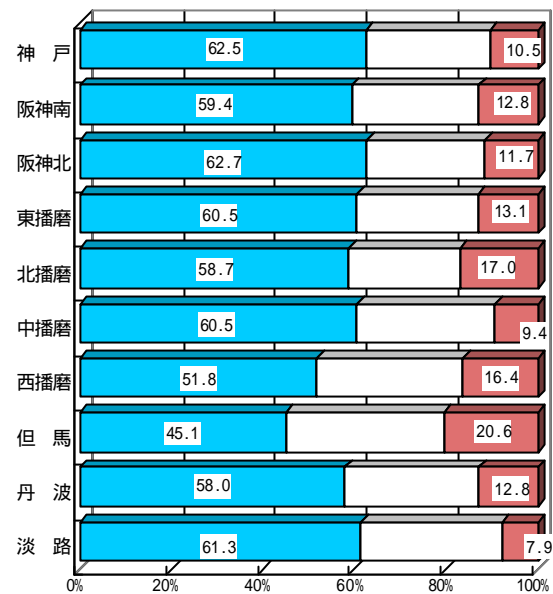
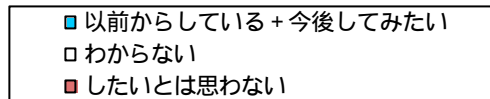
地域の安全・安心確保のための取り組み（地域別）



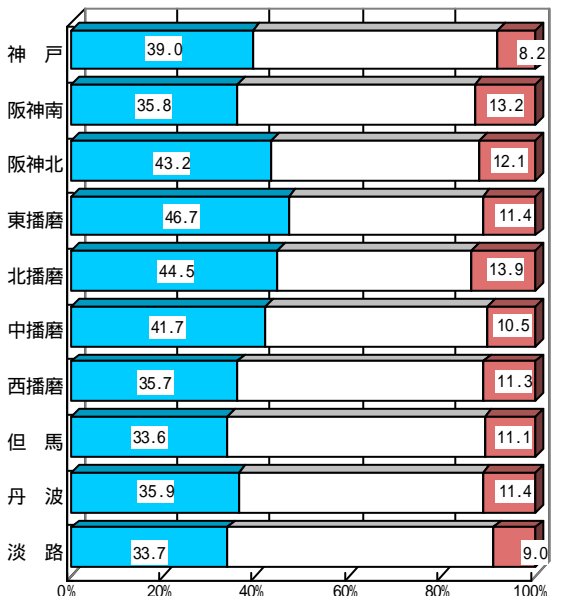
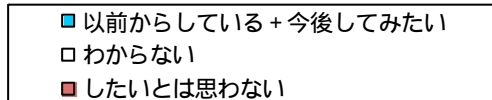
オ 声かけ（あいさつ）運動



カ 門灯の一晩中の点灯



キ 地域周辺の安全マップの作成



性別、性・年代別

声かけ運動の参加意向は女性の50歳代などで8割を超える

参加意向(「以前からしている」+「今後してみたい」)を性別、性・年代別にみると、以下のようになっている。

ア 防犯パトロール(地域内の巡回)

「以前からしている」と「今後してみたい」を合わせた参加意向は、女性(29.5%)より男性(40.2%)で多く、男性の40歳代(41.4%)、50歳代(48.8%)、60歳代(51.8%)に多く、60歳代では5割を超えている。女性の中では40歳代(35.6%)と50歳代(36.8%)が多い。一方、「したいとは思わない」は男性の20歳代(38.2%)や30歳代(39.2%)、女性の20歳代(45.6%)など年代の若い層に多く、「したいとは思わない」が「以前からしている」と「今後してみたい」を合わせた参加意向の比率を上回っている。

イ 通学路の監視による子どもの見守り活動

参加意向は、女性(45.2%)より男性(48.5%)が多い。男性では30歳代(53.5%)や40歳代(59.0%)、60歳代(52.2%)で多く、女性では30歳代(62.7%)と40歳代(63.4%)で際立って多い。一方、「したいとは思わない」は男性の20歳代(20.4%)や30歳代(20.6%)、女性の20歳代(26.7%)の若い層が多い。

ウ 防犯セミナー・講習会への参加

参加意向は、女性(43.3%)より男性(46.0%)が多い。男性では40歳代(50.1%)、50歳代(50.2%)、60歳代(49.5%)で多く、女性の中では40歳代(53.6%)で多く、5割を超えている。一方、「したいとは思わない」は男性の20歳代(25.5%)や女性の20歳代(30.7%)で多く、女性の20歳代では参加意向の比率を上回っている。

エ 地域の犯罪・防犯情報の提供

参加意向は、男性の40歳代(57.2%)や50歳代(58.3%)で多く、女性では30歳代(63.1%)と40歳代(66.2%)が多い。

オ 声かけ(あいさつ)運動

参加意向は、男性(74.1%)より女性(77.3%)が多い。男性では50歳代(81.5%)、女性では40歳代(84.1%)、50歳代(84.3%)、60歳代(80.6%)で多く、8割を超えている。

カ 門灯の一晩中の点灯

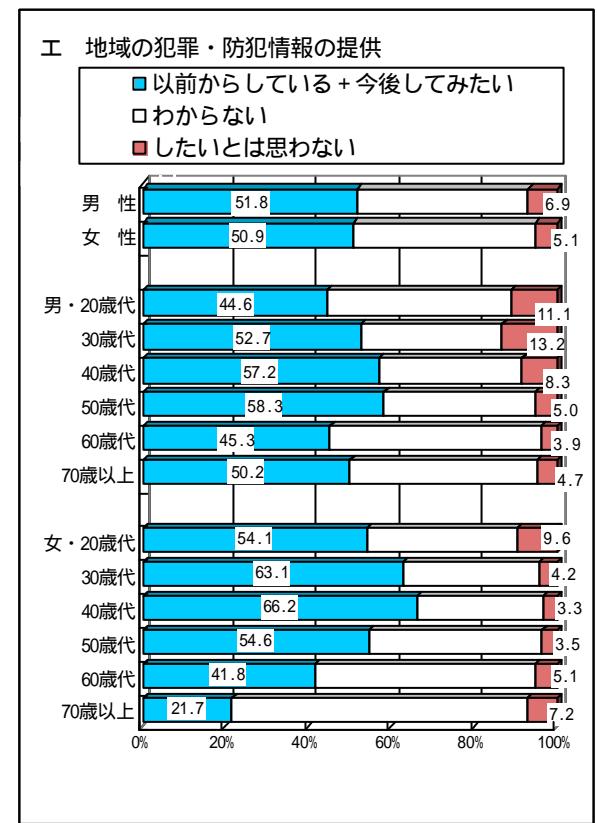
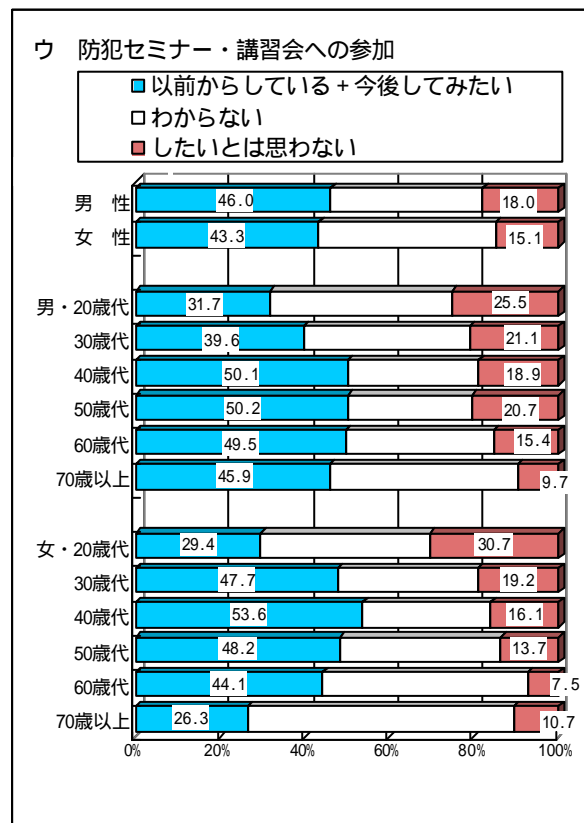
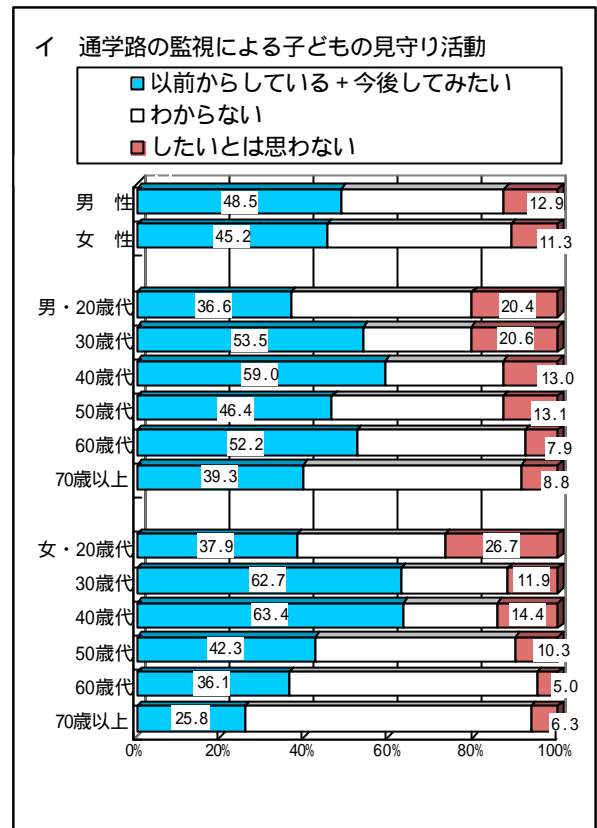
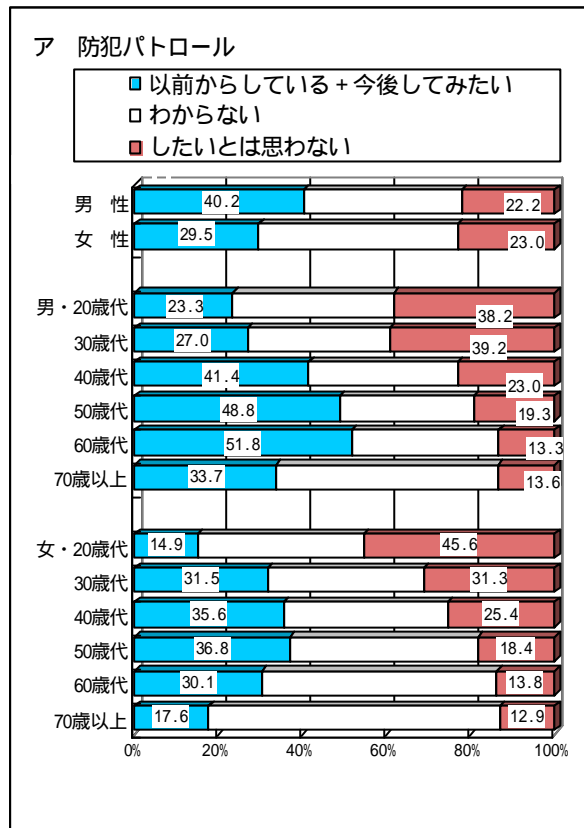
参加意向は、男性(56.3%)より女性(62.9%)で多く、女性の50歳代(70.9%)が多い。一方、「したいとは思わない」は男性の30歳代(25.7%)や女性では40歳代(16.7%)に多い。

キ 地域周辺の安全マップの作成

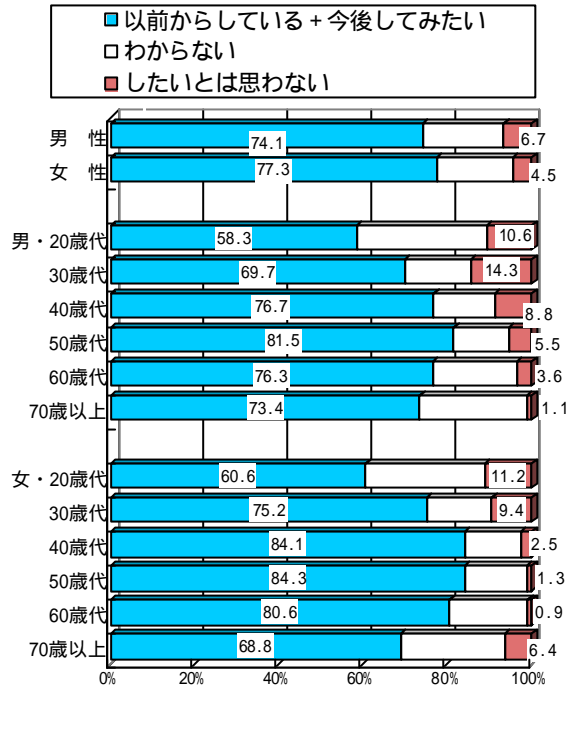
参加意向は、女性の30歳代(47.2%)や40歳代(49.8%)が多い。一方、「したいとは思わない」

は男性の20歳代(26.0%)や女性の20歳代(18.7%)など若い層で多い。

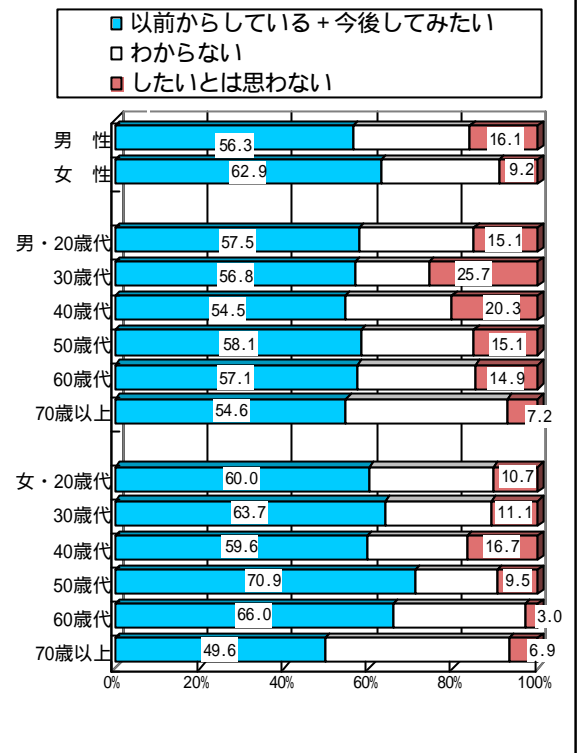
地域の安全・安心確保のための取り組み (性別、性・年代別)



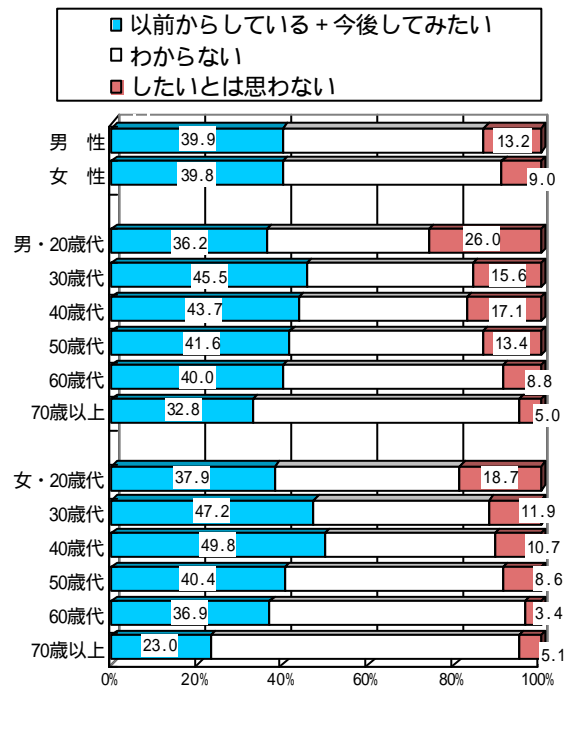
オ 声かけ（あいさつ）運動



カ 門灯の一晩中の点灯



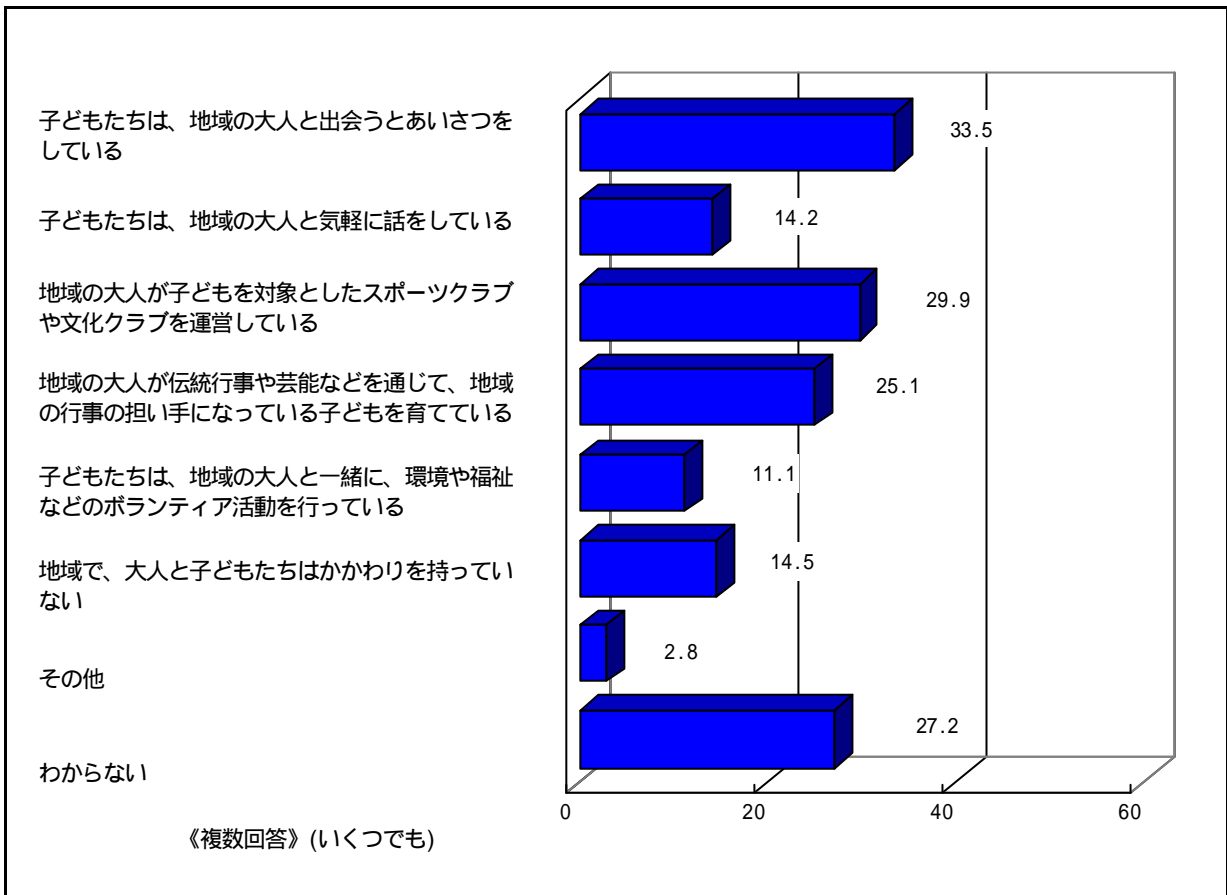
キ 地域周辺の安全マップの作成



(3) 子育て支援と地域に対する意識

地域での子どもとのかかわりは、「子どもたちは地域の大人とあいさつをしている」が33.5%。子育てを取り巻く環境の問題点の1位は「子育てにお金がかかる」(48.1%)。子育て支援に必要な行政の取り組みでは「遊び場など子どもが集える場の整備」(39.7%)が1位。子育て支援のため地域で取組むべきことでは「近隣の親子への積極的な声かけ」(70.8%)が1位。

<1> 子どもと大人のかかわり



「子どもたちは地域の大人とあいさつをしている」 33.5%

地域での子どもと大人のかかわりを聞くと、「子どもたちは、地域の大人と出会うとあいさつをしている」は33.5%となっているが、「子どもたちは、地域の大人と気軽に話をしている」は14.2%となっている。

「地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している」は29.9%、「地域の大人が伝統行事や芸能などを通じて、地域の行事の担い手になっている子どもを育てている」は25.1%となっているが、「子どもたちは、地域の大人と一緒に、環境や福祉などのボランティア活動を行っている」は11.1%となっている。なお、14.5%は「地域で、大人と子どもたちはかかわりを持っていない」としている。

地域別

「子どもたちは地域の大人とあいさつをしている」は丹波で7割を超える

地域別にみると、「子どもたちは、地域の大人と出会うとあいさつをしている」は丹波、但馬、北播磨で多く、特に丹波では7割を超えている。「地域の大人が伝統行事や芸能などを通じて、地域の行事の担い手になっている子どもを育てている」は西播磨、中播磨、丹波、但馬で多く、「子どもたちは、地域の大人と一緒に、環境や福祉などのボランティア活動を行っている」も但馬、丹波、西播磨で多い。

子どもと大人のかかわり〔地域別〕

	子どもたちは地域の大人と出会うとあいさつをしている	子どもたちは、地域の大人と気軽に話をしている	地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している	伝統行事や芸能などを通じて、子どもを育てている	一緒に環境や福祉などのボランティア活動を行っている	地域で、大人と子どもたちはかかわりを持っていない	その他	わからない
全 県	33.5	14.2	29.9	25.1	11.1	14.5	2.8	27.2
〔地域別〕								
神 戸	26.6	9.8	25.4	15.2	9.4	19.1	1.6	33.2
阪神南	22.6	11.3	23.7	15.0	6.8	13.9	4.5	37.6
阪神北	30.5	13.5	33.7	20.6	7.4	16.3	4.3	26.2
東播磨	30.1	16.0	35.9	27.1	12.4	14.7	2.6	21.2
北播磨	58.3	23.6	36.5	33.3	15.6	12.5	1.4	16.0
中播磨	38.4	15.9	35.1	45.3	13.4	8.0	1.4	23.2
西播磨	54.5	16.7	25.6	45.5	20.2	10.7	2.7	16.7
但 馬	61.0	27.6	34.3	41.6	21.3	8.6	1.3	14.3
丹 波	72.5	26.2	37.2	44.6	20.8	8.1	3.7	9.1
淡 路	36.6	17.9	36.6	36.9	12.9	11.8	5.4	18.3

性別、性・年代別

「子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している」は男性40歳代で多い

「地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している」は、男性の40歳代で多い。

子どもと大人のかかわり〔性別〕〔性・年代別〕

	子どもたちは地域の大人と出会うとあいさつをしている	子どもたちは、地域の大人と気軽に話をしている	地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している	伝統行事や芸能などを通じて、子どもを育てている	一緒に環境や福祉などのボランティア活動を行っている	地域で、大人と子どもたちはかかわりを持っていない	その他	わからない
全 県	33.5	14.2	29.9	25.1	11.1	14.5	2.8	27.2
〔性別〕								
男 性	31.0	13.1	29.6	26.2	10.4	18.6	2.3	26.6
女 性	35.3	15.2	30.4	24.3	11.5	11.1	3.2	27.8
〔性・年代別〕								
男・20歳代	16.9	8.1	27.4	25.3	9.7	8.0	3.2	40.2
30歳代	24.2	11.7	25.5	24.1	9.2	19.5	2.7	29.9
40歳代	35.1	15.3	46.6	30.8	12.5	11.5	1.6	18.9
50歳代	27.8	8.0	26.5	26.5	7.8	25.0	0.3	26.6
60歳代	37.3	17.6	23.3	24.5	10.6	22.1	3.2	25.5
70歳以上	36.7	16.1	30.0	26.3	13.4	18.9	3.4	24.3
女・20歳代	26.7	14.0	26.7	20.4	18.6	11.6	3.3	30.9
30歳代	36.0	19.8	36.3	21.1	6.8	6.5	2.6	28.5
40歳代	39.6	16.2	39.2	28.0	9.2	11.2	2.2	26.1
50歳代	34.8	10.9	31.4	22.9	10.6	13.7	1.9	27.2
60歳代	32.3	13.8	26.8	25.6	10.8	13.1	4.3	27.6
70歳以上	42.7	19.0	19.0	28.3	17.5	9.4	5.4	27.3

家族構成別

「子どもたちは地域の大人とあいさつをしている」は小学生のいる世帯で多い

家族構成別にみると、「子どもたちは、地域の大人と出会うとあいさつをしている」「地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している」は小学生のいる世帯で多く、「子どもたちは、地域の大人と気軽に話をしている」は、幼児や小学生がいる世帯で比較的多くあげられている。

子どもと大人のかかわり〔家族構成別〕

	子どもたちは地域の大人と出会うとあいさつをしている	子どもたちは、地域の大人と気軽に話をしている	地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している	伝統行事や芸能などを通じて、子どもを育てている	一緒に環境や福祉などのボランティア活動を行っている	地域で、大人と子どもたちはかかわりを持っていない	その他	わからない
全 県	33.5	14.2	29.9	25.1	11.1	14.5	2.8	27.2
〔家族構成別〕								
乳 児あり	34.4	18.3	19.7	27.6	8.1	10.1	0.0	37.1
幼 児あり	45.8	24.8	40.6	36.5	12.4	9.6	2.3	16.7
小学生あり	48.1	23.6	51.9	34.1	13.2	11.1	1.6	11.6
中学生あり	43.7	14.9	41.0	37.6	13.3	14.9	0.8	13.8
高校生あり	39.5	11.6	39.5	29.6	16.3	16.6	1.5	16.5
65歳以上あり	37.2	16.0	27.9	29.2	14.1	14.3	3.0	25.4
あてはまる人なし	25.0	9.6	25.9	17.9	8.0	16.4	3.1	35.4

地域や地域の人たちとの関係に関する意識の得点別

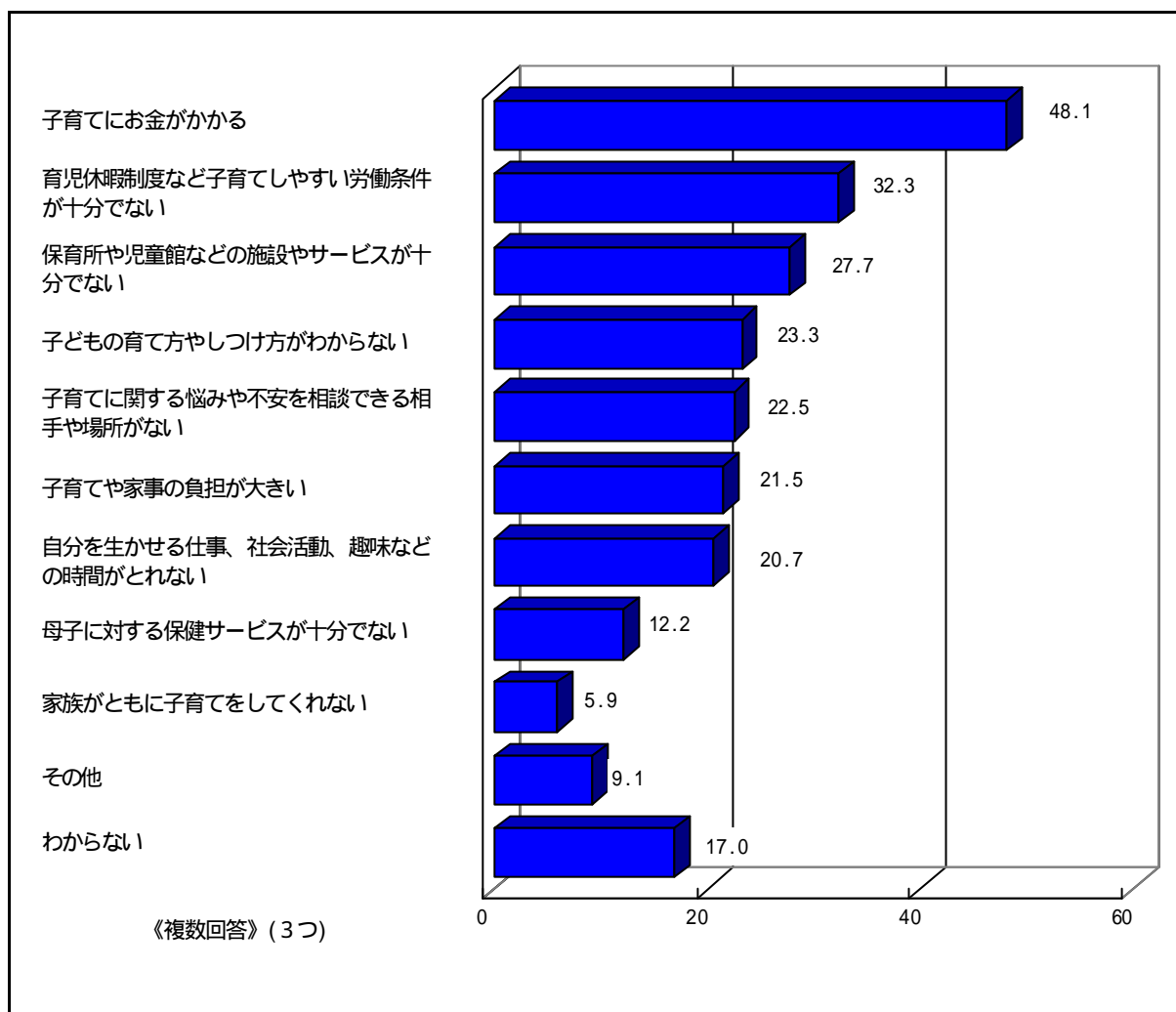
「子どもたちは地域の大人とあいさつをしている」は地域意識の高得点層では半数を超えている

「地域や地域人たちとの関係」に関する意識の得点別にみると、「子どもたちは、地域の大人と出会うとあいさつをしている」「子どもたちは、地域の大人と気軽に話をしている」「地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している」「伝統行事や芸能などを通じて、子どもを育てている」「一緒に環境や福祉などのボランティア活動を行っている」の5項目は、いずれも、地域に対する意識の得点の高い層ほど多くあげ、特に「子どもたちは、地域の大人と出会うとあいさつをしている」は「高得点層」では半数を超えている。一方、「地域で、大人と子どもたちはかかわりを持っていない」は、得点の低い層に多くあげられている。

子どもと大人のかかわり〔地域や地域の人たちとの関係に関する意識の得点別〕

	子どもたちは地域の大人と出会うとあいさつをしている	子どもたちは、地域の大人と気軽に話をしている	地域の大人が子どもを対象としたスポーツクラブや文化クラブを運営している	伝統行事や芸能などを通じて、子どもを育てている	一緒に環境や福祉などのボランティア活動を行っている	地域で、大人と子どもたちはかかわりを持っていない	その他	わからない
全 県	33.5	14.2	29.9	25.1	11.1	14.5	2.8	27.2
〔地域意識得点別〕								
低得点	11.6	1.2	15.1	11.3	3.3	18.7	1.4	50.1
やや低得点	20.5	6.4	18.7	16.8	5.2	17.9	4.0	40.3
やや高得点	34.6	13.8	31.9	25.3	11.0	13.8	2.3	25.6
高得点	53.7	29.0	43.5	39.3	21.4	10.9	2.5	8.4

<2> 子育てを取り巻く環境の問題点



トップは「子育てにお金がかかる」で48.1%

今の子育てを取り巻く環境において何が特に問題かを聞くと、「子育てにお金がかかる」(48.1%)がトップにあげられ、5割近くに及んでいる。2位は「育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でない」(32.3%)、3位に「保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない」(27.7%)があげられ、以下「子どもの育て方やしつけ方がわからない」(23.3%)、「子育てに関する悩みや不安を相談できる相手や場所がない」(22.5%)、「子育てや家事の負担が大きい」(21.5%)、「自分を生かせる仕事、社会活動、趣味などの時間がとれない」(20.7%)が続いている。

地域別 「保育所などの施設やサービスが十分でない」は阪神北、東播磨、阪神南が多い

地域別にみると、「保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない」は阪神北、東播磨、阪神南で多く、「子どもの育て方やしつけ方がわからない」は丹波、中播磨などで多い。「子育てに関する悩みや不安を相談できる相手や場所がない」は東播磨、阪神南が多い。

子育てを取り巻く環境の問題点〔地域別〕

	子育てにお金がかかる	育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でない	保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない	子どもの育て方やしつけ方がわからない	子育てに関する悩みや不安を相談できる相手や場所がない	子育てや家事の負担が大きい	自分を生かせる仕事、社会活動、趣味などの時間がとれない	母子に対する保健サービスが十分でない	家族がともに子育てをしてくれない	その他	わからない
全 県	48.1	32.3	27.7	23.3	22.5	21.5	20.7	12.2	5.9	9.1	17.0
〔地域別〕											
神 戸	46.9	30.5	27.3	19.1	17.2	21.1	20.7	14.1	6.3	9.0	18.8
阪神南	51.5	33.1	30.8	24.1	26.3	19.2	16.2	11.3	6.4	10.9	16.9
阪神北	48.6	31.2	32.3	25.2	22.0	21.6	22.3	13.5	5.0	10.6	14.5
東播磨	48.0	35.6	31.7	24.2	27.1	20.9	21.2	14.4	5.2	6.5	15.7
北播磨	47.6	35.4	22.9	23.6	17.7	23.6	20.8	9.7	5.6	8.7	17.7
中播磨	46.4	31.2	26.4	26.8	25.4	23.6	23.9	10.1	5.4	10.1	14.1
西播磨	49.4	28.3	18.5	25.9	25.0	22.0	22.3	6.5	7.4	7.7	18.5
但 馬	42.9	37.8	18.7	24.1	24.1	27.0	23.5	10.5	5.4	7.0	20.0
丹 波	45.3	31.9	17.4	28.2	22.1	23.5	21.8	8.1	6.7	8.1	18.8
淡 路	48.4	32.6	23.3	25.4	22.9	22.6	19.7	12.5	5.4	6.8	17.2

性別、性・年代別 「子育てにお金がかかる」は男女30歳代、40歳代が多い

性・年代別にみると、「子育てにお金がかかる」は男女とも30歳代、40歳代で多くあげられ、「育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でない」「子育てや家事の負担が大きい」は男女とも20歳代、「保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない」「母子に対する保健サービスが十分でない」は男女とも30歳代に多くあげられている。

子育てを取り巻く環境の問題点〔性別〕〔性・年代別〕

	子育てにお金がかかる	育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でない	保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない	子どもの育て方やしつけ方がわからない	子育てに関する悩みや不安を相談できる相手や場所がない	子育てや家事の負担が大きい	自分を生かせる仕事、社会活動、趣味などの時間がとれない	母子に対する保健サービスが十分でない	家族がともに子育てをしてくれない	その他	わからない
全 県	48.1	32.3	27.7	23.3	22.5	21.5	20.7	12.2	5.9	9.1	17.0
〔性別〕											
男 性	49.1	34.3	27.9	26.0	23.5	22.2	22.0	12.7	5.4	10.4	13.4
女 性	47.7	30.9	27.9	21.3	21.7	21.1	19.5	11.7	6.4	8.1	19.6
〔性・年代別〕											
男・20歳代	52.0	43.1	26.1	29.1	25.6	32.3	22.6	10.8	8.1	5.2	10.6
30歳代	61.1	37.3	37.4	15.0	15.4	24.9	27.0	23.2	2.0	13.3	7.6
40歳代	64.9	37.7	31.1	24.1	21.5	25.3	34.7	10.8	3.7	12.8	5.4
50歳代	53.6	38.0	27.2	29.1	26.7	18.1	25.0	11.0	4.7	8.7	11.1
60歳代	38.6	32.5	29.6	32.2	27.8	20.1	16.3	14.6	6.8	11.6	11.7
70歳以上	29.3	20.6	16.9	22.0	20.5	19.3	9.2	8.0	6.8	9.3	33.3
女・20歳代	52.5	49.5	30.7	22.2	19.8	34.3	16.5	14.4	3.5	5.8	14.2
30歳代	60.8	41.3	39.1	17.7	14.8	25.8	27.8	20.0	4.7	11.7	7.3
40歳代	65.4	35.0	34.1	21.8	20.9	28.1	21.7	12.8	10.5	9.0	6.1
50歳代	46.6	33.5	24.8	27.7	32.6	19.2	18.6	8.6	8.6	5.7	14.9
60歳代	37.6	21.1	25.9	17.0	19.4	14.0	18.8	9.8	6.2	8.4	27.6
70歳以上	23.6	8.1	11.3	20.9	19.0	10.9	10.6	4.9	2.7	8.1	51.5

家族構成別

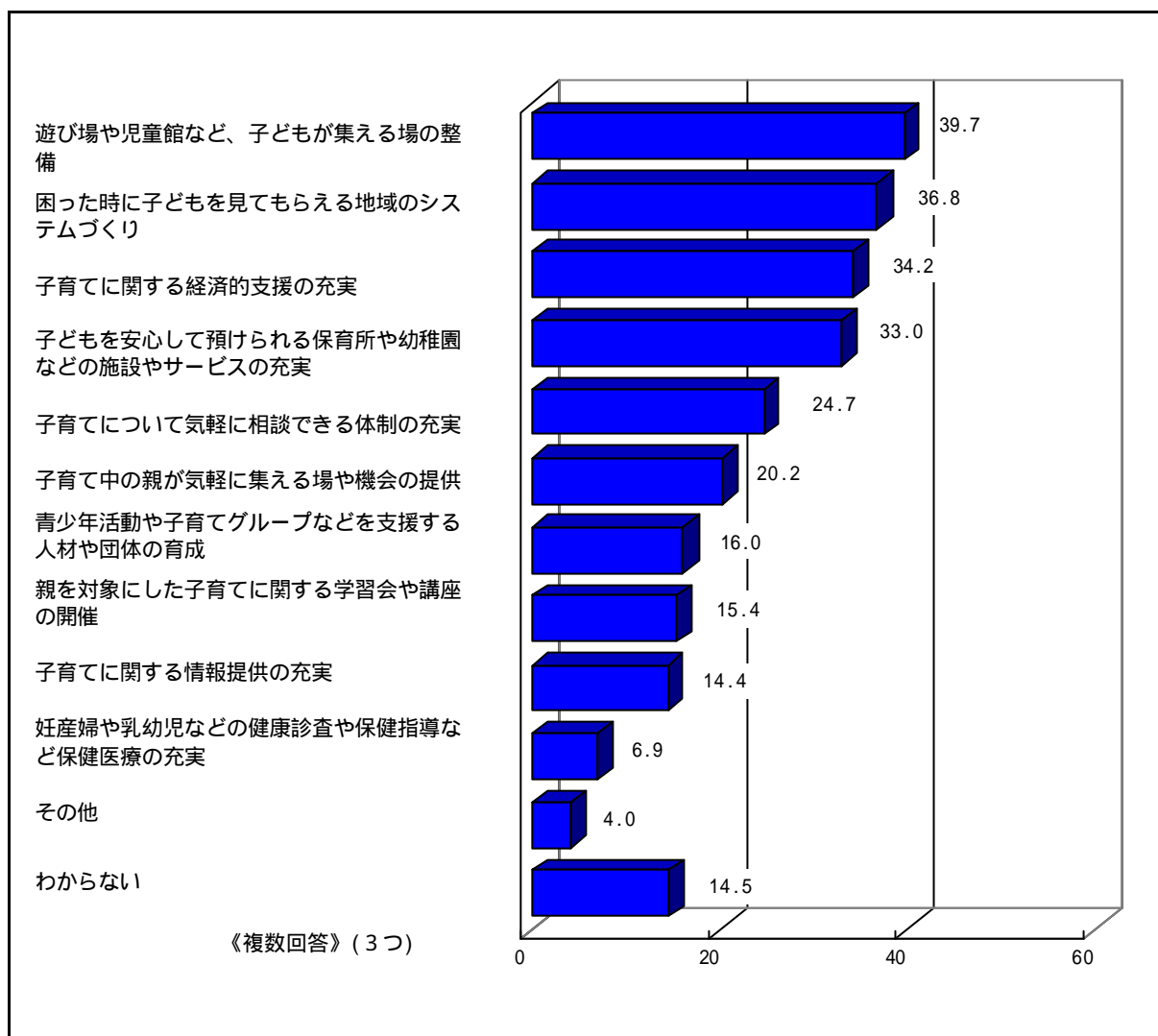
「子育てしやすい労働条件が十分でない」は幼児がいる世帯が多い

家族構成別にみると、「育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でない」「子育てや家事の負担が大きい」などは幼児がいる世帯で多くなっている。また、「子育てにお金がかかる」「保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない」は特に乳児がいる世帯で多くなっている。

子育てを取り巻く環境の問題点（家族構成別）

	子育てにお金がかかる	育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でない	保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない	子どもの育て方やしつけ方がわからない	子育てに関する悩みや不安を相談できる相手や場所がない	子育てや家事の負担が大きい	自分を生かせる仕事、社会活動、趣味などの時間がとれない	母子に対する保健サービスが十分でない	家族がともに子育てをしてくれない	その他	わからない
全 県	48.1	32.3	27.7	23.3	22.5	21.5	20.7	12.2	5.9	9.1	17.0
〔家族構成別〕											
乳 児あり	77.0	36.0	61.0	9.2	12.9	27.4	23.5	28.2	4.0	9.0	1.1
幼 児あり	65.5	41.1	39.5	10.1	10.3	35.0	32.7	29.0	3.6	12.9	1.9
小学生あり	69.4	33.5	32.0	13.1	13.7	26.9	31.5	19.0	6.2	13.2	5.2
中学生あり	67.2	27.6	26.2	19.5	19.0	23.1	28.7	11.0	8.2	16.7	4.8
高校生あり	60.6	28.1	24.5	26.4	26.4	27.9	27.8	8.6	4.6	11.3	9.4
65歳以上あり	38.5	23.3	21.4	25.1	23.6	17.6	17.9	10.5	6.2	8.1	25.4
あてはまる人なし	46.2	40.2	29.3	27.1	26.4	21.8	18.9	10.4	5.6	7.3	14.6

<3> 子育て支援のため地域に必要な行政の取り組み



「遊び場など子どもが集える場の整備」「困った時に子どもを見てもらえるシステムづくり」「子育てに関する経済的支援の充実」「子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実」が上位

子育て支援のため地域に必要な行政の取り組みを聞くと、「遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備」(39.7%)、「困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり」(36.8%)、「子育てに関する経済的支援の充実」(34.2%)、「子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実」(33.0%)が上位にあげられ、続いて、「子育てについて気軽に相談できる体制の充実」(24.7%)、「子育て中の親が気軽に集える場や機会の提供」(20.2%)、「青少年活動や子育てグループなどを支援する人材や団体の育成」(16.0%)、「親を対象にした子育てに関する学習会や講座の開催」(15.4%)、「子育てに関する情報提供の充実」(14.4%)、「妊産婦や乳幼児などの健康診査や保健指導など保健医療の充実」(6.9%)の順であげられている。

地域別

「遊び場など子どもが集える場の整備」は阪神北、東播磨、中播磨が多い

地域別にみると、「遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備」は東播磨、中播磨、阪神北で多く、「困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり」は中播磨、北播磨が多い。「子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実」は阪神南、阪神北、「子育て中の親が気軽に集える場や機会の提供」も阪神北が多い。「親を対象にした子育てに関する学習会や講座の開催」は丹波、淡路、但馬が多い。

子育て支援で居住地域に必要な行政の取り組み〔地域別〕

	遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備	困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり	子育てに関する経済的支援の充実	子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実	子育てについて気軽に相談できる体制の充実	子育て中の親が気軽に集える場や機会の提供	青少年活動や子育てグループなどを支援する人材や団体の育成	親を対象にした子育てに関する学習会や講座の開催	子育てに関する情報提供の充実	妊産婦や乳幼児などの健康診査や保健指導など保健医療の充実	その他	わからない
全 県	39.7	36.8	34.2	33.0	24.7	20.2	16.0	15.4	14.4	6.9	4.0	14.5
〔地域別〕												
神 戸	34.8	34.8	34.4	32.8	24.6	17.6	16.0	16.4	14.8	10.9	5.5	14.1
阪神南	39.1	35.7	37.2	38.7	26.3	19.2	12.4	9.8	12.4	6.8	4.9	15.8
阪神北	44.7	36.2	33.3	38.3	22.7	27.7	18.8	15.6	12.4	4.3	2.5	11.7
東播磨	45.8	35.3	33.0	33.3	26.1	20.9	18.3	16.3	14.4	5.6	2.6	13.7
北播磨	33.7	42.4	33.7	30.6	26.4	21.5	16.0	16.0	16.7	5.9	3.5	13.9
中播磨	44.9	44.2	34.8	30.1	21.7	19.9	15.9	14.9	14.5	4.0	3.3	13.8
西播磨	37.2	34.5	30.1	24.4	24.4	23.2	13.4	17.6	17.3	5.7	3.0	19.0
但 馬	42.2	37.5	28.6	17.8	23.8	15.2	16.2	20.3	18.4	4.4	3.2	19.4
丹 波	37.6	39.3	29.5	25.5	26.5	18.1	17.8	22.5	16.8	6.0	3.4	14.8
淡 路	38.0	37.3	38.0	28.3	25.1	15.8	18.6	20.8	16.1	5.7	2.9	15.4

性別・性・年代別

「遊び場など子どもが集える場の整備」などは30～40歳代に多い

性・年代別にみると、「遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備」は女性の30歳代を中心に20歳代や40歳代、男性では40歳代に多い。「困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり」は、男女とも40歳代、「子育てに関する経済的支援の充実」「子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実」は男女とも30歳代に多くあげられている。

子育て支援で居住地域に必要な行政の取り組み〔性別〕〔性・年代別〕

	遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備	困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり	子育てに関する経済的支援の充実	子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実	子育てについて気軽に相談できる体制の充実	子育て中の親が気軽に集える場や機会の提供	青少年活動や子育てグループなどを支援する人材や団体の育成	親を対象にした子育てに関する学習会や講座の開催	子育てに関する情報提供の充実	妊産婦や乳幼児などの健康診査や保健指導など保健医療の充実	その他	わからない
全 県	39.7	36.8	34.2	33.0	24.7	20.2	16.0	15.4	14.4	6.9	4.0	14.5
〔性別〕												
男 性	37.9	32.5	37.7	33.1	25.0	20.7	20.3	19.3	14.8	7.5	4.1	12.3
女 性	41.3	40.5	31.2	33.3	24.5	19.9	12.2	12.0	14.0	6.4	3.9	16.2
〔性・年代別〕												
男・20歳代	43.9	29.1	41.7	29.8	25.2	29.5	12.4	13.9	16.0	16.2	0.3	11.6
30歳代	42.0	36.5	55.5	42.0	13.8	13.7	13.2	13.8	12.9	9.9	3.0	9.6
40歳代	47.1	41.0	53.4	33.3	28.2	18.4	23.1	12.0	12.7	5.8	6.1	4.1
50歳代	38.9	35.5	31.6	35.6	28.7	22.8	25.7	20.6	13.3	6.8	4.5	8.8
60歳代	37.4	26.6	32.5	35.9	23.7	21.0	23.8	27.1	18.2	6.2	4.2	10.8
70歳以上	20.6	27.8	20.4	20.7	27.6	19.2	16.5	22.8	15.2	4.4	4.6	29.6
女・20歳代	49.6	37.4	46.8	34.7	23.0	21.1	6.2	5.9	12.3	15.6	4.0	12.2
30歳代	53.5	43.0	50.7	47.2	17.9	16.1	7.7	6.9	14.2	9.0	3.7	8.7
40歳代	49.7	50.4	40.7	36.1	21.6	22.8	17.2	12.6	11.7	2.9	2.5	7.7
50歳代	37.0	43.3	25.6	35.8	30.4	24.0	16.6	13.1	14.8	5.9	4.1	13.0
60歳代	37.0	40.6	17.7	28.1	27.2	17.8	11.2	14.5	13.6	4.2	5.0	21.2
70歳以上	22.2	22.8	12.9	13.6	23.6	17.0	11.4	17.3	17.4	4.2	3.7	37.1

家族構成別

「遊び場など子どもが集える場の整備」は乳児、幼児、小学生のいる世帯に多い

家族構成別にみると、「遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備」「子育てに関する経済的支援の充実」は乳児、幼児、小学生のいる世帯で多くあげられている。「困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり」は幼児や小学生のいる世帯、また高校生のいる世帯で多くあげられている。「子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実」「子育てに関する情報提供の充実」は、乳児、幼児のいる世帯で多くあげられている。

子育て支援で居住地域に必要な行政の取り組み【家族構成別】

	遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備	困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり	子育てに関する経済的支援の充実	子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実	子育てについて気軽に相談できる体制の充実	子育て中の親が気軽に集える場や機会の提供	青少年活動や子育てグループなどを支援する人材や団体の育成	親を対象にした子育てに関する学習会や講座の開催	子育てに関する情報提供の充実	妊産婦や乳幼児などの健康診査や保健指導など保健医療の充実	その他	わからない
全 県	39.7	36.8	34.2	33.0	24.7	20.2	16.0	15.4	14.4	6.9	4.0	14.5
〔家族構成別〕												
乳 児あり	59.7	32.6	66.4	48.0	10.8	17.1	10.1	13.7	22.5	9.8	4.3	1.1
幼 児あり	61.0	43.8	62.2	44.2	12.1	15.5	11.6	7.1	18.8	7.2	6.2	1.9
小学生あり	58.0	49.7	54.2	31.9	16.0	15.9	17.5	8.4	12.6	5.2	5.5	4.7
中学生あり	49.0	38.7	40.6	29.0	23.9	22.3	23.9	15.5	15.2	2.4	4.2	5.0
高校生あり	49.5	42.5	37.5	24.6	28.2	24.4	24.9	14.3	13.2	4.0	3.2	7.3
65歳以上あり	32.5	31.3	25.1	26.9	26.7	20.2	16.9	19.4	15.0	4.8	3.2	21.6
あてはまる人なし	37.2	37.0	32.3	37.0	28.1	21.5	15.1	16.1	13.8	10.1	4.0	12.4

子育て環境の問題点別

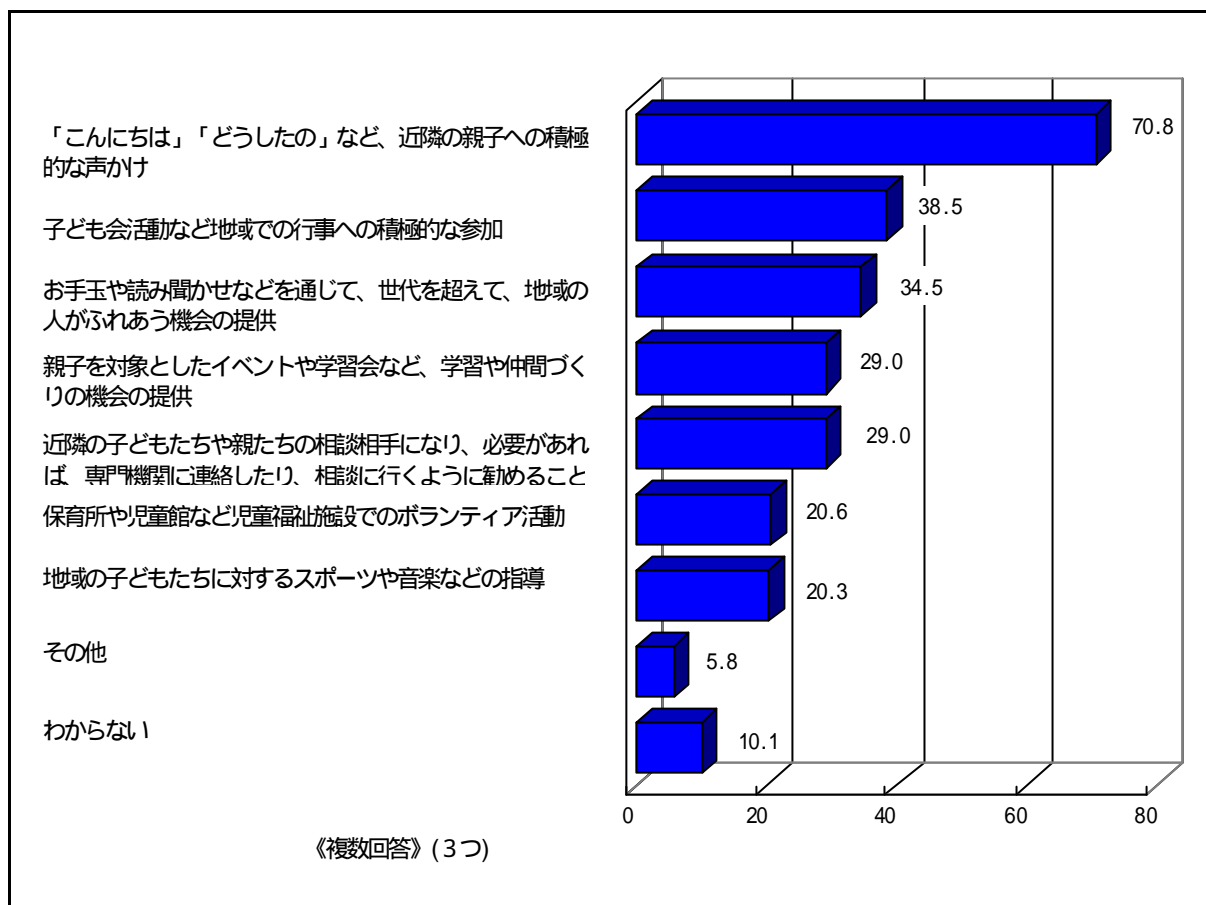
「子育てに関する経済的支援の充実」は、母子に対する保健サービスが十分でない、子育てにお金がかかるをあげた層では1位

子育て環境の問題点別(Q7)にみると、「遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備」は、子育て環境の問題点として保育所や児童館などの施設やサービスが十分でないをあげた層で多くあげられ、生かせる仕事、社会活動、趣味などの時間がとれないをあげた層でも半数がこれをあげている。「困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり」は、育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でないをあげた層では1位にあげている。「子育てに関する経済的支援の充実」は、母子に対する保健サービスが十分でないや子育てにお金がかかるをあげた層で1位にあげられている。その他、「子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実」は、保育所や児童館などの施設やサービスが十分でないをあげた層、「子育てについて気軽に相談できる体制の充実」は、子育ての悩みや不安を相談できる相手や場所がないをあげた層で1位にあげられている。

子育て支援で居住地域に必要な行政の取り組み【Q7.子育て環境の問題点別】

	遊び場や児童館など、子どもが集える場の整備	困った時に子どもを見てもらえる地域のシステムづくり	子育てに関する経済的支援の充実	子どもを安心して預けられる保育所や幼稚園などの施設やサービスの充実	子育てについて気軽に相談できる体制の充実	子育て中の親が気軽に集える場や機会の提供	青少年活動や子育てグループなどを支援する人材や団体の育成	親を対象にした子育てに関する学習会や講座の開催	子育てに関する情報の提供の充実	妊産婦や乳幼児などの健康や保健指導など医療の充実	その他	わからない
全 県	39.7	36.8	34.2	33.0	24.7	20.2	16.0	15.4	14.4	6.9	4.0	14.5
【Q7.子育て環境の問題点別】												
子育てにお金がかかる	46.8	44.0	52.9	38.0	21.7	21.8	16.6	13.6	14.7	7.0	3.2	4.4
育児休暇制度など子育てしやすい労働条件が十分でない	43.5	46.3	44.0	45.3	27.6	23.6	18.1	13.2	13.0	10.0	2.2	3.7
保育所や児童館などの施設やサービスが十分でない	55.0	43.3	42.2	56.7	21.9	20.4	15.8	10.4	13.8	8.6	2.8	2.2
子どもの育て方やしつけ方がわからない	40.1	35.2	29.6	27.8	39.8	28.3	20.7	28.8	18.3	7.3	3.3	4.8
子育ての悩みや不安を相談できる相手や場所がない	43.4	38.1	24.6	27.6	54.3	32.7	22.7	24.1	19.5	5.0	2.0	2.1
子育てや家事の負担が大きい	47.6	45.4	46.3	40.3	21.8	25.9	14.6	15.3	20.6	5.0	1.2	3.9
生かせる仕事、社会活動、趣味などの時間がとれない	49.9	43.6	40.6	32.9	23.4	23.0	20.3	19.7	19.6	6.4	2.9	4.1
母子に対する保健サービスが十分でない	48.7	41.1	54.5	37.5	27.1	21.9	16.6	14.3	16.7	13.4	1.1	2.5
家族がともに子育てをしてくれない	43.3	37.6	25.2	29.9	41.7	28.6	23.1	29.9	17.9	11.5	2.4	3.3

<4> 子育て支援のため地域で取り組むべきこと



「近隣の親子への積極的な声かけ」が70.8%

子育て支援のため地域で取り組むべきことは、「『こんにちは』『どうしたの』など、近隣の親子への積極的な声かけ」が最も多く70.8%に及んでいる。2位以下は、「子ども会活動など地域での行事への積極的な参加」(38.5%)、「お手玉や読み聞かせなどを通じて、世代を超えて、地域の人がふれあう機会の提供」(34.5%)、「親子を対象としたイベントや学習会など、学習や仲間づくりの機会の提供」(29.0%)、「近隣の子どもたちや親たちの相談相手になり、必要があれば、専門機関に連絡したり、相談に行くように勧めること」(29.0%)と続いている。

地域別

「近隣の親子への積極的な声かけ」はいずれの地域でもトップに

地域別にみると、「近隣の親子への積極的な声かけ」はいずれの地域でも1位にあげており、特に、丹波、北播磨、阪神北が多い。「子ども会活動など地域での行事への積極的な参加」は西播磨、「世代を超えて、地域の人がふれあう機会の提供」も西播磨のほか、丹波、但馬が多い。「親子を対象とした学習や仲間づくりの機会の提供」は阪神北、東播磨が多く、「近隣の子どもたちや親たちの相談相手になり、必要があれば、専門機関に連絡したり、相談に行くように勧めること」は、北播磨、東播磨、中播磨が多い。「保育所や児童館など児童福祉施設でのボランティア活動」は神戸が多い。

子育て支援のため地域で取り組むべきこと〔地域別〕

	「こんにちは」「どうしたの」など、近隣の親子への積極的な声かけ	子ども会活動など地域での行事への積極的な参加	お手玉や読み聞かせなどを通じて、世代を超えて、地域の人とふれあう機会の提供	親子を対象としたイベントや学習会など、学習や仲間づくりの機会の提供	近隣の子どもたちや親たちの相談相手になり、必要があれば、専門機関に連絡したり、相談に行くように勧めること	保育所や児童館など児童福祉施設でのボランティア活動	地域の子どものためにスポーツや音楽などの指導	その他	わからない
全 県	70.8	38.5	34.5	29.0	29.0	20.6	20.3	5.8	10.1
〔地域別〕									
神 戸	69.5	34.4	32.0	26.6	28.5	25.0	21.5	5.9	10.2
阪神南	64.7	36.1	32.0	27.1	28.9	20.7	21.1	9.4	12.8
阪神北	75.5	40.1	37.9	33.7	27.3	19.9	20.2	4.6	7.1
東播磨	71.2	40.5	34.0	33.0	30.7	19.6	23.5	3.6	10.8
北播磨	76.0	43.1	38.2	28.1	33.7	18.1	17.0	5.9	6.3
中播磨	74.3	40.6	33.7	28.3	30.4	20.3	20.7	5.4	8.7
西播磨	74.7	48.2	43.5	28.3	23.8	16.4	15.5	3.3	9.8
但 馬	72.7	42.9	40.0	30.5	28.6	12.7	14.6	2.9	11.7
丹 波	77.5	43.0	42.6	26.8	29.5	11.4	11.4	5.4	9.4
淡 路	63.4	36.2	29.7	30.8	28.7	16.5	18.3	7.2	15.1

性別・性・年代別

「近隣の親子への積極的な声かけ」は男女とも高年代層に多い

性・年代別にみると、「近隣の親子への積極的な声かけ」は男女とも年代の高い層で多く、「子ども会活動など地域での行事への積極的な参加」は男性の50歳代や60歳代、女性の50歳代や30歳代、「世代を超えて、地域の人がふれあう機会の提供」は男性の30歳代や40歳代、女性の40歳代が多い。また、「親子を対象とした学習や仲間づくりの機会の提供」は男性の60歳代と20歳代で多く、女性では年代の若い層が多い。「近隣の子どもたちや親たちの相談相手になり、必要があれば、専門機関に連絡したり、相談に行くように勧めること」は男性の20歳代、女性の40歳代、50歳代が多い。また、「保育所や児童館など児童福祉施設でのボランティア活動」や「地域の子どものたちに対するスポーツや音楽などの指導」は男女とも年代の若い層が多い。

子育て支援のため地域で取り組むべきこと〔性別〕〔性・年代別〕

	「こんにちは」「どうしたの」など、近隣の親子への積極的な声かけ	子ども会活動など地域での行事への積極的な参加	お手玉や読み聞かせなどを通じて、世代を超えて、地域の人とふれあう機会の提供	親子を対象としたイベントや学習会など、学習や仲間づくりの機会の提供	近隣の子どもたちや親たちの相談相手になり、必要があれば、専門機関に連絡したり、相談に行くように勧めること	保育所や児童館など児童福祉施設でのボランティア活動	地域の子どものたちに対するスポーツや音楽などの指導	その他	わからない
全 県	70.8	38.5	34.5	29.0	29.0	20.6	20.3	5.8	10.1
〔性別〕									
男 性	72.0	43.1	30.2	31.9	30.0	17.9	24.3	6.2	9.3
女 性	70.0	35.0	38.0	26.8	28.3	22.7	17.3	5.5	10.6
〔性・年代別〕									
男・20歳代	60.6	41.0	25.2	37.4	37.4	27.2	24.6	2.9	13.0
30歳代	58.7	34.9	33.1	30.8	27.2	25.3	33.7	8.4	8.6
40歳代	72.1	43.8	33.9	28.9	31.1	18.0	32.7	6.0	6.5
50歳代	74.8	49.3	30.4	29.5	27.6	18.8	23.9	6.6	9.0
60歳代	78.0	51.4	31.9	38.5	28.0	14.1	21.3	7.2	5.3
70歳以上	76.7	31.3	25.3	26.8	32.0	10.4	12.3	5.1	16.1
女・20歳代	57.1	33.0	44.1	30.1	28.5	36.8	31.9	5.4	6.6
30歳代	67.1	38.8	37.7	28.0	22.7	26.8	26.4	7.0	9.8
40歳代	70.8	33.0	45.6	28.7	35.8	22.4	21.1	4.2	5.5
50歳代	72.8	39.2	35.8	29.0	33.8	23.1	12.1	6.2	8.9
60歳代	74.3	34.2	32.9	25.0	27.0	19.3	11.1	4.8	14.3
70歳以上	71.8	27.7	36.9	19.4	20.1	10.3	7.1	5.3	17.7

家族構成別

「近隣の親子への積極的な声かけ」など中学生のいる世帯に多い

家族構成別にみると、「近隣の親子への積極的な声かけ」「子ども会活動など地域での行事への積極的な参加」は中学生のいる世帯で多くあげられ、「世代を超えて、地域の人とふれあう機会の提供」「親子を対象とした学習や仲間づくりの機会の提供」は乳児のいる世帯で多い。一方、「相談相手になり、必要があれば、専門機関に連絡したり、相談に行くように勧めること」は高校生のいる世帯で多い。

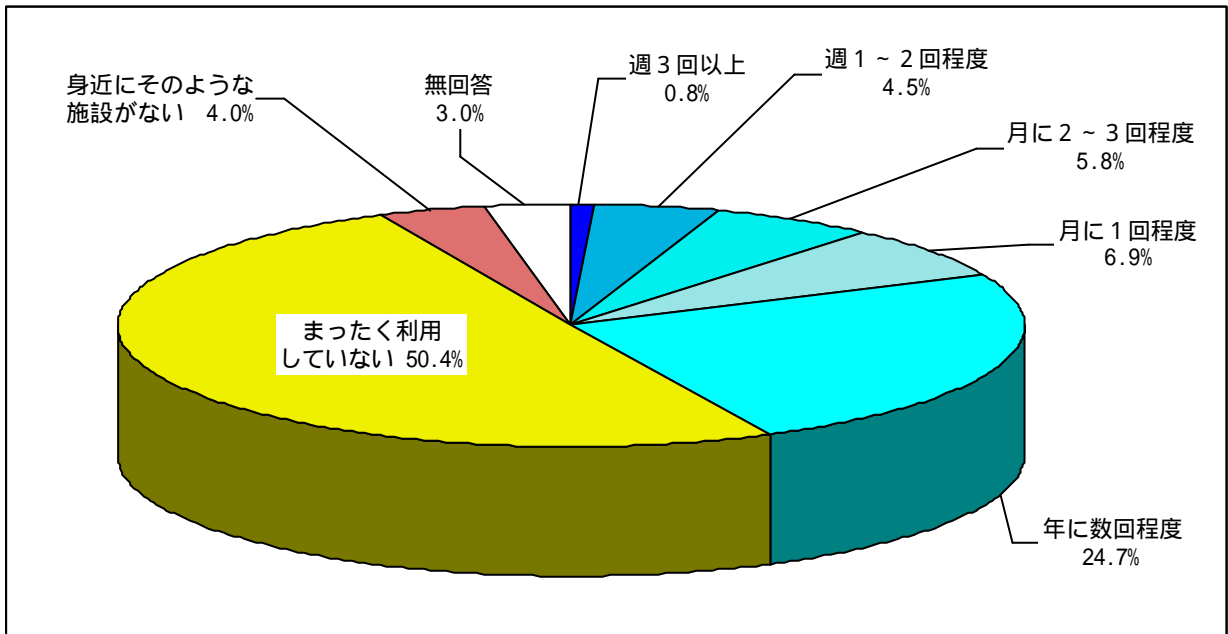
子育て支援のため地域で取り組むべきこと〔家族構成別〕

	「こんにちは」「どうしたの」など、近隣の親子への積極的な声かけ	子ども会活動など地域での行事への積極的な参加	お手玉や読み聞かせなどを通じて、世代を超えて、地域の人とふれあう機会の提供	親子を対象としたイベントや学習会など、学習や仲間づくりの機会の提供	近隣の子どもたちや親たちの相談相手になり、必要があれば、専門機関に連絡したり、相談に行くように勧めること	保育所や児童館など児童福祉施設でのボランティア活動	地域の子どもたちに対するスポーツや音楽などの指導	その他	わからない
全 県	70.8	38.5	34.5	29.0	29.0	20.6	20.3	5.8	10.1
〔家族構成別〕									
乳 児あり	58.1	37.0	45.5	48.2	16.4	22.9	25.8	6.7	10.5
幼 児あり	74.5	40.5	38.9	35.5	23.9	25.6	27.7	9.3	3.2
小学生あり	73.5	38.8	40.3	28.0	27.3	20.0	29.9	6.9	5.5
中学生あり	77.7	46.6	34.5	21.6	32.4	13.0	28.2	4.2	6.9
高校生あり	71.9	40.0	42.6	24.9	38.1	20.0	24.0	5.9	6.0
65歳以上あり	72.9	38.8	33.9	28.5	28.4	14.3	15.7	5.2	11.9
あてはまる人なし	67.6	38.5	31.7	29.0	28.9	26.3	21.1	5.2	11.3

(4) 地域づくりのための施設と活動に対する意識

地域の施設の利用頻度 『月に1回以上』は18.0%、『まったく利用していない』がほぼ半数。
改善すべき点は、「利用する機会やきっかけがない」が半数。
「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営にかかわっていても利用できる運営をするべき」が62.6%。
地域の施設でしたい活動は「キッチンや工房での活動」がトップ。「パネルや作品の展示」「図書を通じた活動」等が後に続く。
地域の施設での活動展開に必要な取り組みは「施設での行事や活動の様子の紹介」(37.1%)がトップ。
地域の施設での活動を支援する主体として「自治会、老人会、婦人会など地域の団体」(31.1%)による支援に期待。

<1> 地域の施設の利用頻度



『月に1回以上』は2割弱

地域づくりのための地域の施設(以下「地域の施設」)の利用頻度を聞くと、「週3回以上」は0.8%、「週1~2回程度」は4.5%、「月に2~3回程度」は5.8%、「月に1回程度」は6.9%で、これらを合わせた『月に1回以上』は2割弱(18.0%)にとどまっている。また、「年に数回程度」は24.7%となり、「まったく利用していない」は50.4%となっている。

地域別 『月に1回以上』 丹波で4割、北播磨や西播磨で3割

地域別にみると、丹波、北播磨、西播磨で比較的頻度が高く、『月に1回以上』は3～4割である。一方、神戸や阪神南では「まったく利用していない」が6割にのぼる。

地域の施設の利用頻度〔地域別〕

	週3回以上	週1～2回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	『月に1回以上』(小計)	年に数回程度	まったく利用していない	身近にそのような施設がない	無回答
全 県	0.8	4.5	5.8	6.9	(18.0)	24.7	50.4	4.0	3.0
〔地域別〕									
神 戸	0.4	3.9	2.3	4.3	(10.9)	18.4	61.7	6.3	2.7
阪神南	1.1	4.1	4.9	4.5	(14.6)	17.7	60.5	4.1	3.0
阪神北	0.7	5.0	7.1	5.7	(18.5)	28.7	48.6	2.5	1.8
東播磨	1.0	3.9	5.9	5.6	(16.4)	23.9	53.9	2.6	3.3
北播磨	1.7	4.5	14.6	10.8	(31.6)	34.4	29.5	1.4	3.1
中播磨	0.7	5.4	6.5	8.3	(20.9)	28.6	42.0	5.4	2.9
西播磨	0.0	6.8	9.8	14.3	(30.9)	37.2	25.9	1.5	4.5
但 馬	1.0	4.1	7.6	13.3	(26.0)	39.0	28.3	3.5	3.2
丹 波	0.7	5.4	10.1	25.2	(41.4)	34.2	20.1	1.3	3.0
淡 路	1.1	3.6	7.9	11.1	(23.7)	36.9	31.2	2.5	5.7

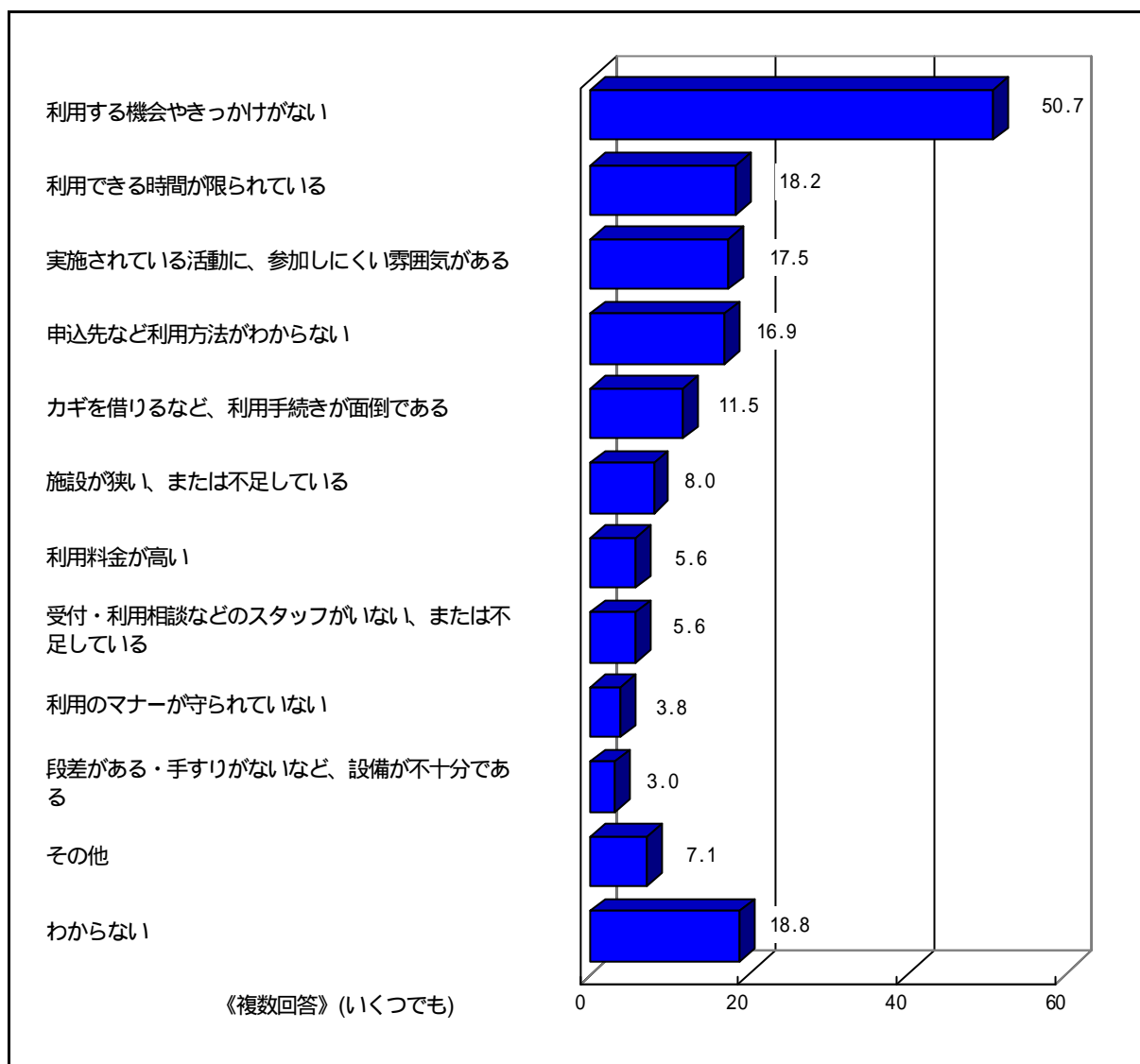
性別、性・年代別 『月に1回以上』は高年代層が多い

性・年代別にみると、『月に1回以上』は女性の70歳以上では3割半ば、男性の70歳以上では3割近くと多く、続いて男女とも60歳代の高年代層が多く、それ以外では女性の30歳代が多い。なお、20歳代では8割の男性、7割の女性が「まったく利用していない」としている。

地域の施設の利用頻度〔性別〕〔性・年代別〕

	週3回以上	週1～2回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	『月に1回以上』(小計)	年に数回程度	まったく利用していない	身近にそのような施設がない	無回答
全 県	0.8	4.5	5.8	6.9	(18.0)	24.7	50.4	4.0	3.0
〔性別〕									
男 性	1.1	4.2	4.6	6.8	(16.7)	26.0	51.5	3.6	2.2
女 性	0.5	4.7	6.8	7.0	(19.0)	23.5	49.7	4.4	3.4
〔性・年代別〕									
男・20歳代	0.9	3.5	0.2	0.8	(5.4)	12.9	80.1	1.6	0.0
30歳代	0.3	5.0	3.1	2.6	(11.0)	20.9	60.8	6.9	0.3
40歳代	0.9	1.2	2.8	7.6	(12.5)	36.4	49.8	1.2	0.0
50歳代	0.5	0.9	3.4	7.4	(12.2)	27.4	56.0	2.7	1.6
60歳代	1.6	6.9	7.4	8.1	(24.0)	26.5	42.3	4.1	3.1
70歳以上	2.5	7.8	8.3	10.0	(28.6)	25.9	33.2	5.3	7.2
女・20歳代	0.2	3.0	1.3	5.1	(9.6)	13.4	71.5	5.0	0.5
30歳代	0.7	6.4	7.7	3.9	(18.7)	24.8	52.4	3.5	0.5
40歳代	0.0	2.9	6.4	6.1	(15.4)	33.4	49.2	1.5	0.5
50歳代	0.3	3.0	4.3	7.7	(15.3)	24.8	55.5	3.8	0.6
60歳代	0.6	4.1	8.3	7.5	(20.5)	21.0	43.1	7.2	8.2
70歳以上	0.9	9.7	12.8	12.3	(35.7)	20.3	29.1	5.2	9.8

<2> 地域の施設の改善すべき点



「利用する機会やきっかけがない」がほぼ半数に及ぶ

地域の施設の改善すべき点を聞くと、「利用する機会やきっかけがない」が50.7%と半数に及び、際立っている。2位以下は、「利用できる時間が限られている」(18.2%)、「実施されている活動に、参加しにくい雰囲気がある」(17.5%)、「申込先など利用方法がわからない」(16.9%)、「カギを借りるなど、利用手続きが面倒である」(11.5%)と1割台で続いており、「施設が狭い、または不足している」(8.0%)、「利用料金が高い」(5.6%)、「受付・利用相談などのスタッフがいない、または不足している」(5.6%)、「利用のマナーが守られていない」(3.8%)、「段差がある・手すりがないなど、設備が不十分である」(3.0%)は1割以下となっている。

地域別

「申込先など利用方法がわからない」は神戸、阪神南で多い

地域別では特に目立った差はないが、「申込先など利用方法がわからない」は神戸、阪神南で多い。

地域の施設の改善すべき点〔地域別〕

	利用する機会やきっかけがない	利用できる時間が限られている	実施されている活動に、参加しにくい雰囲気がある	申込先など利用方法がわからない	カギを借りるなど、利用手続きが面倒である	施設が狭い、または不足している	利用料金が低い	受付・利用相談などのスタッフがいない、または不足している	利用のマネージャーが守られていない	段差がある・手すりがないなど、設備が不十分である	その他	わからない
全 県	50.7	18.2	17.5	16.9	11.5	8.0	5.6	5.6	3.8	3.0	7.1	18.8
〔地域別〕												
神 戸	55.9	12.9	16.4	21.5	6.3	6.3	5.5	4.7	2.7	2.7	7.4	19.5
阪神南	49.6	21.4	16.9	21.4	8.6	10.5	6.4	5.3	5.3	3.0	10.5	17.7
阪神北	50.4	18.1	14.9	16.7	13.5	7.1	6.4	6.0	3.2	1.1	6.7	17.7
東播磨	52.3	23.2	22.5	14.1	11.4	7.5	4.9	6.9	3.9	3.9	4.9	17.6
北播磨	44.8	21.2	16.3	10.8	20.5	6.9	4.9	6.3	4.2	4.2	7.3	19.4
中播磨	50.0	23.2	18.1	13.0	15.2	11.6	4.7	5.1	5.4	3.6	5.8	17.4
西播磨	42.3	19.6	18.2	8.0	16.1	10.7	6.3	4.5	3.6	3.6	5.4	19.9
但 馬	41.9	12.1	19.4	7.0	16.5	7.3	4.8	6.7	3.8	5.1	4.4	26.3
丹 波	40.9	14.8	15.4	13.4	22.1	7.0	8.1	7.4	3.0	5.7	6.4	21.1
淡 路	50.9	12.9	17.9	12.5	19.7	2.2	4.7	8.6	2.2	1.1	5.0	20.8

性別、性・年代別

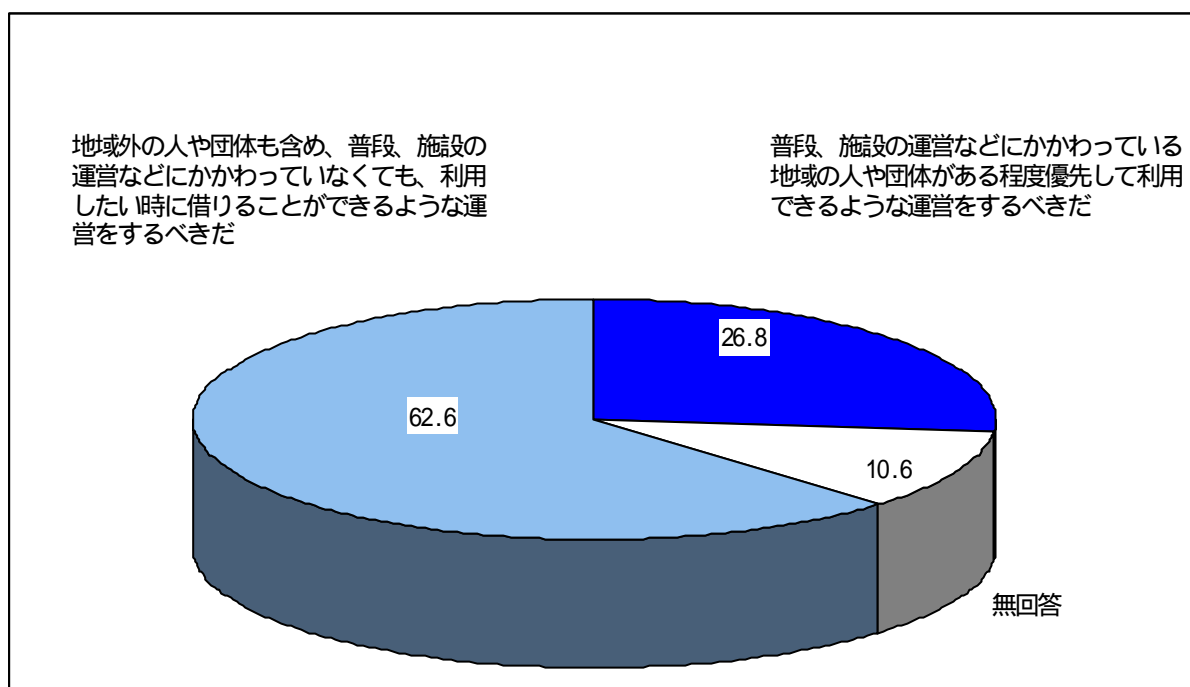
「利用するきっかけがない」「利用方法がわからない」は若い年代層で多い

性・年代別にみると、「利用する機会やきっかけがない」は男性の20歳代や40歳代、50歳代、女性の20歳代や30歳代、40歳代が多い。なお、「申込先など利用方法がわからない」は男女とも年代の若い層で多い。

地域の施設の改善すべき点〔性別〕〔性・年代別〕

	利用する機会やきっかけがない	利用できる時間が限られている	実施されている活動に、参加しにくい雰囲気がある	申込先など利用方法がわからない	カギを借りるなど、利用手続きが面倒である	施設が狭い、または不足している	利用料金が低い	受付・利用相談などのスタッフがいない、または不足している	利用のマネージャーが守られていない	段差がある・手すりがないなど、設備が不十分である	その他	わからない
全 県	50.7	18.2	17.5	16.9	11.5	8.0	5.6	5.6	3.8	3.0	7.1	18.8
〔性別〕												
男 性	52.3	18.9	15.6	17.3	12.2	8.7	5.8	6.0	5.1	2.5	7.5	18.0
女 性	49.5	17.9	18.9	16.7	11.0	7.6	5.6	5.1	2.5	3.5	6.8	19.6
〔性・年代別〕												
男・20歳代	65.4	16.1	13.1	27.7	11.8	4.1	6.7	2.4	2.2	2.5	5.7	22.6
30歳代	51.9	21.9	15.8	24.4	10.5	8.9	6.6	5.7	3.7	1.9	4.6	16.1
40歳代	64.7	18.8	18.6	20.2	16.6	9.3	3.2	4.8	2.4	0.1	5.1	8.1
50歳代	56.4	21.2	14.9	18.2	15.3	9.5	7.0	6.4	5.6	2.8	5.6	15.8
60歳代	45.3	19.1	20.7	14.2	9.7	11.1	5.7	6.0	8.0	2.5	11.3	17.5
70歳以上	36.6	15.9	8.2	4.8	8.6	6.9	5.6	9.6	6.3	4.2	10.1	30.5
女・20歳代	63.3	19.3	19.3	36.8	8.3	6.5	9.0	2.4	0.9	2.4	6.1	10.3
30歳代	56.2	18.4	19.0	26.9	7.3	11.4	6.1	7.0	1.4	3.6	4.3	14.2
40歳代	57.2	21.4	16.7	13.5	12.7	10.3	6.0	5.9	2.3	2.9	6.9	14.8
50歳代	51.8	22.4	23.2	10.6	16.3	3.9	4.3	5.2	2.2	1.5	9.2	16.2
60歳代	46.9	14.1	19.5	12.1	11.7	7.9	5.7	3.9	3.5	3.9	4.5	22.9
70歳以上	19.3	10.3	12.2	7.9	5.6	5.8	3.2	5.6	4.5	8.1	10.9	41.0

<3> 地域の施設の利用についての考え方

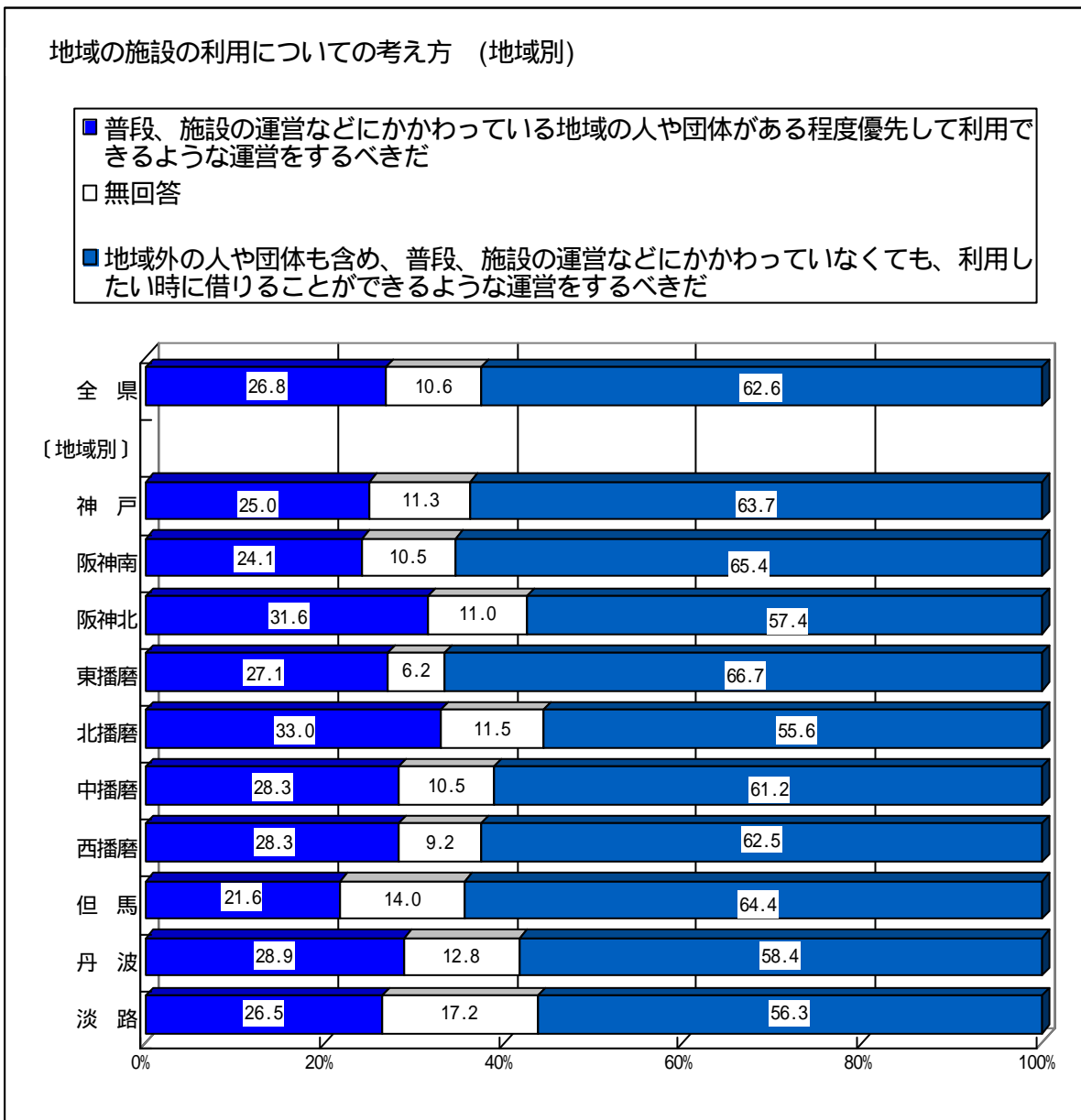


「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営にかかわってなくても利用できる運営をするべき」が62.6%

集会所やコミュニティセンター、公民館など地域で運営している施設の利用についての考え方を聞くと、「普段、施設の運営などにかかわっている地域の人や団体がある程度優先して利用できるような運営をするべきだ」は26.8%で、「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営などにかかわっていても、利用したい時に借りることができるような運営をするべきだ」が62.6%に及んでいる。

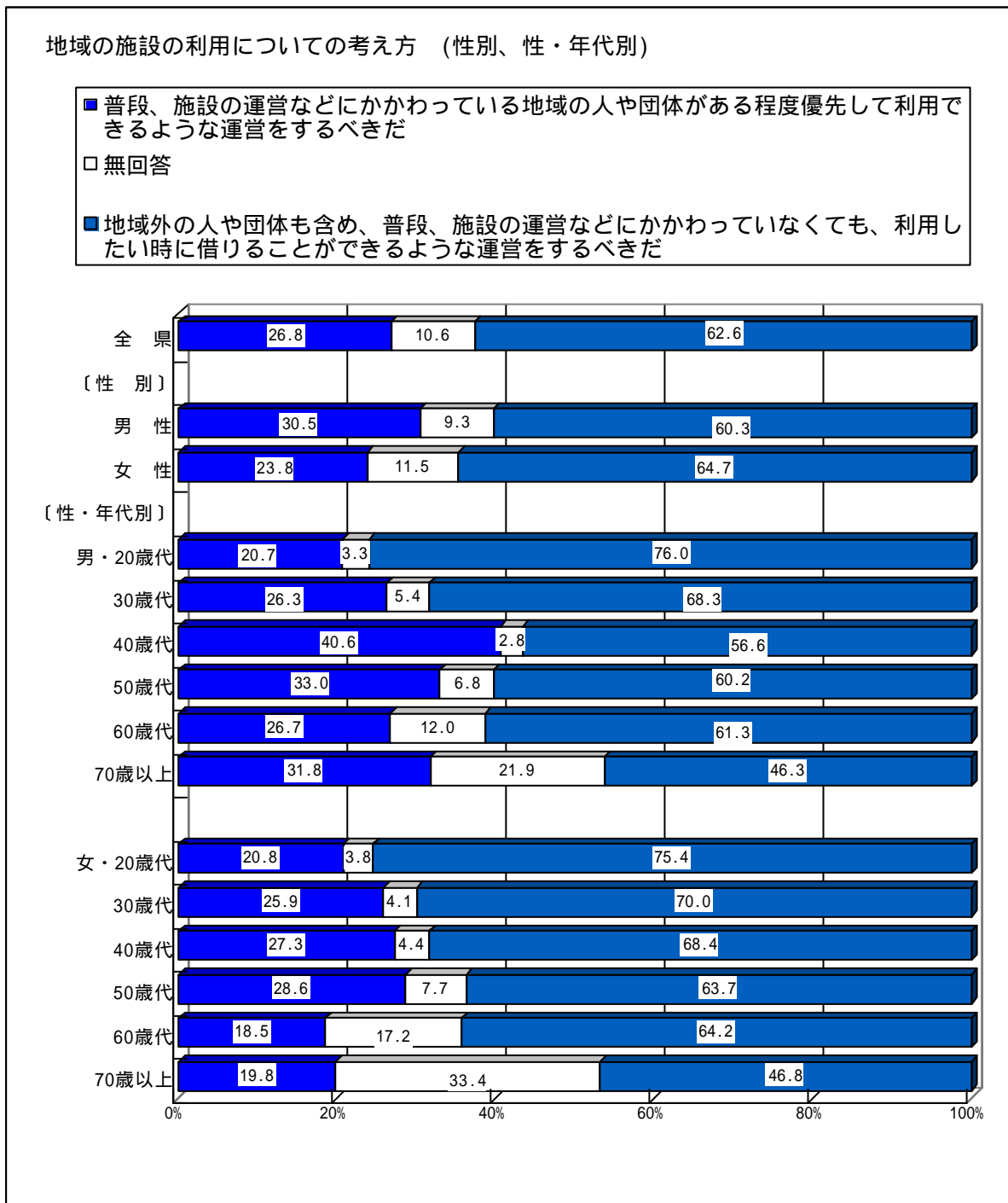
地域別 「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営にかかわっていても利用できる運営をするべき」は、東播磨や阪神南で多い

地域別にみると、いずれの地域も「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営などにかかわっていても、利用したい時に借りることができるような運営をするべきだ」が半数以上を占め、東播磨や阪神南で多い。一方、「普段、施設の運営などにかかわっている地域の人や団体がある程度優先して利用できるような運営をするべき」は北播磨と阪神北で多く3割強となっている。



性別、性・年代別 「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営にかかわっていても利用できる運営をするべき」は若い層が多い

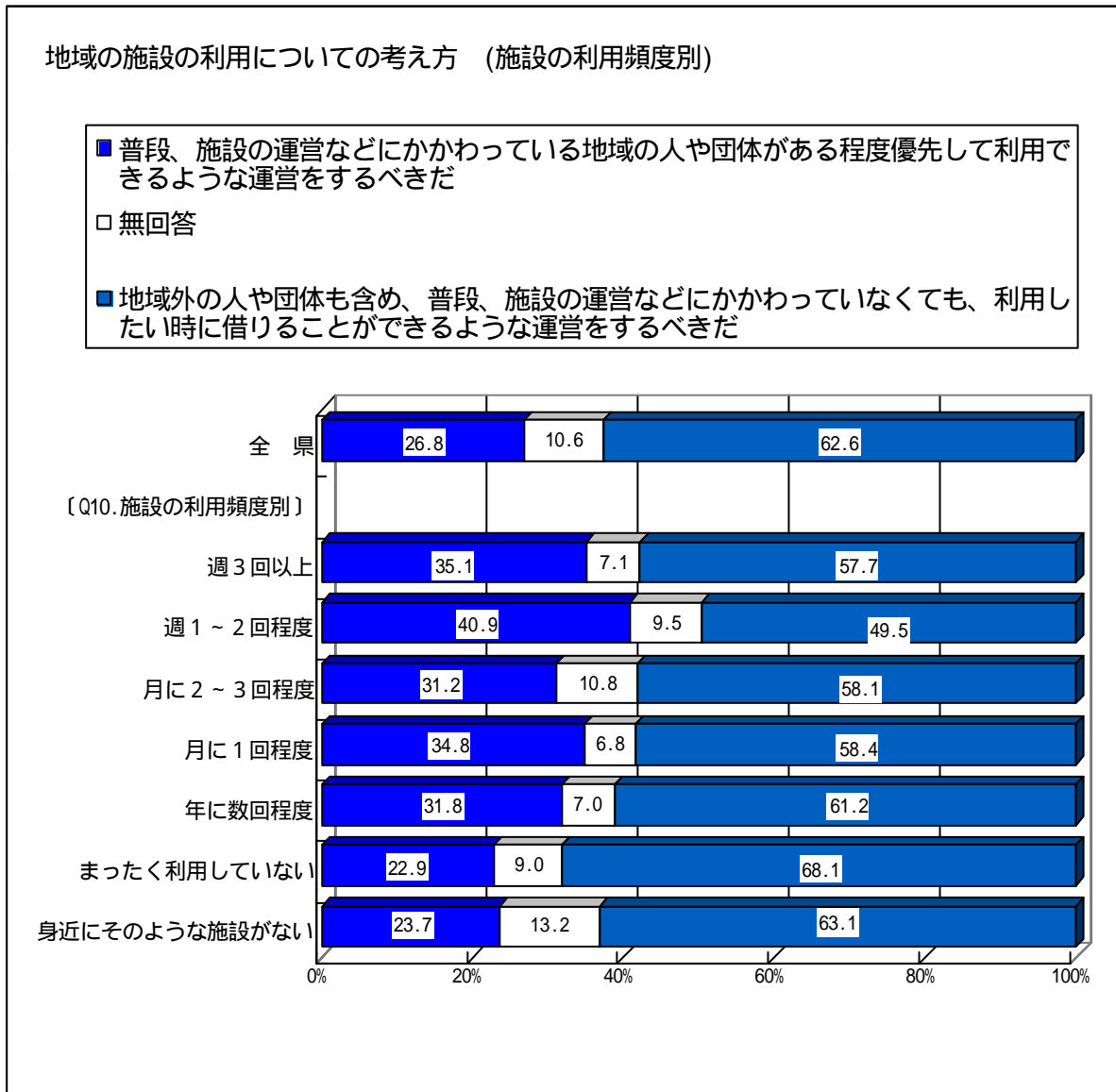
性・年代別にみると、「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営などにかかわっていても、利用したい時に借りることができるような運営をするべきだ」は男性より女性で多く、男女とも20歳代、30歳代の年代の若い層が多い。一方、「普段、施設の運営などにかかわっている地域の人や団体がある程度優先して利用できるような運営をするべきだ」は男性の40歳代が多い。



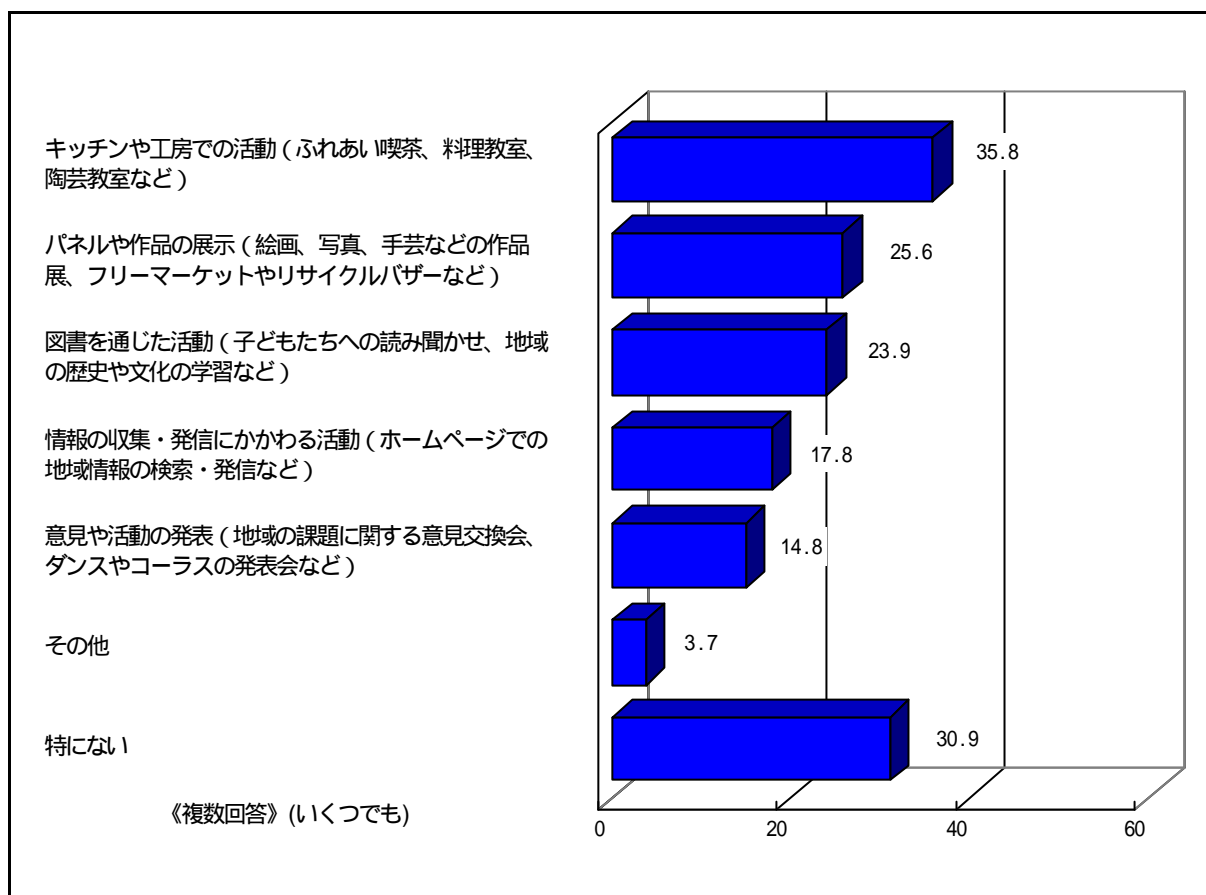
施設の利用頻度別

「普段、施設の運営などにかかわっている地域の人や団体がある程度優先して利用できるような運営をするべきだ」は、週1～2回程度の利用層などに多い

施設の利用頻度別(Q10)にみると、「普段、施設の運営などにかかわっている地域の人や団体がある程度優先して利用できるような運営をするべきだ」は、週1～2回程度の利用層が最も多く、続いて、週3回以上や月に1回程度の利用層に多い。一方、「地域外の人や団体も含め、普段、施設の運営などにかかわっていなくても、利用したい時に借りることができるような運営をするべきだ」は、いずれの層でも「普段、施設の運営などにかかわっている地域の人や団体がある程度優先して利用できるような運営をするべきだ」を上回り、まったく利用していない層では7割近くに及び、身近にそのような施設がないをあげた層や年に数回程度をあげた層では6割強となっている。



<4> 地域の施設でしたい活動



「キッチンや工房での活動」がトップ。「パネルや作品の展示」「図書を通じた活動」が後に続く

集会所やコミュニティセンター、公民館など地域の施設で地域づくりの活動としてしたいことは、「キッチンや工房での活動（ふれあい喫茶、料理教室、陶芸教室など）」が35.8%と最も多く、次いで「パネルや作品の展示（絵画、写真、手芸などの作品展、フリーマーケットやリサイクルバザーなど）」(25.6%)、「図書を通じた活動（子どもたちへの読み聞かせ、地域の歴史や文化の学習など）」(23.9%)、「情報の収集・発信にかかわる活動（ホームページでの地域情報の検索・発信など）」(17.8%)、「意見や活動の発表（地域の課題に関する意見交換会、ダンスやコーラスの発表会など）」(14.8%)の順となっている。

地域別 「図書を通じた活動」は阪神北、中播磨でいくぶん多い

地域別では特に目立った差はないが、「図書を通じた活動」は阪神北、中播磨でいくぶん多く、「情報の収集・発信にかかわる活動」は阪神南や東播磨で多い。

地域の施設でしたい活動〔地域別〕

	キッチンや工房での活動	パネルや作品の展示	図書を通じた活動	情報の収集・発信にかかわる活動	意見や活動の発表	その他	特にない
全 県	35.8	25.6	23.9	17.8	14.8	3.7	30.9
〔地域別〕							
神 戸	36.3	25.8	24.2	13.7	14.1	4.3	32.4
阪神南	35.7	24.8	23.3	22.2	15.4	4.5	29.3
阪神北	34.0	28.7	26.6	17.7	17.7	3.5	30.9
東播磨	38.2	22.2	22.2	22.9	14.7	4.2	26.8
北播磨	34.0	25.3	22.9	18.8	13.2	2.8	30.6
中播磨	37.3	26.8	26.4	17.4	15.6	2.5	30.4
西播磨	31.3	26.5	21.4	14.6	11.9	0.9	34.5
但 馬	35.9	24.4	22.5	14.6	13.7	1.9	34.9
丹 波	35.6	26.5	21.1	16.4	16.4	3.7	31.9
淡 路	33.7	26.2	21.5	16.8	11.5	3.6	35.8

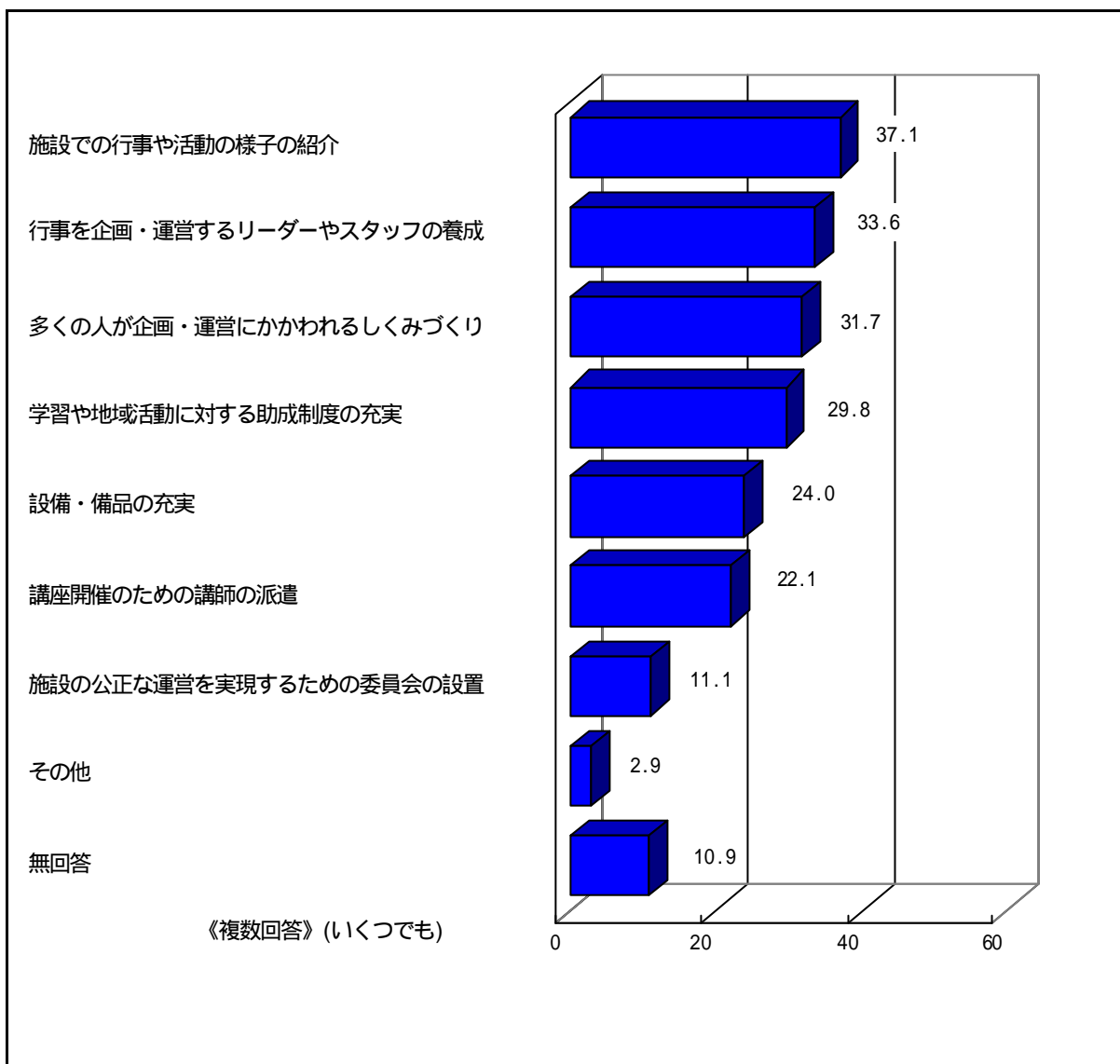
性別、性・年代別 「キッチンや工房での活動」 女性30～50歳代で多い

性・年代別にみると、「キッチンや工房での活動」は女性の30歳代や40歳代、50歳代で多く、「パネルや作品の展示」は女性の20歳代や40歳代、「図書を通じた活動」は女性の20歳代や30歳代で多い。一方、「情報の収集・発信にかかわる活動」は男女とも年代の若い層で多く、特に、男性の20歳代から40歳代で多い。

地域の施設でしたい活動〔性別〕〔性・年代別〕

	キッチンや工房での活動	パネルや作品の展示	図書を通じた活動	情報の収集・発信にかかわる活動	意見や活動の発表	その他	特にない
全 県	35.8	25.6	23.9	17.8	14.8	3.7	30.9
〔性別〕							
男 性	26.7	23.7	23.0	22.7	16.4	4.5	32.6
女 性	43.6	27.4	24.7	13.6	13.7	3.1	29.3
〔性・年代別〕							
男・20歳代	26.5	25.7	15.9	29.6	18.6	4.2	27.5
30歳代	37.2	29.3	23.6	27.8	16.3	7.0	25.8
40歳代	24.4	22.3	24.3	30.9	16.9	1.8	30.2
50歳代	29.1	26.5	23.0	21.2	18.8	2.8	31.6
60歳代	28.9	22.4	26.9	19.6	14.9	6.1	30.4
70歳以上	15.2	17.1	20.9	12.0	13.3	5.4	48.1
女・20歳代	42.6	37.0	36.5	21.7	9.1	2.7	18.7
30歳代	52.3	25.6	36.1	18.3	13.7	3.1	17.3
40歳代	46.9	37.9	24.1	18.7	11.3	1.0	17.3
50歳代	48.5	29.3	19.5	12.6	15.4	5.0	26.7
60歳代	38.7	19.9	20.1	8.1	18.1	2.9	38.8
70歳以上	28.5	18.8	16.6	5.3	9.6	2.9	57.2

<5> 地域の施設での活動展開に必要な取り組み



トップは「施設での行事や活動の様子の紹介」で37.1%

集会所やコミュニティセンター、公民館などで地域の人々による活動が充実していくために必要な取り組みは、「施設での行事や活動の様子の紹介」が37.1%で1位にあげられているが、続いて「行事を企画・運営するリーダーやスタッフの養成」(33.6%)、「多くの人が企画・運営にかかわれるしくみづくり」(31.7%)、「学習や地域活動に対する助成制度の充実」(29.8%)、「設備・備品の充実」(24.0%)、「講座開催のための講師の派遣」(22.1%)、「施設の公正な運営を実現するための委員会の設置」(11.1%)と続いている。

地域別 「施設での行事や活動の様子の紹介」は阪神北、阪神南、東播磨が多い

地域別にみると、「施設での行事や活動の様子の紹介」は阪神北や阪神南、東播磨で多く、「行事を企画・運営するリーダーやスタッフの養成」は丹波や北播磨、但馬で多くなっている。「多くの人が企画・運営にかかわれるしくみづくり」は但馬や中播磨、「学習や地域活動に対する助成制度の充実」は阪神北、但馬、北播磨が多い。また、「設備・備品の充実」は北播磨、「講座開催のための講師の派遣」は阪神北で多くなっている。

地域の施設での活動展開に必要な取り組み〔地域別〕

	施設での 行事や活 動の様子 の紹介	行事を企 画・運営 するリー ダーやス タッフの 養成	多くの 人が企画 ・運営に かかわ れるしく みづく り	学習や地 域活動に 対する助 成制度の 充実	設備・備 品の充実	講座開催 のための 講師の派 遣	施設の公 正な運営 を実現す るための 委員会の 設置	その他	無回答
全 県	37.1	33.6	31.7	29.8	24.0	22.1	11.1	2.9	10.9
〔地域別〕									
神 戸	36.7	32.4	30.9	26.2	19.9	21.9	14.8	4.3	10.9
阪神南	41.4	33.8	30.5	28.6	24.8	21.8	9.8	3.4	10.9
阪神北	46.5	34.0	30.9	37.2	24.1	27.3	8.2	1.4	9.2
東播磨	39.5	31.7	31.0	29.1	24.2	22.2	12.7	1.0	10.5
北播磨	29.5	38.2	32.6	34.4	30.9	21.5	10.1	3.1	10.8
中播磨	32.2	33.7	36.2	29.7	28.3	18.5	8.3	2.5	10.9
西播磨	28.0	33.9	29.2	30.7	24.7	19.9	6.8	2.1	12.2
但 馬	24.4	36.2	38.7	34.9	25.4	23.5	10.5	2.2	13.3
丹 波	29.2	38.3	33.9	30.2	28.5	20.1	7.0	3.0	10.4
淡 路	31.2	34.1	30.5	25.8	21.1	20.4	11.1	3.2	14.0

性別・性・年代別

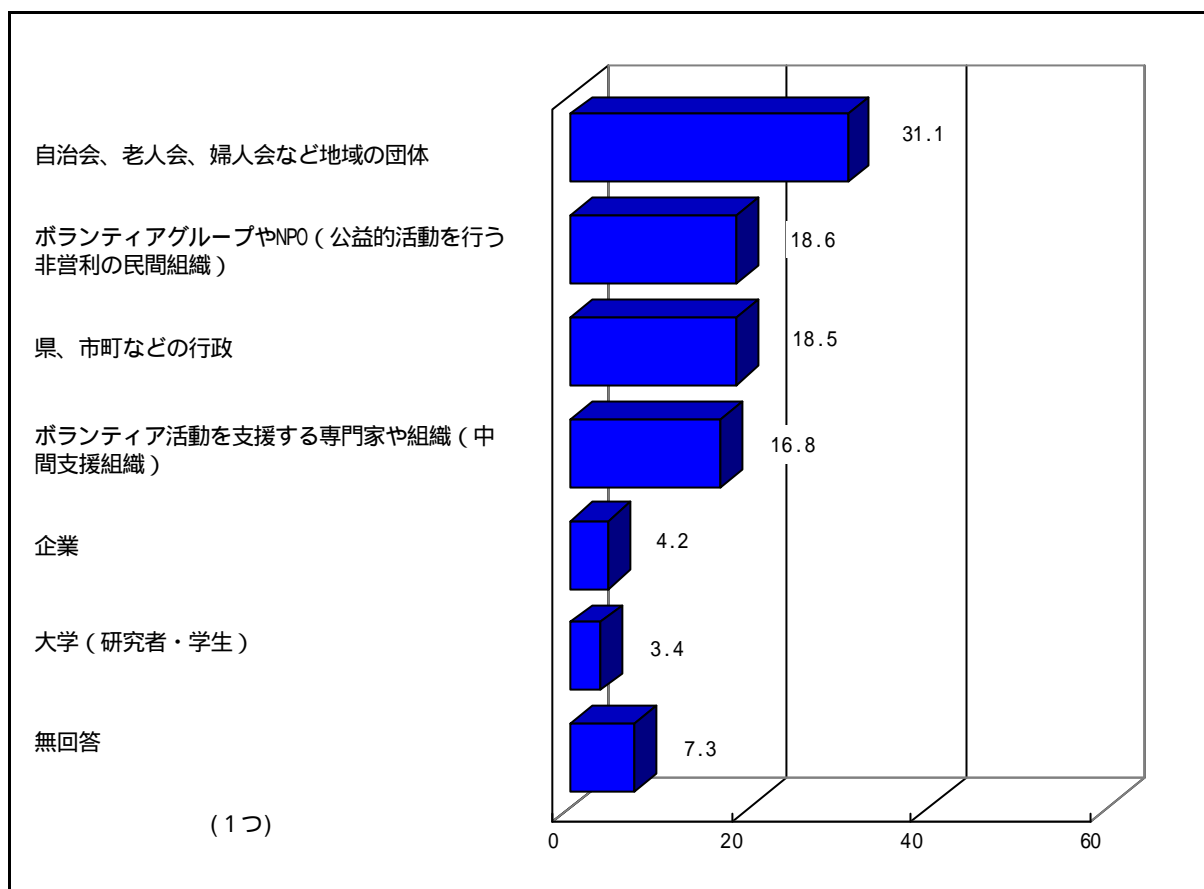
「施設での行事や活動などの紹介」は女性30歳代など若い層が多い

性・年代別にみると、「施設での行事や活動の様子の紹介」は女性の30歳代と次いで20歳代が多い。「行事を企画・運営するリーダーやスタッフの養成」は女性の40歳代や男性の50歳代、「多くの人が企画・運営にかかわれるしくみづくり」は男性の60歳代に次いで20歳代、50歳代、女性の20歳代が多い。「学習や地域活動に対する助成制度の充実」は男性の40歳代や50歳代、女性の40歳代に次いで30歳代、「設備・備品の充実」は男性の30歳代が多い。「講座開催のための講師の派遣」は女性の50歳代に次いで30歳代、40歳代、70歳以上、男性の60歳代が多い。

地域の施設での活動展開に必要な取り組み〔性別〕〔性・年代別〕

	施設での 行事や活 動の様子 の紹介	行事を企 画・運営 するリー ダーやス タッフの 養成	多くの 人が企画 ・運営に かかわ れるし くみづ くり	学習や地 域活動に 対する助 成制度の 充実	設備・備 品の充実	講座開催 のための 講師の派 遣	施設の公 正な運営 を実現す るための 委員会の 設置	その他	無回答
全 県	37.1	33.6	31.7	29.8	24.0	22.1	11.1	2.9	10.9
〔性別〕									
男 性	33.8	36.4	36.0	32.5	23.4	19.1	13.2	3.4	9.0
女 性	40.1	31.3	28.4	27.7	24.6	24.4	9.2	2.4	12.0
〔性・年代別〕									
男・20歳代	26.2	34.0	38.0	31.9	29.1	17.4	13.7	2.9	5.2
30歳代	40.9	37.8	35.6	29.0	37.3	16.0	11.6	4.3	5.1
40歳代	40.3	36.4	32.1	36.6	22.8	18.9	12.0	4.1	2.8
50歳代	30.3	40.0	37.6	35.7	21.6	16.3	15.7	4.0	6.3
60歳代	36.6	37.4	39.9	33.8	20.6	23.0	13.7	1.5	10.6
70歳以上	27.2	31.5	31.7	26.1	15.9	21.0	11.3	4.4	22.6
女・20歳代	45.7	25.5	36.2	24.0	31.1	19.6	10.1	2.9	2.2
30歳代	50.7	36.7	21.9	35.0	30.6	27.9	9.4	0.5	4.2
40歳代	42.2	45.8	32.5	36.9	28.3	26.8	5.1	1.9	3.1
50歳代	43.0	29.8	31.4	23.7	25.8	29.1	8.3	2.3	8.9
60歳代	32.7	24.3	29.7	25.7	16.7	18.3	12.9	2.1	20.1
70歳以上	26.0	26.3	18.5	20.7	17.8	23.4	8.4	6.2	32.7

<6> 地域の施設での活動を支援する主体



「自治会、老人会、婦人会など地域の団体」が31.1%

集会所やコミュニティセンター、公民館などの施設で地域づくりが活発に行われるために、特にどの分野の人が支援するのがよいかを聞くと、「自治会、老人会、婦人会など地域の団体」が31.1%と最も多く、「ボランティアグループやNPO (公益的活動を行う非営利の民間組織)」(18.6%)、「県、市町などの行政」(18.5%)、「ボランティア活動を支援する専門家や組織 (中間支援組織)」(16.8%)とほぼ同率で続き、「企業」(4.2%)、「大学 (研究者・学生)」(3.4%)となっている。

地域別 「自治会など地域の団体」は西播磨、丹波で多い

地域別にみると、「自治会、老人会、婦人会など地域の団体」は西播磨や丹波、「ボランティアグループやNPO」は阪神北、東播磨、阪神南で多い。「県、市町などの行政」は東播磨、「ボランティア活動を支援する専門家や組織」は中播磨、神戸、東播磨で多い。

地域の施設での活動を支援する主体〔地域別〕

	自治会、老人会、婦人会など地域の団体	ボランティアグループやNPO	県、市町などの行政	ボランティア活動を支援する専門家や組織	企業	大学	無回答
全 県	31.1	18.6	18.5	16.8	4.2	3.4	7.3
〔地域別〕							
神 戸	32.8	17.2	16.4	19.1	4.7	4.7	5.1
阪神南	26.3	20.7	19.5	15.8	6.0	4.1	7.5
阪神北	30.1	21.3	19.1	14.5	3.2	5.0	6.7
東播磨	24.8	20.9	21.6	17.6	4.6	2.0	8.5
北播磨	33.7	18.8	19.1	14.6	3.1	1.7	9.0
中播磨	32.6	14.5	19.6	19.6	3.3	2.2	8.3
西播磨	42.9	15.5	15.8	13.4	2.7	1.5	8.3
但 馬	36.8	18.7	17.8	14.3	1.6	1.6	9.2
丹 波	40.9	16.1	15.4	14.4	2.3	0.0	10.7
淡 路	32.6	17.6	19.0	13.6	3.9	0.7	12.5

性別、性・年代別 「自治会など地域の団体」は男女とも高年代層で多い

性・年代別にみると、「自治会、老人会、婦人会など地域の団体」は男女とも60歳代、70歳以上で多い。「ボランティアグループやNPO」は女性の20歳代や男性の50歳代、「県、市町などの行政」は男性の30歳代や40歳代、女性の20歳代で多い。「ボランティア活動を支援する専門家や組織」は男性の40歳代、「企業」は男性の20歳代や30歳代、女性の20歳代で多い。

地域の施設での活動を支援する主体〔性別〕〔性・年代別〕

	自治会、老人会、婦人会など地域の団体	ボランティアグループやNPO	県、市町などの行政	ボランティア活動を支援する専門家や組織	企業	大学	無回答
全 県	31.1	18.6	18.5	16.8	4.2	3.4	7.3
〔性別〕							
男 性	32.1	19.6	18.9	15.4	5.1	3.2	5.9
女 性	30.4	17.6	18.2	18.2	3.6	3.6	8.4
〔性・年代別〕							
男・20歳代	19.0	19.1	23.4	16.1	13.2	8.2	1.0
30歳代	23.3	21.2	26.7	10.0	10.1	5.4	3.3
40歳代	23.0	20.5	24.7	24.7	3.8	2.0	1.2
50歳代	34.4	24.4	17.4	14.7	2.8	1.2	5.2
60歳代	38.3	19.3	13.0	14.0	4.1	3.3	8.0
70歳以上	45.2	10.9	14.3	12.1	1.5	2.0	13.9
女・20歳代	15.1	24.7	24.9	19.3	11.1	4.4	0.4
30歳代	21.6	21.8	20.4	20.4	8.2	4.3	3.2
40歳代	25.5	17.1	21.8	23.7	3.6	4.2	4.0
50歳代	29.7	21.6	17.4	20.1	1.5	2.4	7.3
60歳代	40.4	13.2	16.5	14.1	0.2	2.8	12.8
70歳以上	45.0	7.0	9.6	11.5	0.1	4.5	22.3

地域施設での活動展開に必要な取り組み別

地域施設での活動展開に必要な取り組み別(Q14)にみると、「自治会、老人会、婦人会など地域の団体」は、地域施設での活動展開に必要な取り組みとして、施設での行事や活動の様子の紹介をあげた層や多くの人が企画・運営にかかわれるしくみづくりをあげた層などに多い。一方、「ボランティアグループやNPO」は、施設の公正な運営を実現するための委員会の設置、行事を企画・運営するリーダーやスタッフの養成をあげた層や行事を企画・運営するリーダーやスタッフの養成をあげた層などに多い。

地域の施設での活動を支援する主体〔Q14.地域施設での活動展開に必要な取り組み別〕

	自治会、老人会、婦人会など地域の団体	ボランティアグループやNPO	県、市町などの行政	ボランティア活動を支援する専門家や組織	企業	大学	無回答
全 県	31.1	18.6	18.5	16.8	4.2	3.4	7.3
〔Q14.地域施設での活動展開に必要な取り組み別〕							
施設での行事や活動の様子の紹介	33.3	18.4	22.1	18.0	3.8	3.2	1.2
行事を企画・運営するリーダーやスタッフの養成	32.2	23.1	16.6	21.1	3.0	3.3	0.5
多くの人が企画・運営にかかわれるしくみづくり	33.1	22.0	16.6	17.5	5.5	4.0	1.4
学習や地域活動に対する助成制度の充実	31.7	20.9	22.5	17.5	3.0	3.7	0.6
設備・備品の充実	28.1	16.9	23.3	20.7	6.5	3.1	1.5
講座開催のための講師の派遣	27.3	23.1	19.5	22.2	4.0	3.0	0.8
施設の公正な運営を実現するための委員会の設置	27.6	26.1	20.1	16.9	3.4	3.4	2.5